

藤沢市
介護保険サービス利用状況調査
報告書

令和5年3月

藤 沢 市

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	2
2. 調査対象及び調査方法	2
3. 回収状況	2
4. 調査項目	2
5. 調査結果を見る上での注意事項	2
6. 調査結果の概要	5
第2章 調査結果の詳細	11
1. 家族や生活状況について	12
(1) 調査票の回答者	12
(2) 性別	12
(3) 年齢	13
(4) 居住地区	14
(5) 世帯構成	15
(6) 経済的な状況	17
(7) 介護・介助の必要性	18
(8) 主な介護・介助者	19
(9) かかりつけ医師、歯科医師、薬局の有無	20
(10) 入れ歯の使用状況	21
(11) かみあわせ	22
(12) 歯科受診状況	23
(13) 通信機器の状況	24
(14) インターネットの利用	25
(15) 新型コロナ前後の運動量の変化	26
(16) 新型コロナ前後の身体の症状の変化	27
(17) 新型コロナ前後の減少した行動	29
(18) 新型コロナ前後の増加した行動	31
2. 介護保険サービスについて	32
(1) 介護度	32
(2) 要介護認定の申請理由	34
(3) 介護保険サービス利用の有無	36
(4) 介護保険サービスを利用していない理由	37
(5) 介護保険サービスの利用状況と満足度	39
(6) ケアプランやケアマネジャー等の満足度	41
(7) ケアプランやケアマネジャーに対する不満	41
(8) 利用している介護保険外サービス	42
(9) 介護保険料の負担感	44

(10) 今後の介護保険とサービスのあり方	44
3. 介護における相談などについて	45
(1) 健康、福祉、介護のことで困ったときの相談先	45
(2) いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）の認知度	46
(3) いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）の利用に対する満足度	48
(4) いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）を知ったきっかけ	49
(5) 認知症の症状がある人の有無	50
(6) 認知症に関する相談窓口の認知度	50
(7) 認知症の方に対する重点的施策	51
(8) 人生最期の時（終活）について	52
(9) 最期を過ごしたい場所	53
(10) 自由意見	55
4. 介護予防などの事業について	58
(1) 階段ののぼり	58
(2) 椅子からの立ち上がり	59
(3) 15分程度の歩き	60
(4) 過去1年間の転倒経験	61
(5) 転倒への不安感	62
(6) 週の外出頻度	63
(7) 昨年と比べての外出頻度の減少具合	64
(8) BMI（ボディ・マス指数）	65
(9) 6か月間で2～3kgの体重減少	66
(10) 半年前に比べて固いものの食べにくさ	67
(11) お茶や汁物等でむせること	68
(12) 口の渇き	69
(13) 歯の数と入れ歯の利用状況	70
(14) 食事をともにする機会	72
(15) 物忘れが多いと感じるか	73
(16) バスや電車での1人での外出	74
(17) 食品・日用品の買物	75
(18) 食事の用意	76
(19) 請求書の支払い	77
(20) 預貯金の出し入れ	78
(21) 会・グループ等の参加頻度	79
(22) 地域づくりのためのグループ活動への参加意向（参加者）	80
(23) 地域づくりのためのグループ活動への参加意向（企画・運営）	82
(24) 心配事や愚痴を聞いてくれる人	84
(25) 心配事や愚痴を聞いてあげている人	86
(26) 看病や世話をしてくれる人	88
(27) 看病や世話をしあげている人	90

(28) 健康状態	92
(29) 幸福度	93
(30) うつ傾向（気分が沈んだり、ゆううつな気持ち）	94
(31) うつ傾向（興味がわかない、楽しめない感じ）	95
(32) 喫煙状況	96
(33) 現在治療中、後遺症の病気	97
5. 主な介護者について	99
(1) 主な介助者の年齢	99
(2) 主な介護者の「ダブルケア」の状況	101
(3) 市へ最も望む支援	102
(4) 自由意見	103
資料編 調査票	105

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

介護保険事業は、3年ごとに介護保険事業計画の見直しが行われているが、計画策定に向けた基礎資料の整備は、介護サービスの質の向上とそのニーズを的確に把握するうえで必要不可欠である。

このことから、市内13生活圏域における要支援・要介護認定を受けている方を対象として、介護保険について「どのような認識や要望をもっているのか」「サービス利用に際して問題が生じていないか」などの実態調査を実施するものである。

この調査結果は、前回の調査結果との比較及び分析を行い、次期サービスを提供する事業者に対して利用者ニーズの適切な情報提供等を図ることを目的とする。

2. 調査対象及び調査方法

調査対象	要介護（要支援）認定者のうち、介護保険施設入所者を除く被保険者の中から、13生活圏域ごとに、3,000人を原則無作為に抽出
調査方法	郵送による発送・回収
調査期間	令和4年10月13日(木)～10月31日(月)

3. 回収状況

配布数	回収数	回収率
3,000人	2,024人	67.5%

4. 調査項目

- ・本人や家族の状況について
- ・介護保険サービスについて
- ・介護における相談などについて
- ・介護予防などの事業について
- ・主な介護者の方について

5. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。
- ・報告書に掲載されている用語は次の通りである。
- ・経年比較で「前回」とあるのは、『藤沢市介護保険サービス利用状況調査報告書（令和2年3月）』の調査結果のことである。

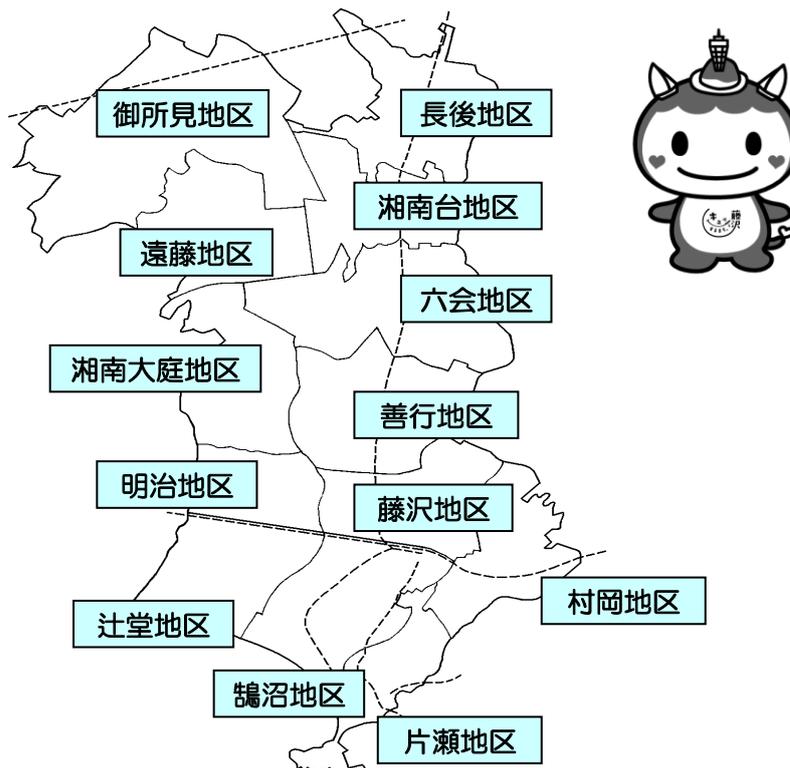
【介護度別】

掲載の区分名	左記に該当する区分説明
軽度	問18 介護度で「要支援1」「要支援2」のいずれか
中度	問18 介護度で「要介護1」「要介護2」のいずれか
重度	問18 介護度で「要介護3」「要介護4」「要介護5」のいずれか

【介助者の年齢別】

掲載の区分名	左記に該当する区分説明
29歳以下	問71 主介護者の年齢で「18歳未満」「18歳以上～29歳以下」のいずれか
30代～60代	問71 主介護者の年齢で「30代～60代」
70歳以上	問71 主介護者の年齢で「70代」「80歳以上」のいずれか

【日常生活圏域別】



掲載の地区名	左記に該当する地区
御所見	用田・葛原・菖蒲沢・打戻・瀬郷・宮原
長後	長後・高倉・下土棚
遠藤	石川5～6丁目・石川の一部・遠藤の一部
湘南台	今田の一部・円行の一部・円行1丁目の一部・円行2丁目・石川の一部・桐原町・湘南台1～7丁目・土棚
六会	亀井野の一部・亀井野1～4丁目・今田の一部・円行の一部・円行1丁目の一部・石川の一部・石川1～4丁目・西俣野の一部・天神町1～3丁目・遠藤の一部
湘南大庭	大庭の一部・石川の一部・遠藤の一部
善行	藤沢（北）・善行1～7丁目・本藤沢1～7丁目・善行団地・立石1～4丁目・花の木・みその台・善行坂1～2丁目・白旗1～4丁目・大庭の一部・稲荷・稲荷1丁目・亀井野の一部・西俣野の一部・石川の一部
明治	辻堂神台1～2丁目、辻堂新町1～4丁目・羽鳥1～5丁目・城南1～5丁目
藤沢	朝日町・藤沢（南）・藤沢1～5丁目・本町1～4丁目・鶴沼の一部・鶴沼神明1～5丁目・西富・西富1～2丁目・大鋸・大鋸1～3丁目・藤が岡1～3丁目
村岡	弥勒寺・弥勒寺1～4丁目・宮前・小塚・高谷・渡内・渡内1～5丁目・柄沢・柄沢1～2丁目・村岡東1～4丁目・川名・川名1～2丁目・並木台1～2丁目
辻堂	辻堂1～6丁目・辻堂元町1～6丁目、辻堂太平台1～2丁目・辻堂東海岸1～4丁目・辻堂西海岸1～3丁目
鶴沼	鶴沼の一部・南藤沢・鶴沼東・鶴沼海岸1～7丁目・鶴沼松が岡1～5丁目・鶴沼桜が岡1～4丁目・鶴沼藤が谷1～4丁目・本鶴沼1～5丁目・鶴沼花沢町・鶴沼橋1～2丁目・鶴沼石上1～3丁目・片瀬
片瀬	片瀬1～5丁目・片瀬海岸1～3丁目・片瀬山1～5丁目・片瀬目白山・江の島1～2丁目

6. 調査結果の概要

ここでは、第2章の調査結果の詳細に記載されている各設問の単純集計コメントと特に注目したいクロス集計コメントを中心に掲載している。詳細は第2章の調査結果の詳細を参照ください。

【回答者の属性】

- ・性別は、「男性」が36.1%、「女性」が62.7%となっている。
- ・年齢は、「85～89歳」が26.5%で最も多く、次いで「80～84歳」が23.3%、「90～94歳」が15.8%、「75～79歳」が13.3%となっている。
- ・居住地区は、「鶴沼」が13.2%で最も多く、次いで「辻堂」が11.9%、「藤沢」が11.7%となっている。
- ・世帯構成は、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が28.8%と最も多く、次いで「子と同居」が23.1%、「ひとり暮らし」が21.9%となっている。介護度別でみると、介護度が重くなるにつれて、「ひとり暮らし」の割合は少なくなっている。
- ・現在の暮らしの状況は、「ふつう」が55.0%と最も多く、次いで「やや苦しい」が25.4%となっている。合計した数値でみると、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた<苦しい>が35.3%、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」を合わせた<ゆとりがある>が7.6%となっている。

【介護・介助の状況、身体の状況等：問6～11】

- ・普段の生活での介護・介助の必要性は、「現在、何らかの介護・介助を受けている」が65.4%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が14.4%、「介護・介助は必要ない」が15.0%となっている。介護度別でみると、「現在、何らかの介護・介助を受けている」の割合は『軽度』で48.0%、『中度』で78.2%、『重度』で94.0%となっている。一方、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合は、『軽度』で20.9%であった。
- ・現在、何らかの介護・介助を受けている人の主な介護・介助者の続柄は、「子」が26.8%、「配偶者」が26.1%、「介護サービスのヘルパー」が25.2%となっている。
- ・かかりつけ医師は「いる」が91.2%、かかりつけの歯科医師は「いる」が61.6%、かかりつけ薬剤師・薬局は「いる」が78.6%となっている。
- ・入れ歯の使用状況は、「入れ歯を使用している」が56.5%、「入れ歯を使用していない」が41.3%となっている。
- ・食事をかんで食べる時の状態は、「何でもかんで食べることができる」が49.3%、「歯や歯ぐき、かみ合わせなどに気になる部分があり、かみにくいことがある」が41.3%となっている。
- ・定期的な歯科受診は「はい」が48.9%、「いいえ」が48.6%と拮抗している。

【通信機器等の状況：問12～13】

- ・保有している通信機器は、「携帯電話」が36.2%と最も多く、次いで「スマートフォン」が26.0%、「パソコン」が12.4%、「タブレット型端末」が5.1%となっており、「持っていない・この中にはない」は36.3%であった。性・年齢別でみると、男女とも同様の傾向を示しており、「携帯電話」は『75～84歳』が最も多く、「スマートフォン」「パソコン」「タブレット型端末」はいずれも『65～74歳』が最も多い。
- ・過去1年間のインターネットの利用状況は、「はい」が19.6%であり、「いいえ」が78.5%を占めて

第1章 調査の概要

いる。男女ともより若い層ほどインターネットを利用している割合が高い。

【新型コロナウイルス感染症の影響：問14～17】

- ・新型コロナウイルス感染症が社会に影響を与える前後での運動量の変化は、「減少した」が51.0%、「変わらない」は44.9%となっている。介護度別でみると、介護度が重くなるにつれて「減少した」の割合は多くなる傾向にある。
- ・新型コロナウイルス感染症が社会に影響を与える前後での身体の症状の変化は、「腰痛」が27.9%と最も多く、次いで「ひざの痛み」が22.2%、「目の疲れ」が20.6%、「姿勢が悪くなった」が20.5%となっている。一方、「不調はない」は22.1%であった。性・年齢別でみると、「腰痛」は男女とも高年齢層ほど多く、「ひざの痛み」は『男性85歳以上』、『女性75～84歳』が最も多い。また、「目の疲れ」と「姿勢が悪くなった」は男性に比べて女性が多くなっている。
- ・新型コロナウイルス感染症が社会に影響を与える前後での減少した行動は、「外食」が44.0%と最も多く、次いで「旅行」と「日常的な買い物」が33.3%、「友人等への訪問」が33.1%、「散歩」が32.6%となっている。一方、「減少した行動はない」は16.7%であった。性・年齢別にみると、「外食」「旅行」は男女とも、若い年齢層ほど多くなっている。一方、「減少した行動はない」は男性の場合、年齢によらず2割弱となっているが、女性の場合は『65～74歳』で9.2%と最も少なく、高年齢層ほど多くなる傾向にある。
- ・新型コロナウイルス感染症が社会に影響を与える前後での増加した行動は、「テレビの視聴時間」が47.8%と最も多く、次いで「読書」が10.5%となっている。一方、「増加した行動はない」は35.5%であった。性・年齢別にみると、「テレビの視聴時間」は男女とも各年齢層で4割以上と多い。また、「増加した行動はない」は、男女とも高年齢層ほど多くなる傾向にある。

【介護保険サービスの利用：問18～27】

- ・介護度は、「要支援1」が26.6%で最も多く、次いで「要介護1」が19.7%、「要支援2」が18.2%となっている。
- ・要介護認定を申請した理由は、「医師や家族などから要介護認定を受けるよう勧められたため」が28.0%で最も多く、次いで「介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与・購入を除く）を受けるため」が17.8%、「病気や骨折等で入院し、退院後の見通しが立たなかったため」が16.7%となっている。世帯構成別でみると、『夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）』では「介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与・購入を除く）を受けるため」が最も多く、その他の世帯では「医師や家族などから要介護認定を受けるよう勧められたため」が最も多くなっている。
- ・介護保険サービス利用の有無は、「利用した」が70.8%、「利用していない」が24.2%となっている。介護度別でみると、介護度が重くなるにつれて「利用した」の割合は多くなる傾向にある。
- ・介護保険サービスを利用していない理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が43.1%で最も多く、次いで「家族などが介護をしてくれるため必要ない」が23.1%、「病院への通院など、医療やリハビリを受けている」が14.3%となっている。介護度別でみると、『軽度』では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が48.2%で最も多く、『重度』では「病院など医療機関に入院している」が42.9%で最も多くなっている。
- ・ケアプランやケアマネジャー等の満足度は、「満足」が45.4%で最も多く、次いで「まあ満足」が30.1%で、これらを合わせた＜満足＞の割合は75.5%となっている。

- ・ケアプランやケアマネジャーに対する不満は、「ケアプラン内容やサービス利用の目的などの説明が十分でない」が50.0%で最も多く、次いで「本人・家族の希望や悩みなどをあまり聞いてくれない」が41.4%、「専門的な知識や経験が不足している」が25.9%となっている。
- ・利用している介護保険外サービスは、「配食（宅配サービス）」が6.7%で最も多く、次いで「掃除・洗濯（家事代行サービス）」が5.2%、「移送サービス（福祉タクシー等）」が4.4%となっている。一方、「利用していない」は47.1%となっている。介護度別でみると、『軽度』では「掃除・洗濯（家事代行サービス）」、『中度』では「配食（宅配サービス）」、『重度』では「移送サービス（福祉タクシー等）」がそれぞれ最も多くなっている。
- ・介護保険料の負担感は、「妥当」が32.0%で最も多くなっている。また、「高い」（19.2%）と「やや高い」（22.3%）を合計した＜高い＞との割合は41.5%であった。
- ・今後の介護保険とサービスのあり方は、「保険料額も介護保険サービス量も、今くらいが妥当である」が43.9%で最も多く、次いで「わからない」が21.8%、「保険料額が高くても、介護保険サービス量が充実している方がよい」が13.3%となっている。

【介護における相談等の状況：問28～36】

- ・健康、福祉、介護のことなどで困ったときの相談先は、「家族や親戚」が60.3%で最も多く、次いで「病院・診療所」が35.3%、「いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）」が34.2%となっている。
- ・「いきいきサポートセンター」（地域包括支援センター）の認知度は、「知っていて、利用したことがある」が57.3%で最も多く、次いで「知っているが、利用したことはない」が21.4%、これらを合わせた＜知っている＞割合（認知率）は78.7%となっている。地区別でみると、「知っていて、利用したことがある」は『村岡』が69.5%と最も多く、次いで『遠藤』が65.1%、『明治』が64.5%となっている。
- ・「いきいきサポートセンター」（地域包括支援センター）の利用に対する満足度は、「満足」が39.7%、「まあ満足」が40.3%となっており、これらを合わせた＜満足＞の割合は80.1%となっている。
- ・「いきいきサポートセンター」（地域包括支援センター）を知ったきっかけは、「市役所・地区福祉窓口への相談・問い合わせ」が25.5%で最も多く、次いで「市の広報・ホームページ」が17.1%、「市民センター・公民館などの市の施設にあるチラシ・パンフレット」が16.8%となっている。
- ・本人も含め家族に認知症の症状がある人の有無は、「はい」が34.0%、「いいえ」が61.0%であった。
- ・認知症に関する相談窓口の認知は、「はい」が25.5%、「いいえ」が67.1%となっている。
- ・認知症の方に対する重点的施策は、「認知症のことを相談できる窓口・体制の充実」が47.2%で最も多く、次いで「できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり」が45.1%、「家族の身体的・精神的負担を減らす取組」と「認知症の人が利用できる介護施設の充実」がともに45.0%となっている。
- ・人生最期のときについて話していることは、「葬儀・お墓について」が34.7%で最も多く、次いで「医療や看取りについて」が30.1%、「財産や相続について」が27.2%となっている。一方、「話をしていない」は40.8%であった。
- ・最期を過ごしたい場所は、「自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院したい」が33.5%で最も多く、次いで「最期まで自宅で過ごしたい」が26.8%、「わからない」が14.1%となっている。

【ご自身の状況（要介護状態になる前のリスクや社会参加状況等の状況）：問38～問70】

- ・階段を手すりや壁をつたわずに上る動作について、「できない」が69.1%と最も多く、次いで「できる、している」が14.8%、「できるがしていない」が11.1%となっている。
- ・椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がる動作について、「できない」が50.3%で最も多く、次いで「できる、している」が32.3%、「できるがしていない」が12.2%となっている。
- ・15分程度を歩く動作について、「できる、している」が52.4%で最も多く、次いで「できない」が31.3%、「できるがしていない」が11.4%となっている。
- ・過去1年間の間に転んだ経験は、「ない」が43.4%と最も多く、次いで「1度ある」が27.9%、「何度もある」が24.2%となっている。
- ・転倒に対する不安感は、「とても不安である」が49.9%と最も多く、次いで「やや不安である」が35.9%となっており、それらを合わせた＜不安である＞割合は85.8%となっている。性・年齢別で見ると、「とても不安である」は『男性』に比べて『女性』で多くなっている。
- ・週当たりの外出頻度は、「週2～4回」が42.5%と最も多くなっている。一方、「週1回」が17.5%、「ほとんど外出しない」が24.1%となっており、それらを合わせた＜週1回以下＞の割合は41.6%となっている。性・年齢別で見ると、いずれも「週2～4回」が3割以上と最も多い。また、「ほとんど外出しない」は男女とも『85歳以上』で3割前後と多くなっている。
- ・昨年と比べた外出頻度は、「減っている」が43.6%と最も多く、次いで「とても減っている」が21.2%となっており、それらを合わせた＜減っている＞割合は64.8%となっている。
- ・身長、体重から算出したBMIは、「18.5以上25未満（普通）」が56.8%と過半数を占める。一方、「25以上（肥満）」は16.6%、「18.5未満（やせ）」は14.2%であった。
- ・直近6か月間で2～3kg以上の体重減少の有無について、「はい」が24.0%、「いいえ」が67.9%となっている。
- ・半年前と比べた固いものの食べにくさについて、「はい」が44.3%、「いいえ」が51.4%となっている。
- ・お茶や汁物等でむせることについて、「はい」が42.3%、「いいえ」が53.4%となっている。
- ・口の渇きが気になることについて、「はい」が41.9%、「いいえ」が53.1%となっている。
- ・歯の数と入れ歯の利用状況について、歯の数は「20本以上、入れ歯の利用なし」が21.1%、「20本以上、かつ入れ歯を利用」が19.8%で、それらを合わせた＜20本以上＞歯のある割合は40.9%となっている。また、入れ歯の状況は「19本以下、かつ入れ歯を利用」が31.4%、「20本以上、かつ入れ歯を利用」が19.8%で、それらを合わせた＜入れ歯を利用している＞割合は51.2%となっている。一方、「自分の歯は1本も減っていない」は8.3%であった。
- ・誰かと食事をともにする機会は、「毎日ある」が55.7%で最も多く、次いで「月に何度かある」が10.8%、「週に何度かある」が10.0%となっている。一方、「ほとんどない」は11.2%であった。
- ・物忘れが多いと感じるかについては、「はい」が62.4%、「いいえ」が32.4%となっている。
- ・バスや電車を使って1人で外出することについて、「できる、している」が35.9%、「できるがしていない」が15.2%で、それらを合わせると＜できる＞割合は51.1%となっている。一方、「できない」は44.6%であった。
- ・食品・日用品の買物について、「できる、している」が40.9%、「できるがしていない」が16.6%で、それらを合わせると＜できる＞割合は57.5%となっている。一方、「できない」は38.8%であった。
- ・食事の用意について、「できる、している」が48.4%、「できるがしていない」が14.4%で、それら

- を合わせると<できる>割合は62.8%となっている。一方、「できない」は33.1%であった。
- ・請求書の支払いについて、「できる、している」が49.6%、「できるがしていない」が15.4%で、それらを合わせると<できる>割合は65.0%となっている。一方、「できない」は30.8%であった。
 - ・預貯金の出し入れについて、「できる、している」が46.0%、「できるがしていない」が18.3%で、それらを合わせると<できる>割合は64.3%となっている。一方、「できない」は29.8%であった。
 - ・各活動の参加者の割合は、ボランティア活動やボランティアのグループの参加割合は8.5%、趣味・スポーツのグループの参加割合は16.7%、介護予防のための通いの場、地域の縁側の参加割合は18.3%、地域の団体活動の参加割合は7.9%、収入のある活動（仕事）の参加割合は2.6%であった。
 - ・参加者としての地域づくりのためのグループ活動への参加意向は、「ぜひ参加したい」が6.4%、「参加してもよい」が29.6%で、それらを合わせた<参加者としての参加意向者>は36.0%となっている。一方、「参加したくない」は50.7%であった。
 - ・企画・運営としての地域づくりのためのグループ活動への参加意向は、「ぜひ参加したい」が1.9%、「参加してもよい」が16.0%で、それらを合わせた<企画・運営としての参加意向者>は17.9%となっている。一方、「参加したくない」は67.7%であった。
 - ・心配事や愚痴を聞いてくれる人は、「別居の子」が35.0%と最も多く、次いで「配偶者」が31.9%、「同居の子」が23.5%、「友人」が23.0%となっている。一方、「そのような人はいない」は7.5%であった。
 - ・心配事や愚痴を聞いてあげている人は、「配偶者」が25.4%と最も多く、次いで「友人」が24.4%、「別居の子」が18.9%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が16.2%となっている。一方、「そのような人はいない」は21.3%であった。
 - ・看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」が36.0%と最も多く、次いで「別居の子」が31.9%、「同居の子」が29.2%となっている。一方、「そのような人はいない」は8.0%であった。
 - ・看病や世話をしてあげている人は、「配偶者」が21.2%と最も多く、次いで「同居の子」が7.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が4.3%となっている。一方、「そのような人はいない」は55.0%と半数以上を占める。
 - ・健康状態は、「とてもよい」が3.0%、「まあよい」が48.6%で、それらを合わせた<状態がよい>割合は51.6%となっている。一方、「あまりよくない」は31.9%、「よくない」は9.7%で、それらを合わせた<状態がよくない>割合は41.6%であった。
 - ・幸福度を「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点とした点数をたずねたところ、「4点」が20.0%と最も多く、次いで「7点」が16.7%、「8点」が12.2%となっており、平均は5.73点であった。性・年齢別に平均点数をみると、男女とも『85歳以上』が最も高く、『男性85歳以上』が5.75、『女性85歳以上』が6.01となっている。一方、『男性65～74歳』は最も平均点数が低く4.72となっている。
 - ・この1か月間に気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることが「あった」が54.2%、「なかった」が36.9%となっている。性・年齢別でみると、「あった」は『男性』に比べて『女性』で多く、特に『女性65～74歳』で61.6%と多くなっている。
 - ・この1か月間にどうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じが「あった」が46.6%、「なかった」が43.1%となっている。
 - ・喫煙状況は、「いいえ」（喫煙していない）が90.8%と多数を占め、「はい」（喫煙している）は3.7%となっている。

第1章 調査の概要

- ・現在治療中、または後遺症のある病気は、「高血圧」が44.8%と最も多く、以下「目の病気」が24.2%、「心臓病」が17.6%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症等）」が17.0%、「糖尿病」が16.2%と続いている。一方、「なし」は3.6%であった。性・年齢別でみると、男女各年齢層とも「高血圧」が最も多く3割以上となっており、「目の病気」と「心臓病」は男女とも高齢層ほど多くなっている。また性別で比較すると、「筋骨格の病気（骨粗しょう症等）」は『女性』、「腎臓・前立腺の病気」は『男性』で多くみられる。

【主な介護者の状況：問71～73】

- ・主な介護・介助者の年齢は、「30代～60代」が48.8%で最も多く、次いで「70代」が22.5%、「80代」が20.5%となっている。
- ・主な介護者の「ダブルケア」の状況は、「はい」が9.3%、「いいえ」が77.8%となっている。
- ・市へ最も望む支援は、「介護者の休息が取れるようなサービスの充実」が27.3%、「介護者が相談できる体制の充実」が18.1%、「介護保険外（配食や見守りなど）サービスの充実」が11.3%となっている。一方、「特にない」は13.2%みられる。

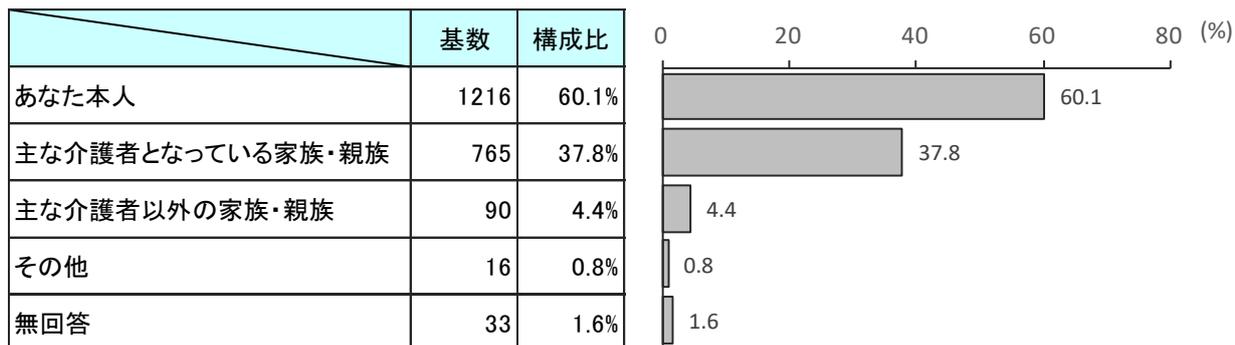
第2章 調査結果の詳細

1. 家族や生活状況について

(1) 調査票の回答者

問1 現在、この調査票にご回答をいただいているのは、どなたですか。(複数回答可)

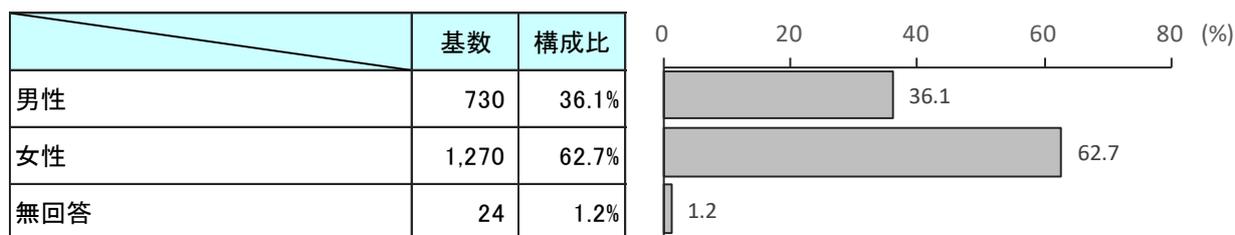
調査票の回答者は、「あなた本人」が60.1%、「主な介護者となっている家族・親族」が37.8%となっている。



(2) 性別

問2 ①あなた本人の性別についてご回答ください。

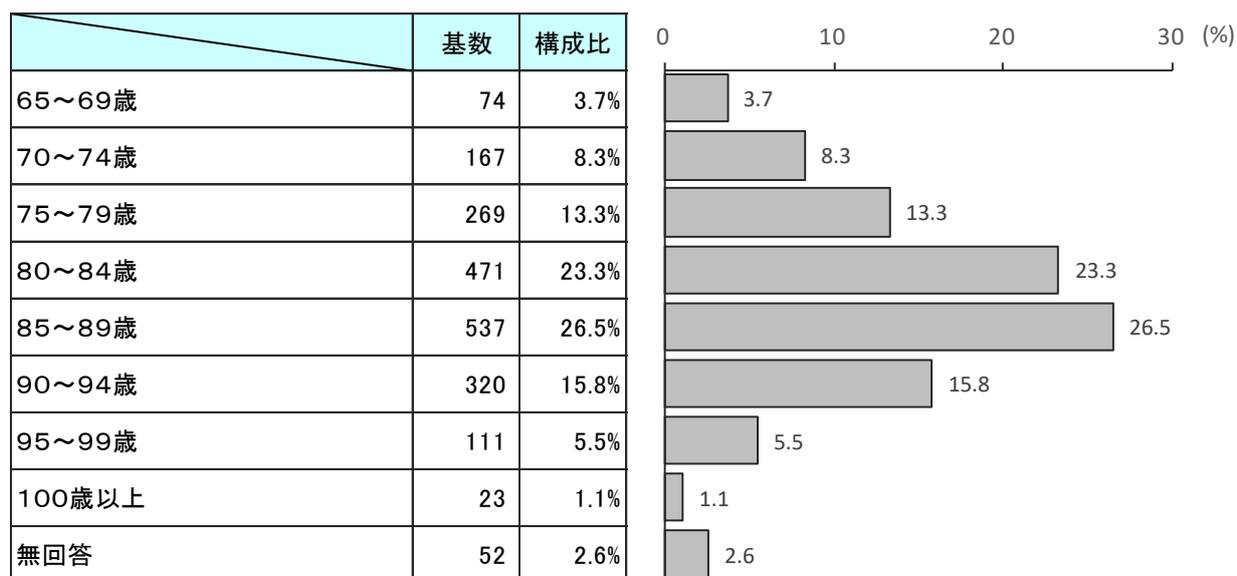
性別は、「男性」が36.1%、「女性」が62.7%となっている。



(3) 年齢

問2 ②あなた本人の年齢は何歳ですか。(令和4年10月1日時点での満年齢)(1つだけ○印)

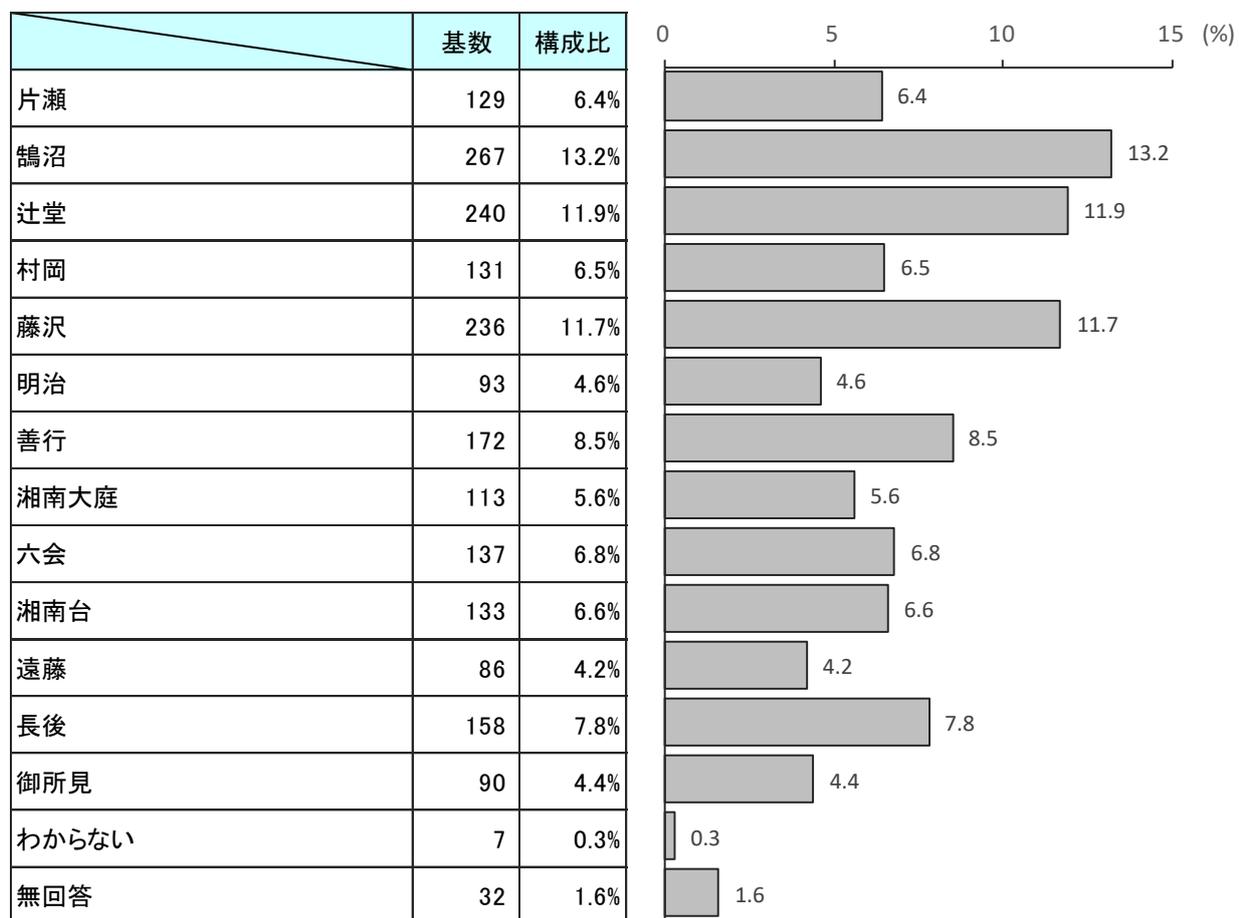
年齢は、「85～89歳」が26.5%で最も多く、次いで「80～84歳」が23.3%、「90～94歳」が15.8%、「75～79歳」が13.3%となっている。



(4) 居住地区

問3 あなた本人のお住まいの地区についてご回答ください。(1つだけ○印)

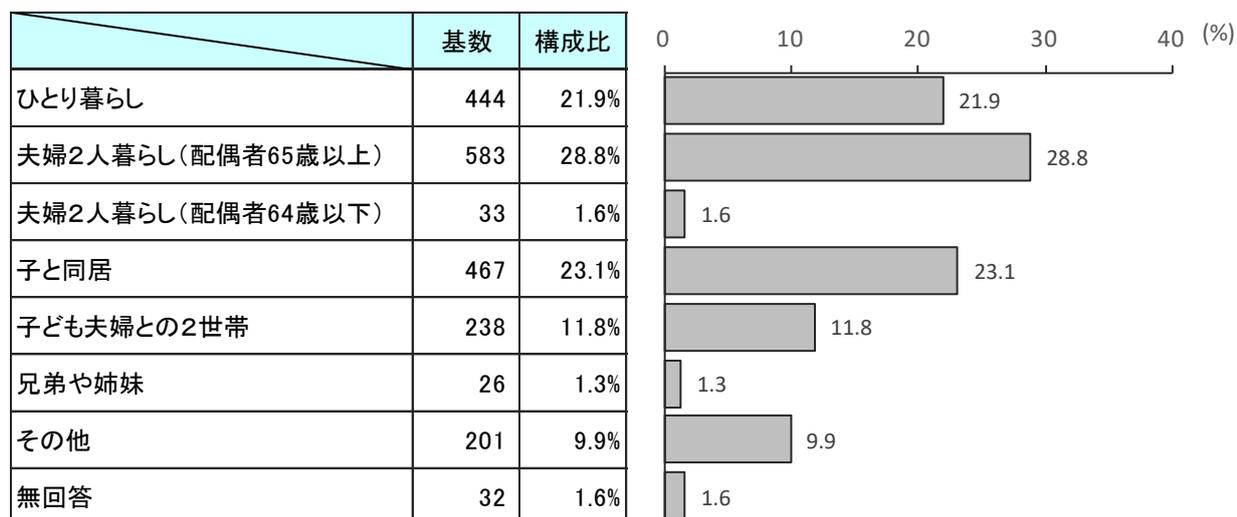
居住地区は、「鶴沼」が13.2%で最も多く、次いで「辻堂」が11.9%、「藤沢」が11.7%となっている。



(5) 世帯構成

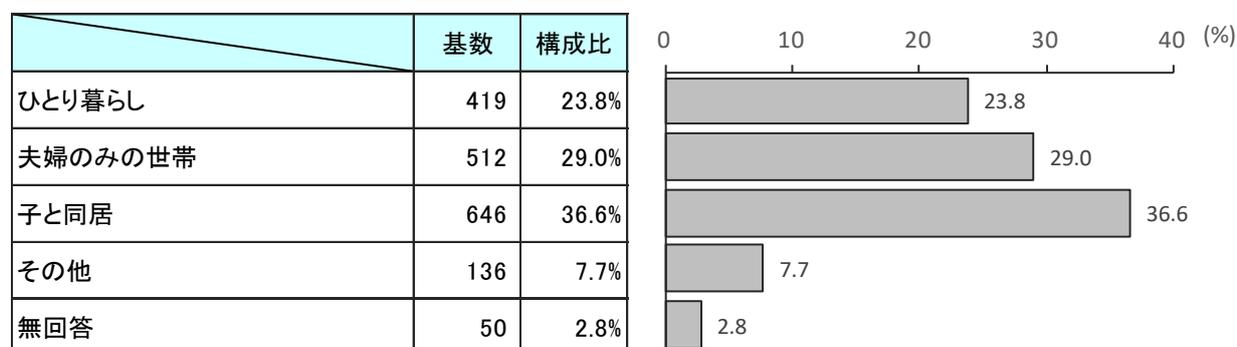
問4 あなた本人は、どなたと一緒に暮らしていますか。(1つだけ○印)

世帯構成は、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が28.8%と最も多く、次いで「子と同居」が23.1%、「ひとり暮らし」が21.9%となっている。



※「前回」の調査結果と一部選択肢が異なるため、経年比較のコメントは控える。

○「前回」の調査結果



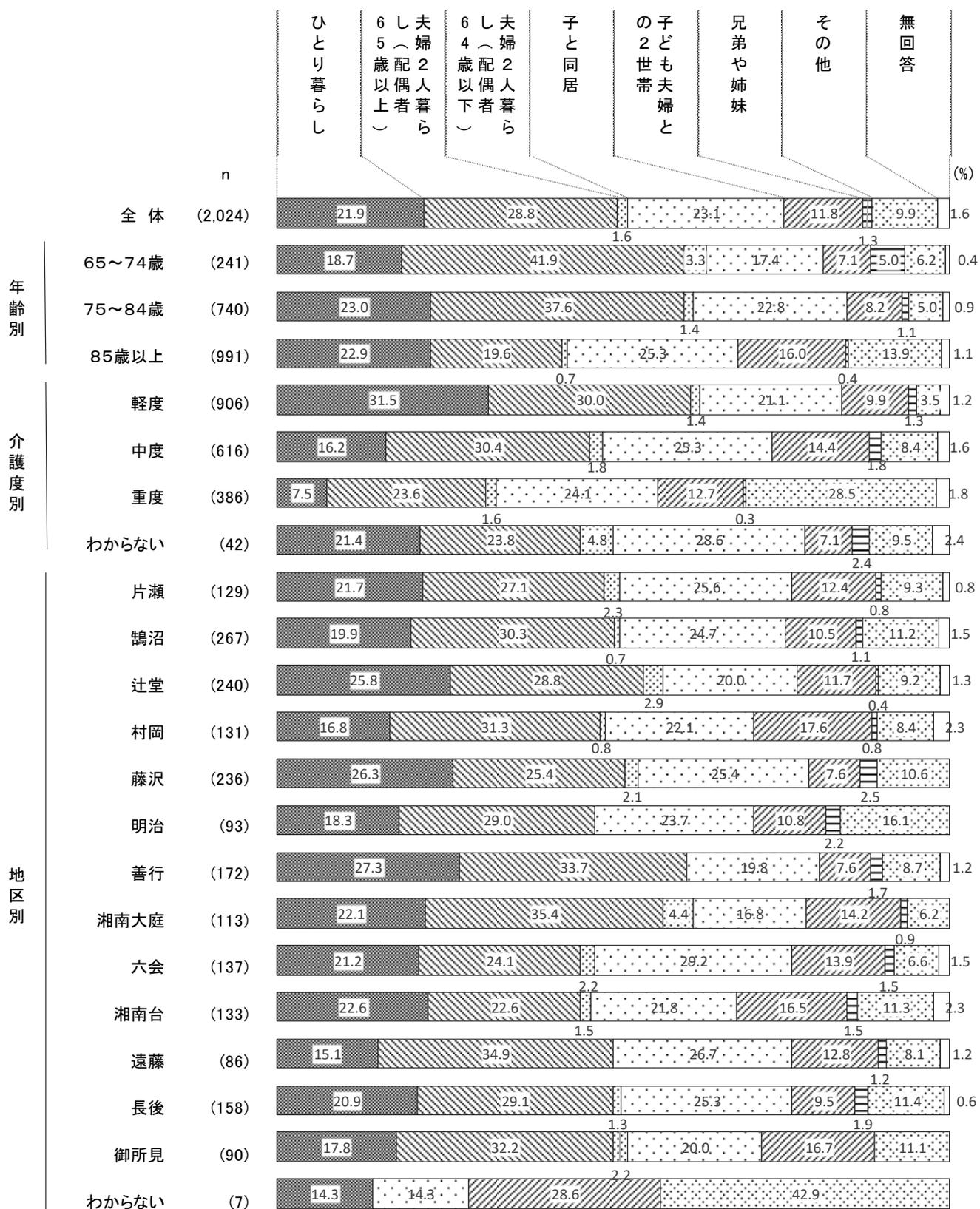
年齢別でみると、『65～74歳』および『75～84歳』では「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」がそれぞれ41.9%、37.6%で最も多くなっている。『85歳以上』では「子と同居」が25.3%で最も多くなっている。

介護度別でみると、介護度が重くなるにつれて、「ひとり暮らし」の割合は少なくなっている。

地区別でみると、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」は『湘南大庭』が35.4%、「子と同居」は『六会』が29.2%と最も多い。また、「ひとり暮らし」は『善行』、『藤沢』、『辻堂』が25%以上となっている。※次ページ参照

第2章 調査結果の詳細

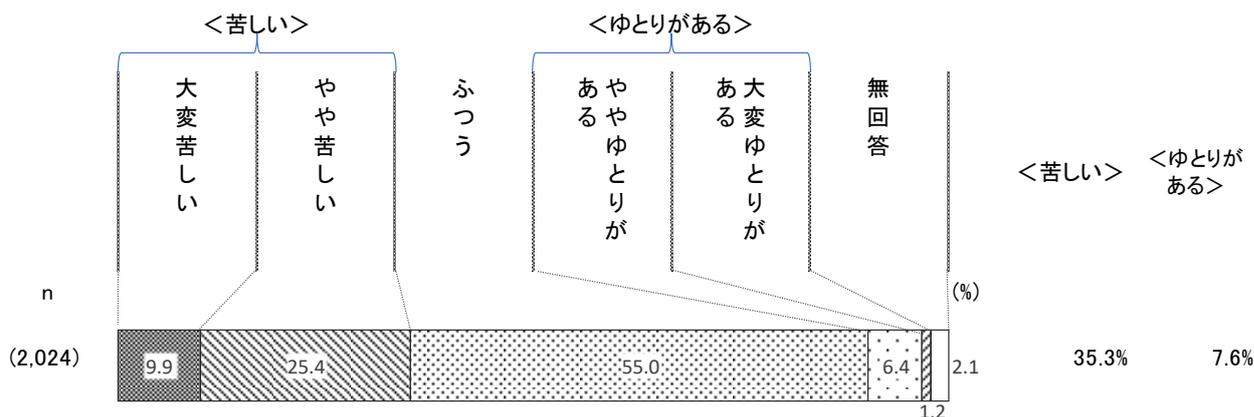
○世帯構成／年齢別、介護度別、地区別



(6) 経済的な状況

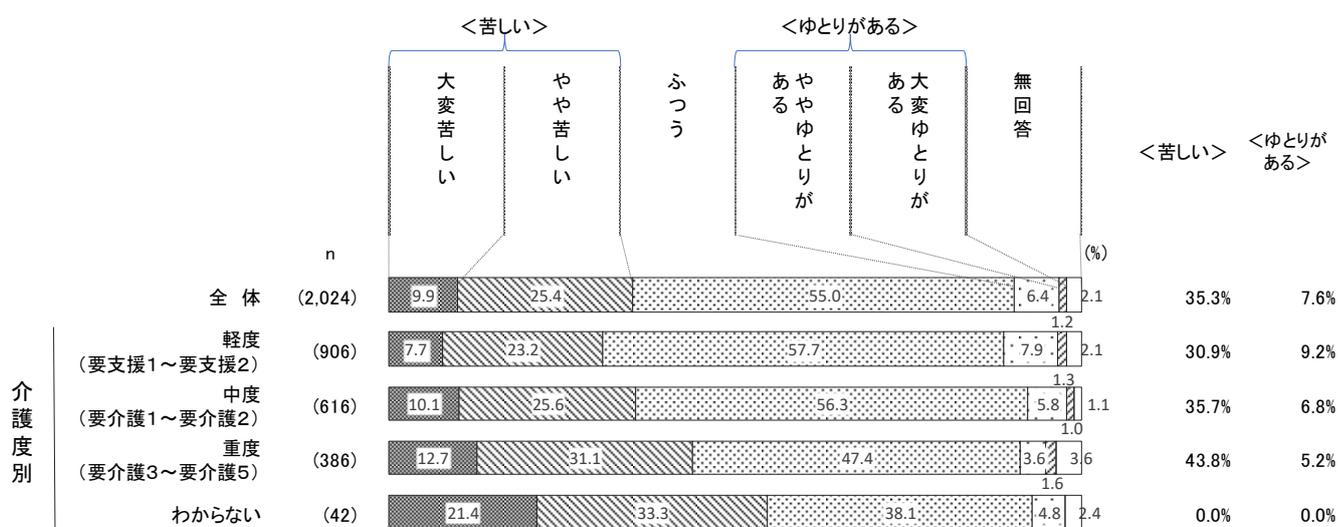
問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つだけ○印)

現在の暮らしの状況は、「ふつう」が55.0%と最も多く、次いで「やや苦しい」が25.4%となっている。合計した数値でみると、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた<苦しい>割合が35.3%、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」を合わせた<ゆとりがある>割合が7.6%であった。



介護度別でみると、<苦しい>割合は、『軽度』が30.9%、『中度』が35.7%、『重度』が43.8%と介護度が重いほど多くなっている。

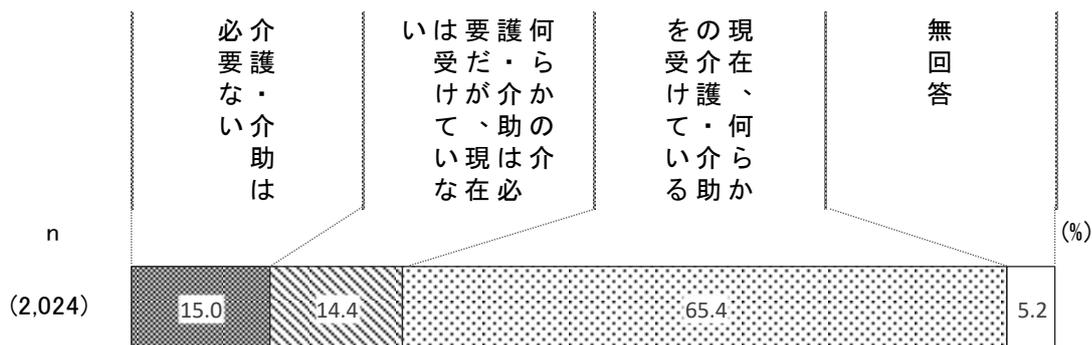
○経済的な状況／介護度別



(7) 介護・介助の必要性

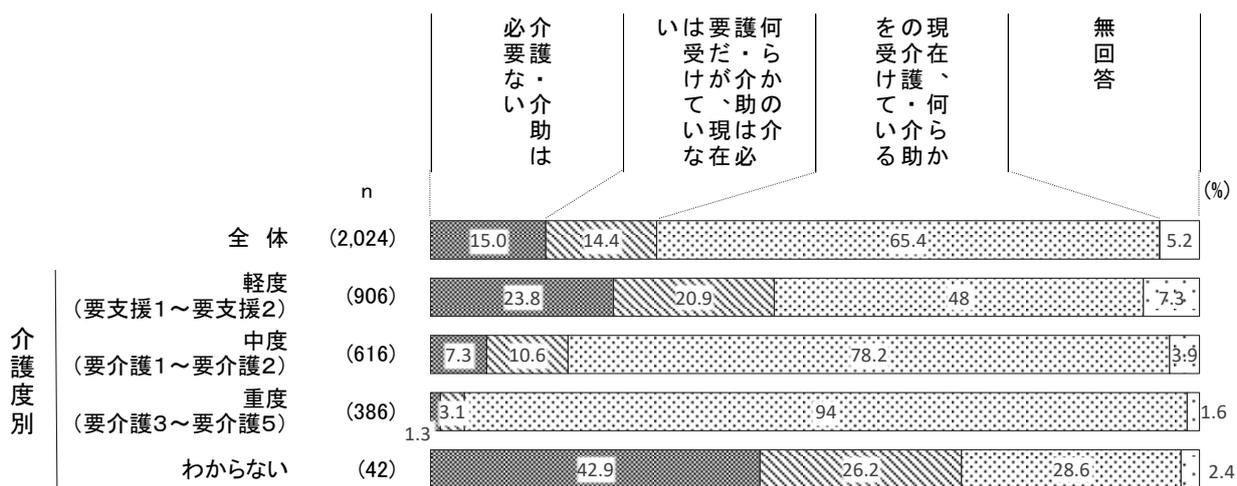
問6 あなた本人は、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つだけ○印)

普段の生活での介護・介助の必要性は、「現在、何らかの介護・介助を受けている」が65.4%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が14.4%、「介護・介助は必要ない」が15.0%となっている。



介護度別でみると、「現在、何らかの介護・介助を受けている」の割合は『軽度』で48.0%、『中度』で78.2%、『重度』で94.0%となっている。一方、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合は、『軽度』で20.9%であった。

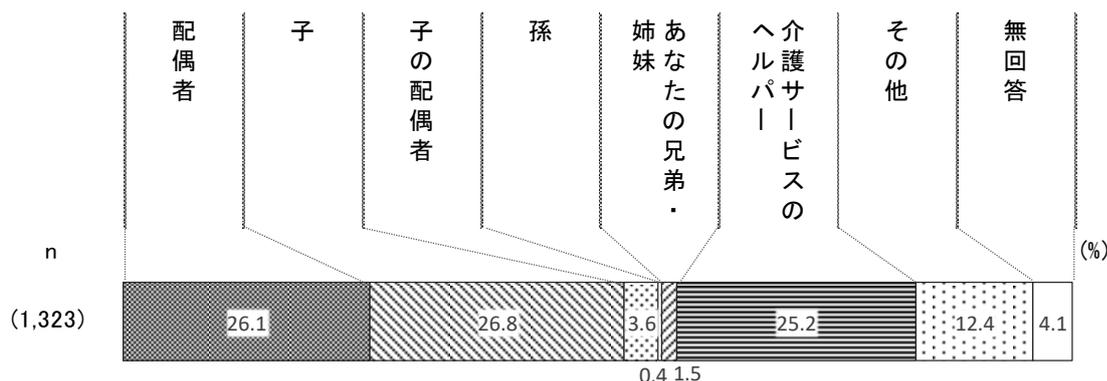
○介護・介助の必要性／介護度別



(8) 主な介護・介助者

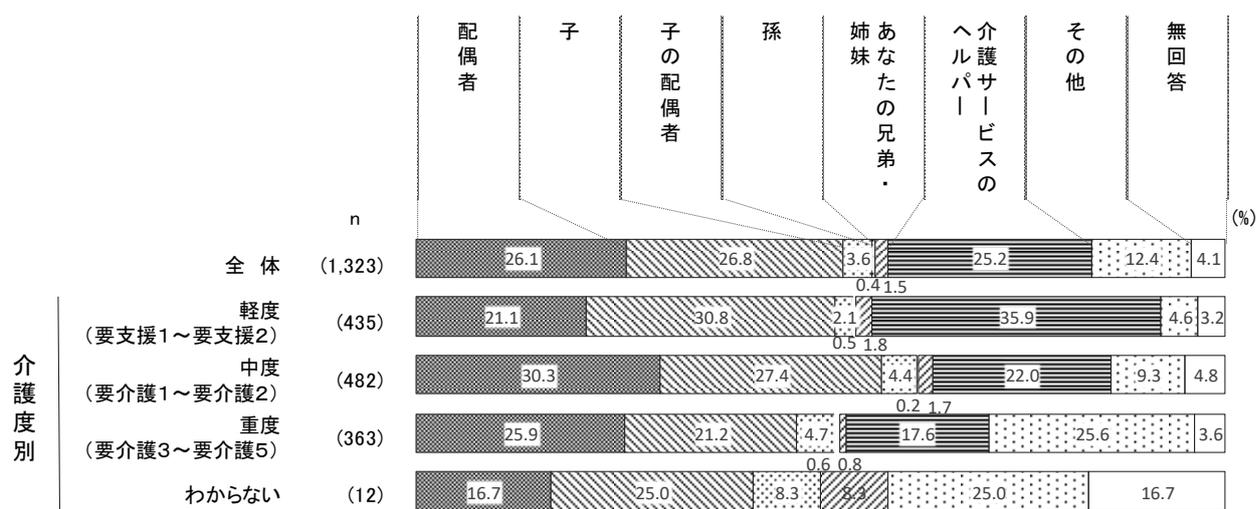
問7 《問6で「3. 現在、何らかの介護・介助を受けている」に回答した方のみ》
主にどなたの介護・介助を受けていますか。(1つだけ○印)

現在、何らかの介護・介助を受けている人の主な介護・介助者の続柄は、「子」が26.8%、「配偶者」が26.1%、「介護サービスのヘルパー」が25.2%となっている。



介護度別でみると、「配偶者」は『中度』が30.3%と最も多く、「子」は『軽度』で30.8%と最も多くなっている。また、「介護サービスのヘルパー」は『軽度』で35.9%、『中度』で22.0%、『重度』で17.6%と、介護度が重くなるほど少なくなっている。

○主な介護・介助者／介護度別



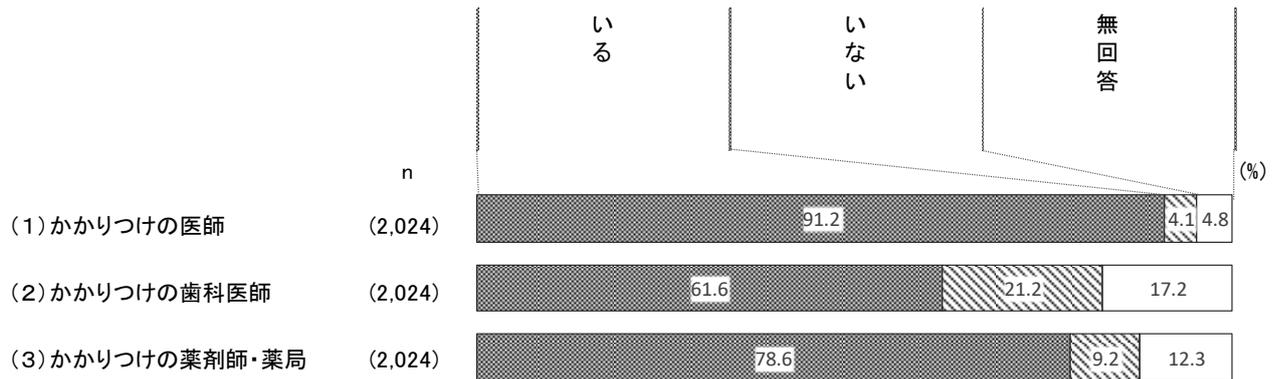
(9) かかりつけ医師、歯科医師、薬局の有無

問8 特定のかかりつけの医師や歯科医師、薬局がありますか。(それぞれ1つに○印)

かかりつけ医師の有無は、「いる」が91.2%、「いない」が4.1%となっている。

かかりつけの歯科医師の有無は、「いる」が61.6%、「いない」が21.2%となっている。

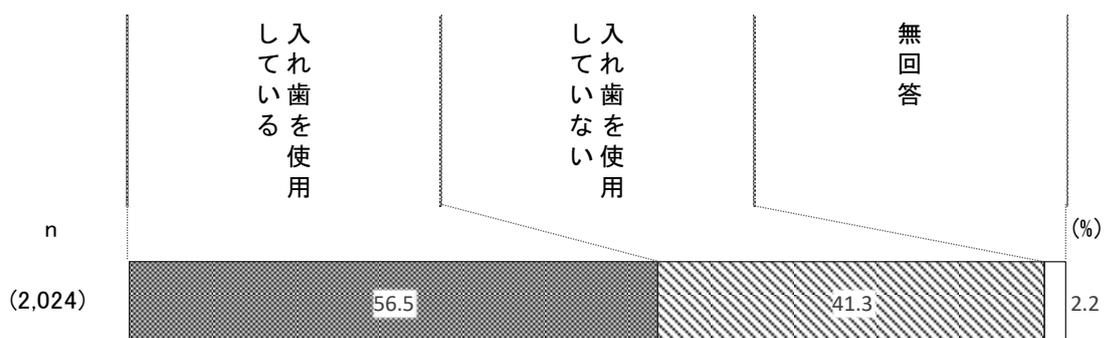
かかりつけ薬剤師・薬局の有無は、「いる」が78.6%、「いない」が9.2%となっている。



(10) 入れ歯の使用状況

問9 入れ歯の使用状況について、ご回答ください。

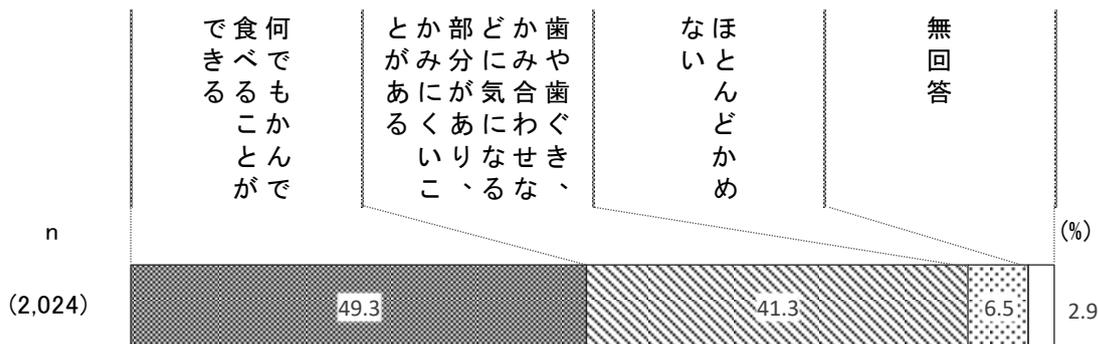
入れ歯の使用状況は、「入れ歯を使用している」が56.5%、「入れ歯を使用していない」が41.3%となっている。



(11) かみあわせ

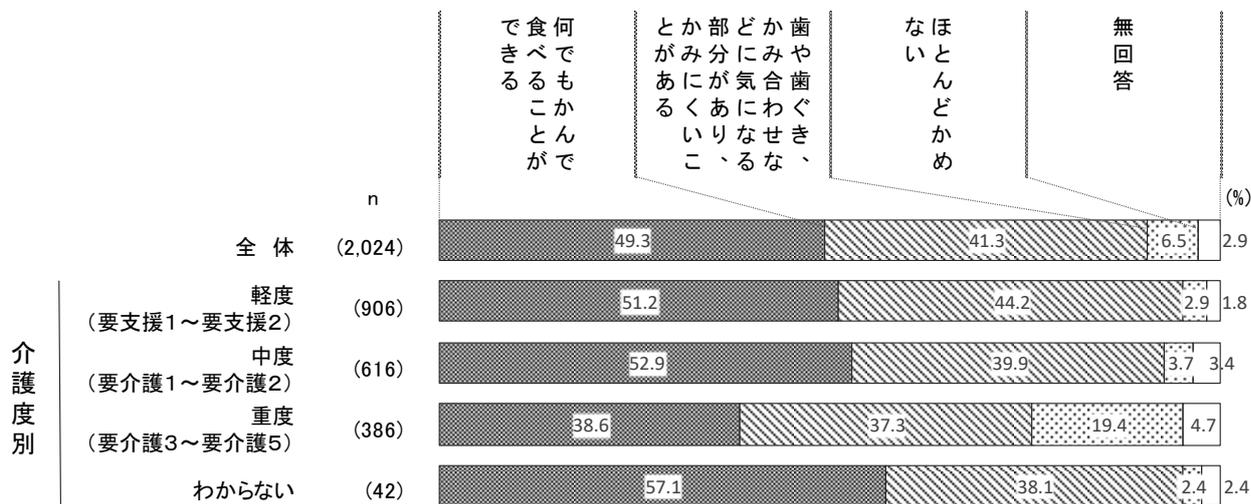
問10 食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。(1つだけ○印)

食事をかんで食べる時の状態は、「何でもかんで食べることができる」が49.3%、「歯や歯ぐき、かみ合わせなどに気になる部分があり、かみにくいことがある」が41.3%となっている。



介護度別で見ると、『軽度』と『中度』では大きな差はみられないが、『重度』では「何でもかんで食べることができる」が38.6%と少なく、「ほとんどかめない」が19.4%と多くなっている。

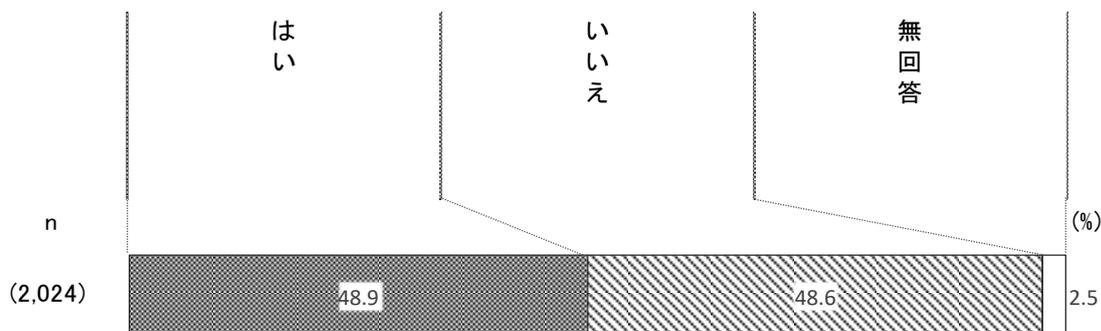
○介護・介助の必要性／介護度別



(12) 歯科受診状況

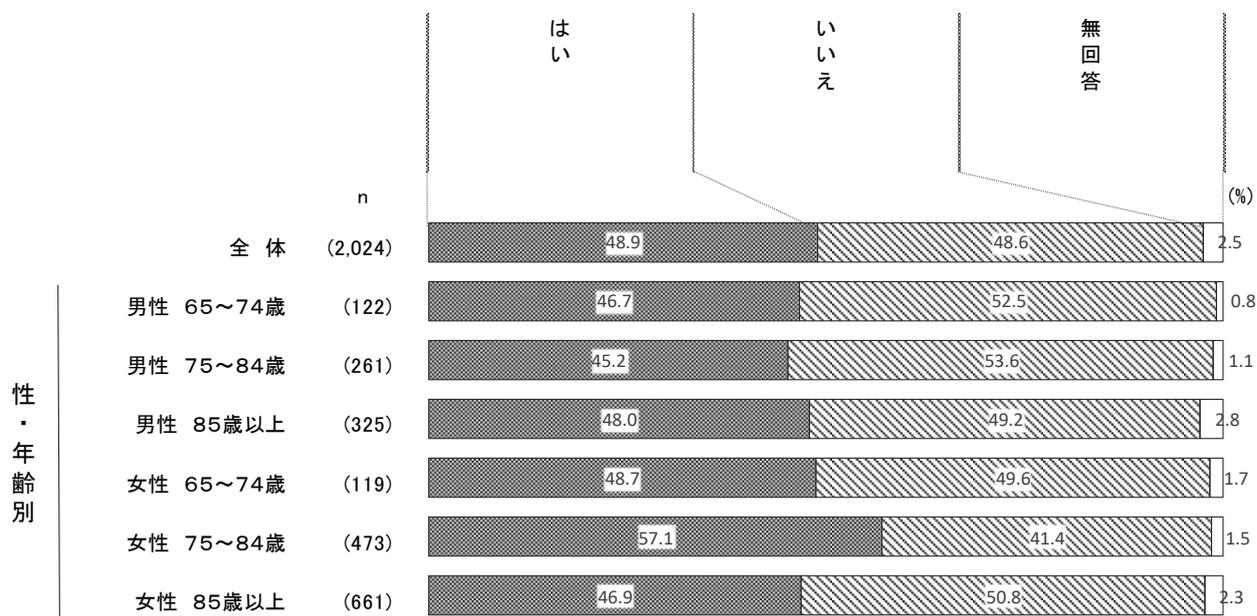
問11 定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか。

定期的な歯科受診は「はい」が48.9%、「いいえ」が48.6%と拮抗している。



性・年齢別でみると、「はい」の割合は『女性75～84歳』で57.1%と最も多い。

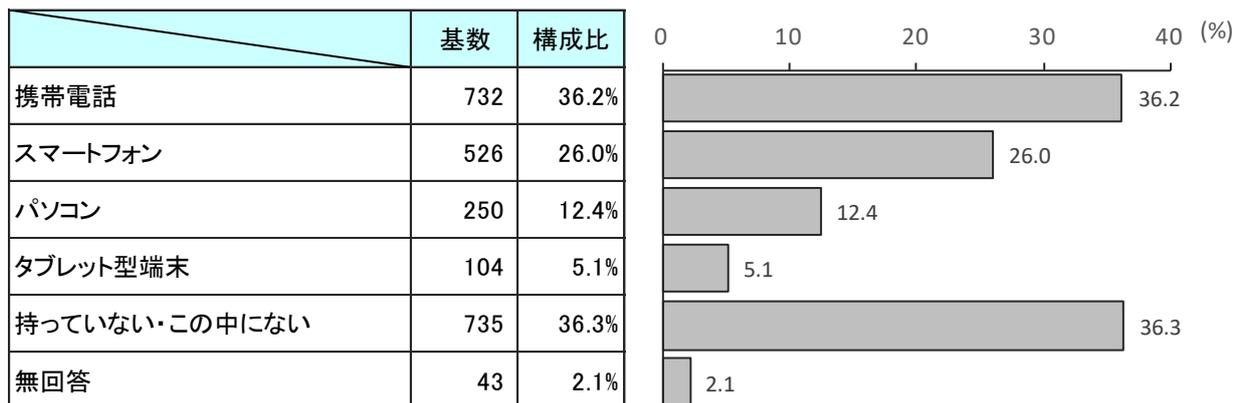
○歯科受診状況／性・年齢別



(13) 通信機器の状況

問12 あなた本人は、次のような通信機器をお持ちですか。(複数回答可)

保有している通信機器は、「携帯電話」が36.2%と最も多く、次いで「スマートフォン」が26.0%、「パソコン」が12.4%、「タブレット型端末」が5.1%となっており、「持っていない・この中にはない」は36.3%であった。



性・年齢別でみると、男女とも同様の傾向を示しており、「携帯電話」は『75～84歳』が最も多く、その他の通信機器はいずれも『65～74歳』が最も多い。一方、「持っていない・この中にはない」の割合は、高年齢層ほど多くなる傾向にある。

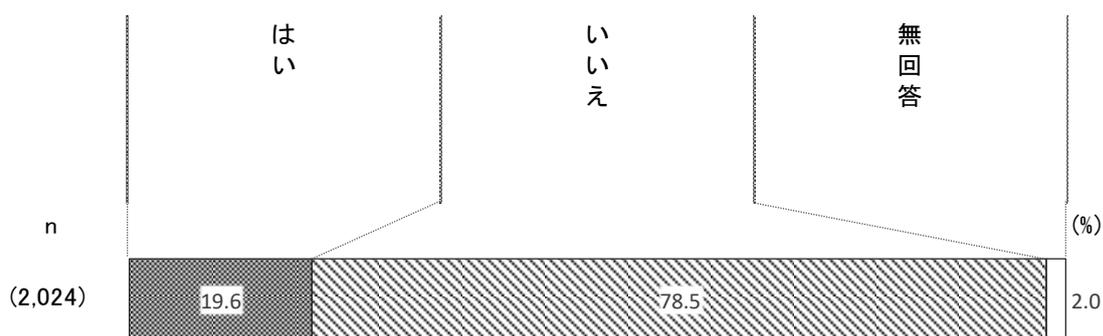
○通信機器の状況／性・年齢別

	調査数 (件)	携 帯 電 話	ス マ ー ト フ ォ ン	パ ソ コ ン	タ ブ レ ッ ト 型 端 末	の 持 っ て い な い ・ こ の 中 に は な い	無 回 答
全 体	2024	36.2	26.0	12.4	5.1	36.3	2.1
性・年齢別							
男性 65～74歳	122	29.5	49.2	32.0	10.7	17.2	0.8
男性 75～84歳	261	40.6	31.0	21.5	5.7	29.1	0.4
男性 85歳以上	325	32.9	19.4	17.8	3.4	43.4	2.2
女性 65～74歳	119	30.3	50.4	16.8	16.0	17.6	2.5
女性 75～84歳	473	45.2	29.8	8.9	5.5	26.4	1.3
女性 85歳以上	661	33.6	14.4	3.0	2.3	51.3	1.8

(14) インターネットの利用

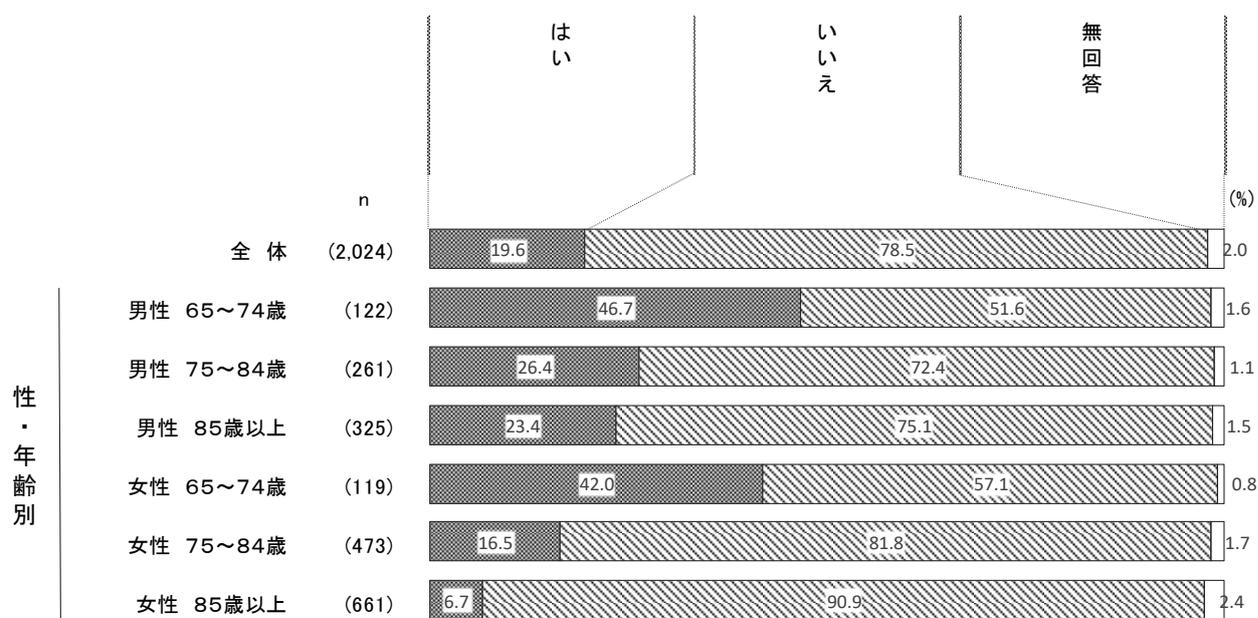
問13 あなた本人は、過去1年間にインターネットを利用したことがありますか。(外出先など、利用場所や公私の別、通信機器を所有しているか等を問わず、あらゆる場合を含みます。)

過去1年間のインターネットの利用状況は、「はい」が19.6%であり、「いいえ」が78.5%を占めている。



性・年齢別でみると、男女ともより若い層ほどインターネットを利用している割合が高い。

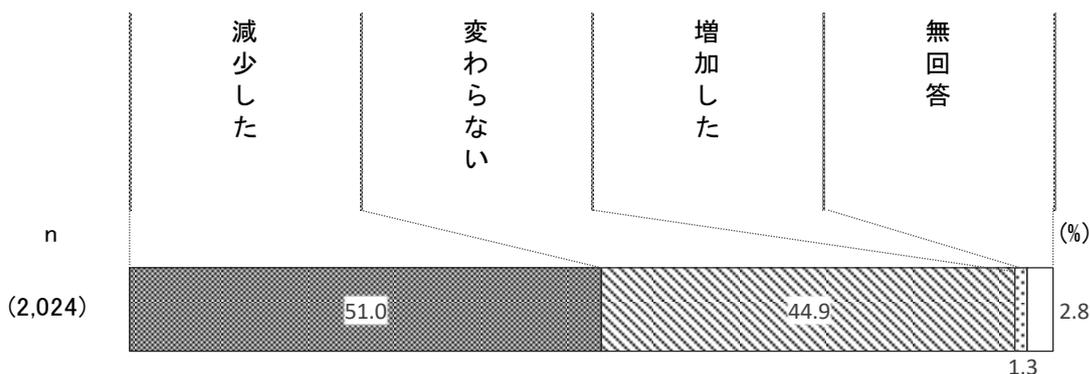
○インターネットの利用／性・年齢別



(15) 新型コロナ前後の運動量の変化

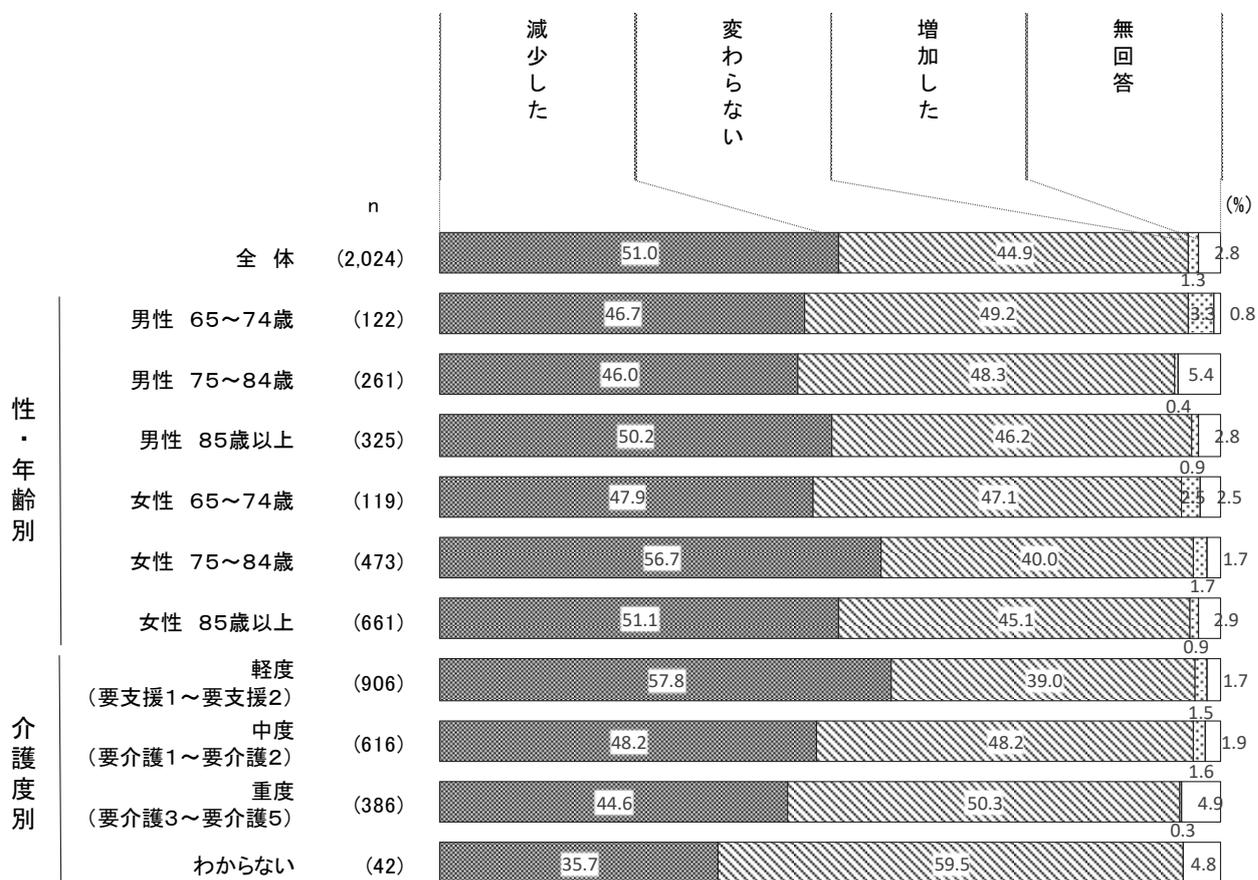
問14 新型コロナウイルス感染症が社会に影響を与える前と現在を比較して、運動量に変化はありますか。(1つだけ○印)

新型コロナウイルス感染症が社会に影響を与える前後での運動量の変化は、「減少した」が51.0%、「変わらない」は44.9%となっている。



性・年齢別でみると、「減少した」の割合は『女性75～84歳』で56.7%と最も多い。
介護度別でみると、介護度が重くなるにつれて「減少した」の割合は少なくなる傾向にある。

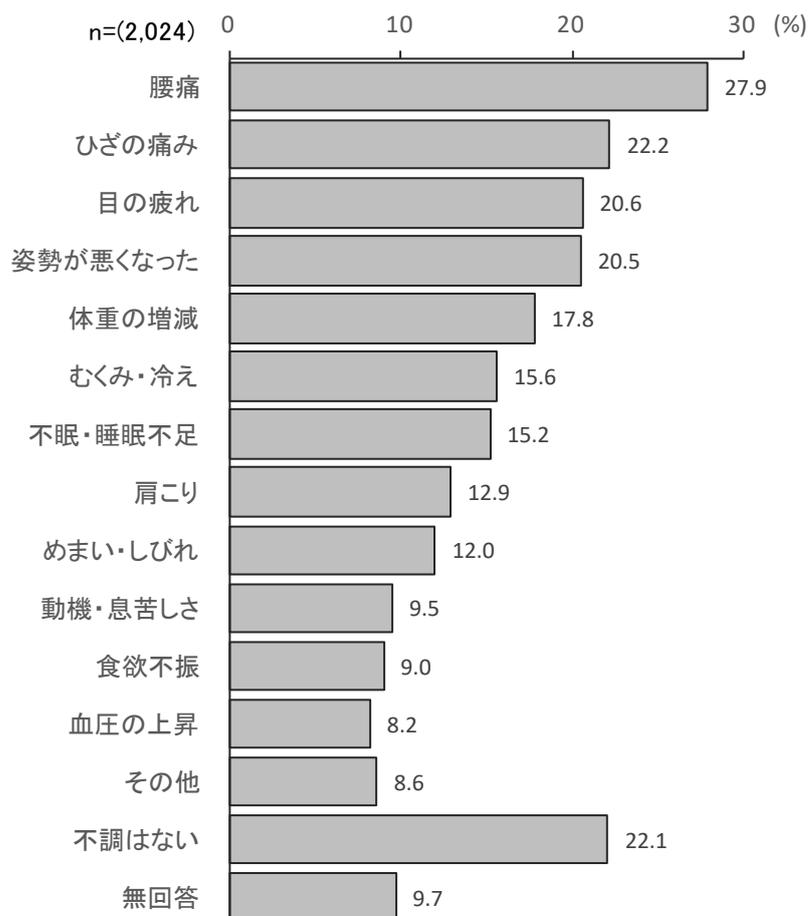
○インターネットの利用／性・年齢別



(16) 新型コロナ前後の身体の症状の変化

問15 新型コロナウイルス感染症が社会に影響を与える前と現在を比較して、不調と感じるようになった身体の症状等をご回答ください。(複数回答可)

新型コロナウイルス感染症が社会に影響を与える前後での身体の症状の変化は、「腰痛」が27.9%と最も多く、次いで「ひざの痛み」が22.2%、「目の疲れ」が20.6%、「姿勢が悪くなった」が20.5%となっている。一方、「不調はない」は22.1%であった。



性・年齢別で見ると、「腰痛」は男女とも高年齢層ほど多く、「ひざの痛み」は『男性85歳以上』、『女性75～84歳』が最も多い。また、身体の症状の変化は全体的に『男性』に比べて『女性』のほうが多く、特に「目の疲れ」「姿勢が悪くなった」「不眠・睡眠不足」でその差は多くなっている。

介護度別で見ると、全体的に介護度が軽いほど症状の変化が多くみられている。

第2章 調査結果の詳細

○新型コロナ前後の身体の症状の変化／性・年齢別

	調査数 (件)	腰痛	ひざの 痛み	目の 疲れ	姿勢 が悪 く	体重 の 増減	むく み・ 冷え
全 体	2024	27.9	22.2	20.6	20.5	17.8	15.6

性・年齢別

男性 65～74歳	122	23.0	13.1	19.7	15.6	20.5	9.0
男性 75～84歳	261	26.4	15.3	14.6	18.8	16.9	11.9
男性 85歳以上	325	28.6	22.2	16.6	16.9	18.2	16.6
女性 65～74歳	119	23.5	16.0	25.2	24.4	19.3	15.1
女性 75～84歳	473	28.1	27.5	24.1	25.4	20.5	15.2
女性 85歳以上	661	29.7	24.2	21.9	20.1	14.7	18.5

介護度別

軽度(要支援1～要支援2)	906	36.6	28.5	29.5	24.0	21.5	18.8
中度(要介護1～要介護2)	616	24.7	18.5	16.7	20.3	15.3	14.8
重度(要介護3～要介護5)	386	12.4	13.2	7.5	14.5	14.5	12.2
わからない	42	33.3	19.0	21.4	16.7	11.9	4.8

	調査数 (件)	足不 眠・ 睡眠 不	肩こ り	めま い・ しび	動機 ・息 苦し	食欲 不振	血圧 の上 昇
全 体	2024	15.2	12.9	12.0	9.5	9.0	8.2

性・年齢別

男性 65～74歳	122	13.1	16.4	9.8	8.2	5.7	7.4
男性 75～84歳	261	13.4	7.7	8.8	8.0	7.3	5.7
男性 85歳以上	325	9.8	8.0	10.2	10.5	7.1	5.5
女性 65～74歳	119	20.2	14.3	14.3	9.2	8.4	8.4
女性 75～84歳	473	21.1	16.5	16.3	8.9	9.3	9.1
女性 85歳以上	661	13.9	13.8	11.5	10.1	11.2	9.7

介護度別

軽度(要支援1～要支援2)	906	20.2	18.1	16.2	10.4	9.7	10.0
中度(要介護1～要介護2)	616	13.3	10.1	10.6	10.6	9.7	8.0
重度(要介護3～要介護5)	386	7.5	5.2	5.7	6.2	7.8	5.4
わからない	42	11.9	11.9	7.1	11.9	7.1	7.1

	調査数 (件)	そ の 他	不 調 は な い	無 回 答
全 体	2024	8.6	22.1	9.7

性・年齢別

男性 65～74歳	122	11.5	26.2	9.8
男性 75～84歳	261	5.7	24.5	11.5
男性 85歳以上	325	8.9	23.1	10.5
女性 65～74歳	119	10.9	21.0	8.4
女性 75～84歳	473	6.3	19.9	6.8
女性 85歳以上	661	10.6	21.2	10.9

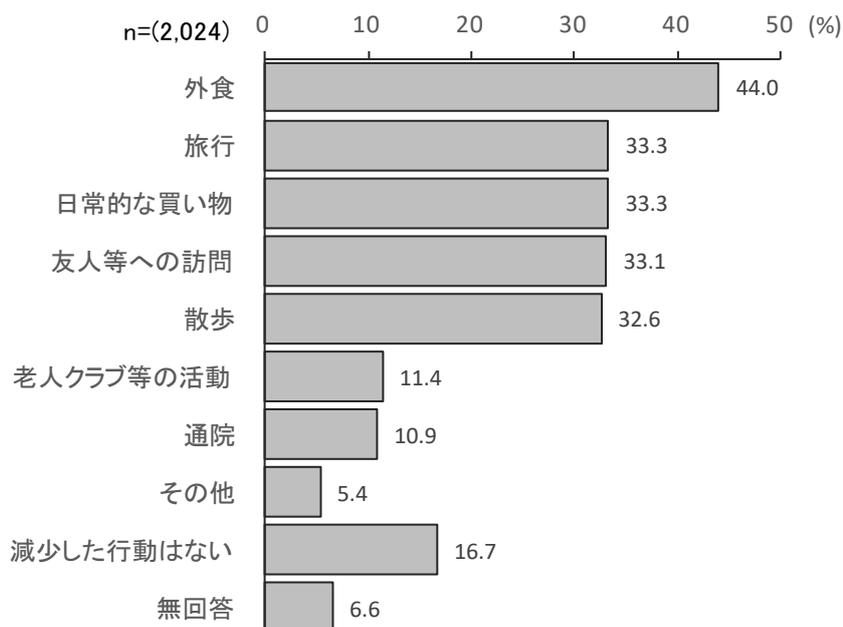
介護度別

軽度(要支援1～要支援2)	906	5.0	16.9	6.1
中度(要介護1～要介護2)	616	12.2	26.3	8.4
重度(要介護3～要介護5)	386	12.7	28.0	18.1
わからない	42	9.5	19.0	9.5

(17) 新型コロナ前後の減少した行動

問16 新型コロナウイルス感染症が社会に影響を与える前と現在を比較して、日常生活の中で減少した行動はありますか。(複数回答可)

新型コロナウイルス感染症が社会に影響を与える前後での減少した行動は、「外食」が44.0%と最も多く、次いで「旅行」と「日常的な買い物」が33.3%、「友人等への訪問」が33.1%、「散歩」が32.6%となっている。一方、「減少した行動はない」は16.7%であった。



性・年齢別にみると、「外食」「旅行」は男女とも、若い年齢層ほど多くなっている。一方、「減少した行動はない」は男性の場合、年齢によらず2割弱となっているが、女性の場合は『65～74歳』で9.2%と最も少なく、高年齢層ほど多くなる傾向にある。

介護度別にみると、「外食」「旅行」は介護度が軽いほど多くなっている。

第2章 調査結果の詳細

○新型コロナ前後の減少した行動／性・年齢別

	調査数 (件)	外食	旅行	物 日 常 的 な 買 い	問 友 人 等 へ の 訪	散 歩	の 老 人 ク ラ ブ 等 の 活 動
全 体	2024	44.0	33.3	33.3	33.1	32.6	11.4

性・年齢別

男性 65～74歳	122	51.6	37.7	23.0	26.2	25.4	4.1
男性 75～84歳	261	42.9	31.8	22.6	21.5	34.1	6.1
男性 85歳以上	325	38.2	29.8	25.8	23.7	35.1	13.5
女性 65～74歳	119	58.0	44.5	40.3	52.1	26.1	7.6
女性 75～84歳	473	47.8	40.2	41.4	46.5	33.4	10.6
女性 85歳以上	661	41.0	28.0	37.1	30.4	33.1	15.1

介護度別

軽度(要支援1～要支援2)	906	51.2	42.9	40.7	43.2	35.7	12.8
中度(要介護1～要介護2)	616	42.4	28.9	33.1	28.7	33.0	11.9
重度(要介護3～要介護5)	386	31.9	19.2	19.4	18.1	27.5	8.8
わからない	42	42.9	40.5	21.4	23.8	23.8	4.8

	調査数 (件)	通 院	そ の 他	は 減 少 し た 行 動	無 回 答
全 体	2024	10.9	5.4	16.7	6.6

性・年齢別

男性 65～74歳	122	7.4	6.6	19.7	4.1
男性 75～84歳	261	8.0	2.7	18.4	9.2
男性 85歳以上	325	11.4	6.5	19.1	8.6
女性 65～74歳	119	9.2	5.0	9.2	3.4
女性 75～84歳	473	8.0	3.4	12.5	4.9
女性 85歳以上	661	14.2	7.1	18.5	6.5

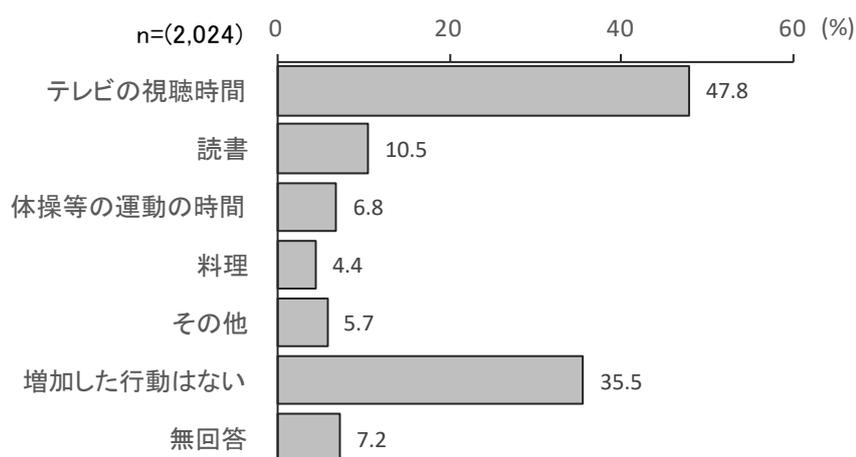
介護度別

軽度(要支援1～要支援2)	906	10.3	4.2	11.5	3.4
中度(要介護1～要介護2)	616	12.3	5.0	19.5	5.7
重度(要介護3～要介護5)	386	11.9	9.6	23.8	13.2
わからない	42	2.4	4.8	21.4	4.8

(18) 新型コロナ前後の増加した行動

問17 新型コロナウイルス感染症が社会に影響を与える前と現在を比較して、日常生活の中で増加した行動はありますか。(複数回答可)

新型コロナウイルス感染症が社会に影響を与える前後での増加した行動は、「テレビの視聴時間」が47.8%と最も多く、次いで「読書」が10.5%となっている。一方、「増加した行動はない」は35.5%であった。



性・年齢別にみると、「テレビの視聴時間」は男女とも各年齢層で4割以上と多い。また、「増加した行動はない」は、男女とも高年齢層ほど多くなる傾向にある。

介護度別にみると、「テレビの視聴時間」「読書」は介護度が軽い層ほど多くなる傾向がみられる。

○新型コロナ前後の増加した行動／性・年齢別

	調査数 (件)	テレビ の視聴 時間	読 書	体操 等の 運動 時間	料 理	そ の 他	は増 加し た 行 動	無 回 答
全 体	2024	47.8	10.5	6.8	4.4	5.7	35.5	7.2
性・年齢別								
男性 65～74歳	122	51.6	6.6	7.4	2.5	7.4	33.6	4.1
男性 75～84歳	261	47.1	8.8	8.0	2.3	4.2	36.0	8.4
男性 85歳以上	325	45.5	7.4	7.7	1.8	5.8	36.9	8.3
女性 65～74歳	119	53.8	12.6	9.2	5.9	3.4	31.9	2.5
女性 75～84歳	473	55.0	12.7	5.9	7.6	4.9	32.3	5.5
女性 85歳以上	661	42.4	11.3	5.7	4.1	7.0	38.1	8.6
介護度別								
軽度(要支援1～要支援2)	906	58.2	15.1	9.5	7.5	4.9	25.8	4.7
中度(要介護1～要介護2)	616	44.8	8.6	5.0	2.3	6.3	42.7	4.2
重度(要介護3～要介護5)	386	28.5	2.1	3.1	0.5	7.5	49.5	14.2
わからない	42	50.0	14.3	4.8	7.1	2.4	26.2	9.5

2. 介護保険サービスについて

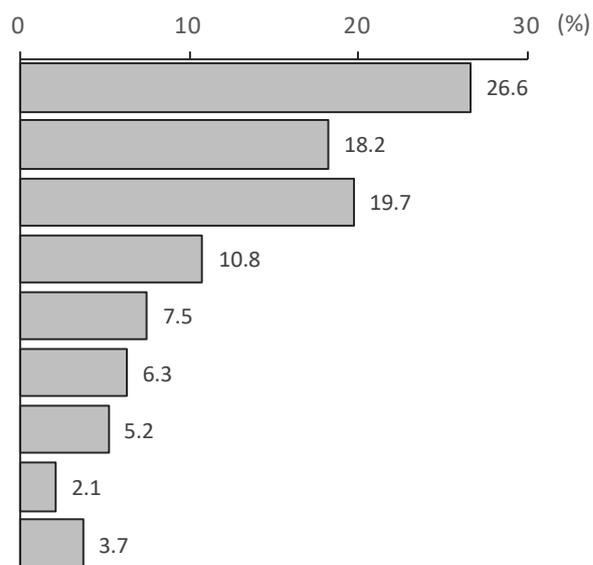
(1) 介護度

問18 あなた本人が現在認定されている介護度をご回答ください。(1つだけ○印)

介護度は、「要支援1」が26.6%で最も多く、次いで「要介護1」が19.7%、「要支援2」が18.2%となっている。

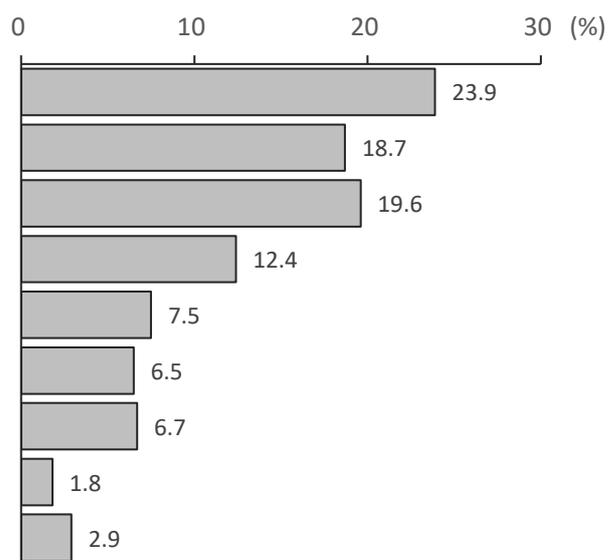
「前回」の調査結果と比較すると、「要支援1」が2.7ポイント増加している。

	基数	構成比
要支援1	538	26.6%
要支援2	368	18.2%
要介護1	398	19.7%
要介護2	218	10.8%
要介護3	152	7.5%
要介護4	128	6.3%
要介護5	106	5.2%
わからない	42	2.1%
無回答	74	3.7%



○「前回」の調査結果

	基数	構成比
要支援1	422	23.9%
要支援2	329	18.7%
要介護1	345	19.6%
要介護2	219	12.4%
要介護3	133	7.5%
要介護4	115	6.5%
要介護5	118	6.7%
わからない	31	1.8%
無回答	51	2.9%

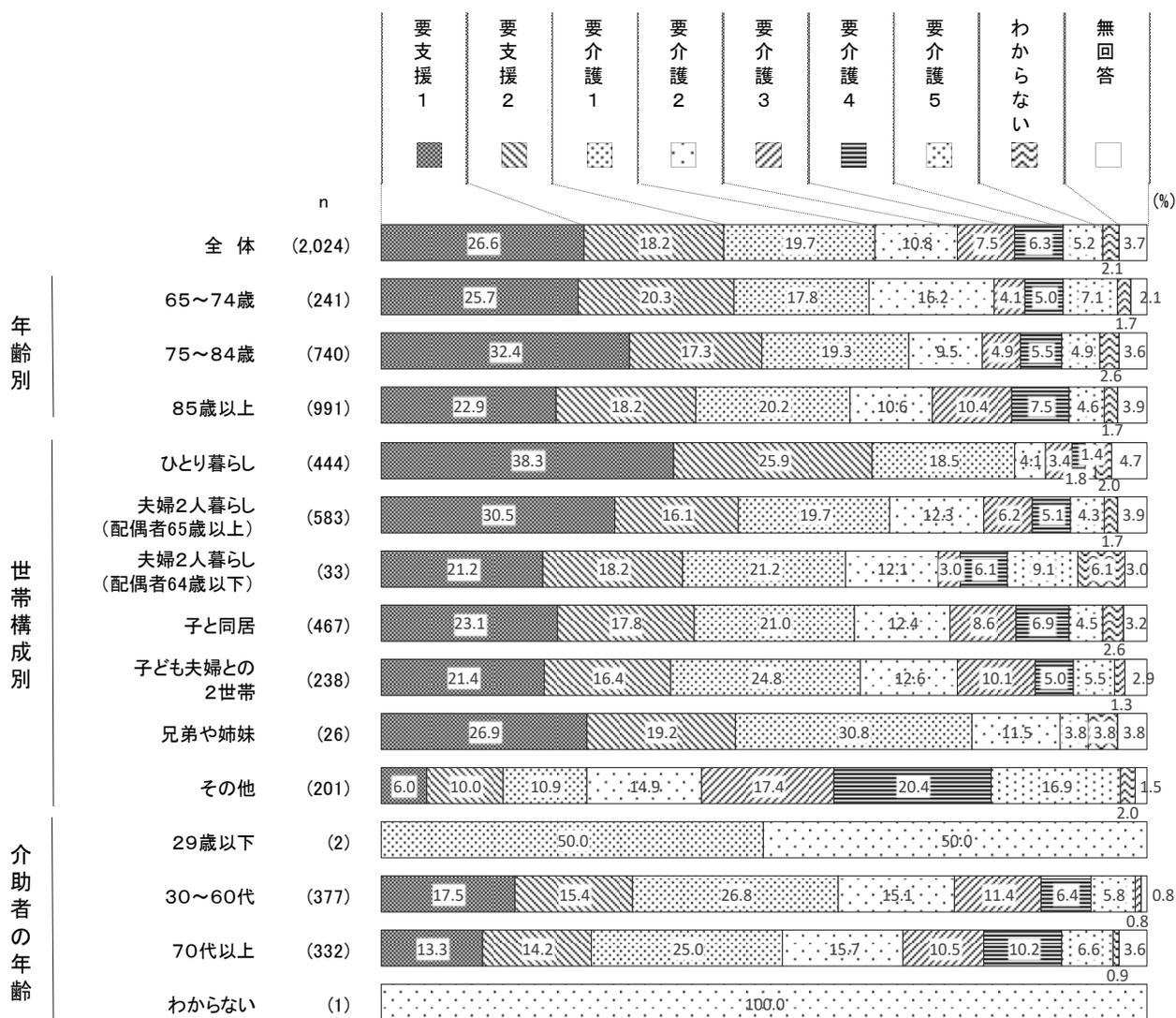


年齢別でみると、「要支援1」は『75～84歳』で32.4%と最も多くなっている。

世帯構成別でみると、『ひとり暮らし』および『夫婦のみの世帯』では「要支援1」がそれぞれ38.3%、30.5%で最も多くなっている。

介助者の年齢別でみると、『30～60代』および『70代以上』では「要介護1」が2割以上で最も多くなっている。

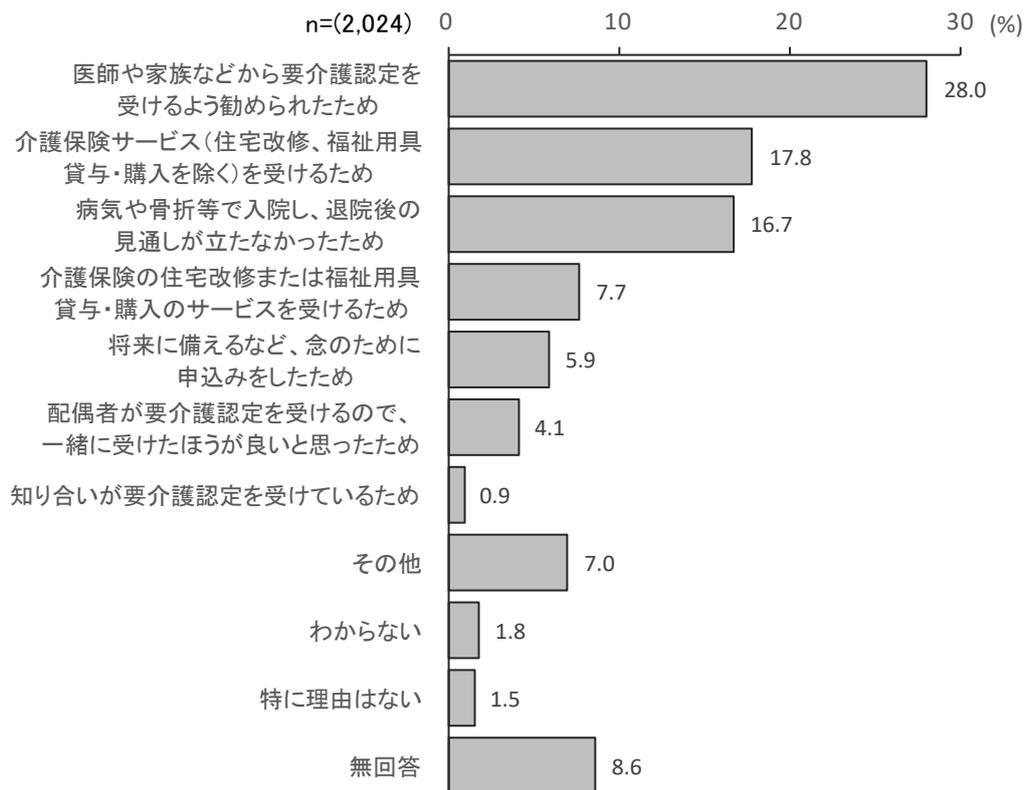
○介護度／年齢別、世帯構成別、介助者の年齢別



(2) 要介護認定の申請理由

問19 要介護認定を初めて申請したときの理由は何ですか。(1つだけ○印)

要介護認定を申請した理由は、「医師や家族などから要介護認定を受けるよう勧められたため」が28.0%で最も多く、次いで「介護保険サービス(住宅改修、福祉用具貸与・購入を除く)を受けるため」が17.8%、「病気や骨折等で入院し、退院後の見通しが立たなかったため」が16.7%となっている。



介護度別でみると、「医師や家族などから要介護認定を受けるよう勧められたから」「介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与・購入を除く）を受けるため」「病気や骨折等で入院し、退院後の見通しが立たなかったため」の割合が、介護度が重くなるにつれて多くなる傾向にある。

世帯構成別でみると、『夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）』では「介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与・購入を除く）を受けるため」が最も多く、その他の世帯では「医師や家族などから要介護認定を受けるよう勧められたため」が最も多くなっている。

○要介護認定を申請したときの目的／世帯構成別、介護度別

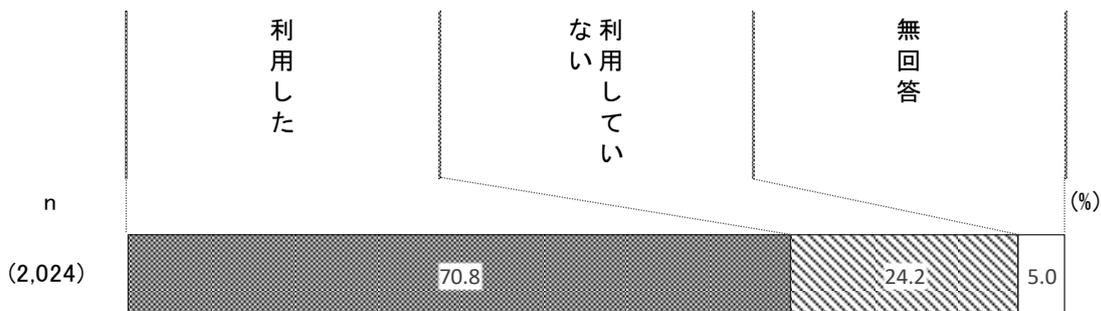
	調査数 (件)	医師や家族などから勧められたため	介護保険サービス（福祉用具貸与・住宅改修を除く）を受けるため	病気や骨折等で入院したため	介護保険サービスの貸与・購入のため	将来に備えるなどのため	配偶者がよいと思っただけ
全体	2,024	28.0	17.8	16.7	7.7	5.9	4.1
介護度別							
軽度	906	23.4	15.8	14.9	8.7	9.3	5.3
中度	616	33.9	19.6	19.0	7.6	3.4	3.6
重度	386	35.5	22.0	19.9	5.4	1.3	1.6
わからない	42	4.8	11.9	2.4	7.1	7.1	7.1
世帯構成別							
ひとり暮らし	444	22.7	12.6	21.2	4.5	8.6	3.2
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	583	29.7	18.0	15.6	9.1	4.6	5.5
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	33	18.2	21.2	9.1	12.1	12.1	18.2
子と同居	467	27.8	20.1	15.0	9.6	5.6	3.2
子ども夫婦との2世帯	238	30.3	22.3	13.4	8.4	7.1	3.4
兄弟や姉妹	26	34.6	15.4	7.7	7.7	7.7	-
その他	201	34.3	17.4	19.9	3.5	2.5	3.0

	調査数 (件)	知り合いために要介護認定を受ける	その他	わからない	特に理由はない	無回答
全体	2,024	0.9	7.0	1.8	1.5	8.6
介護度別						
軽度	906	1.2	7.4	1.8	1.8	10.5
中度	616	1.1	6.2	1.3	1.1	3.1
重度	386	-	8.3	1.3	0.5	4.1
わからない	42	-	4.8	16.7	9.5	28.6
世帯構成別						
ひとり暮らし	444	1.4	10.1	2.3	2.3	11.3
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	583	0.9	6.3	1.7	1.0	7.5
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	33	-	6.1	-	-	3.0
子と同居	467	1.5	5.4	1.1	1.9	8.8
子ども夫婦との2世帯	238	0.4	1.7	2.1	1.7	9.2
兄弟や姉妹	26	-	7.7	7.7	3.8	7.7
その他	201	-	12.4	2.5	-	4.5

(3) 介護保険サービス利用の有無

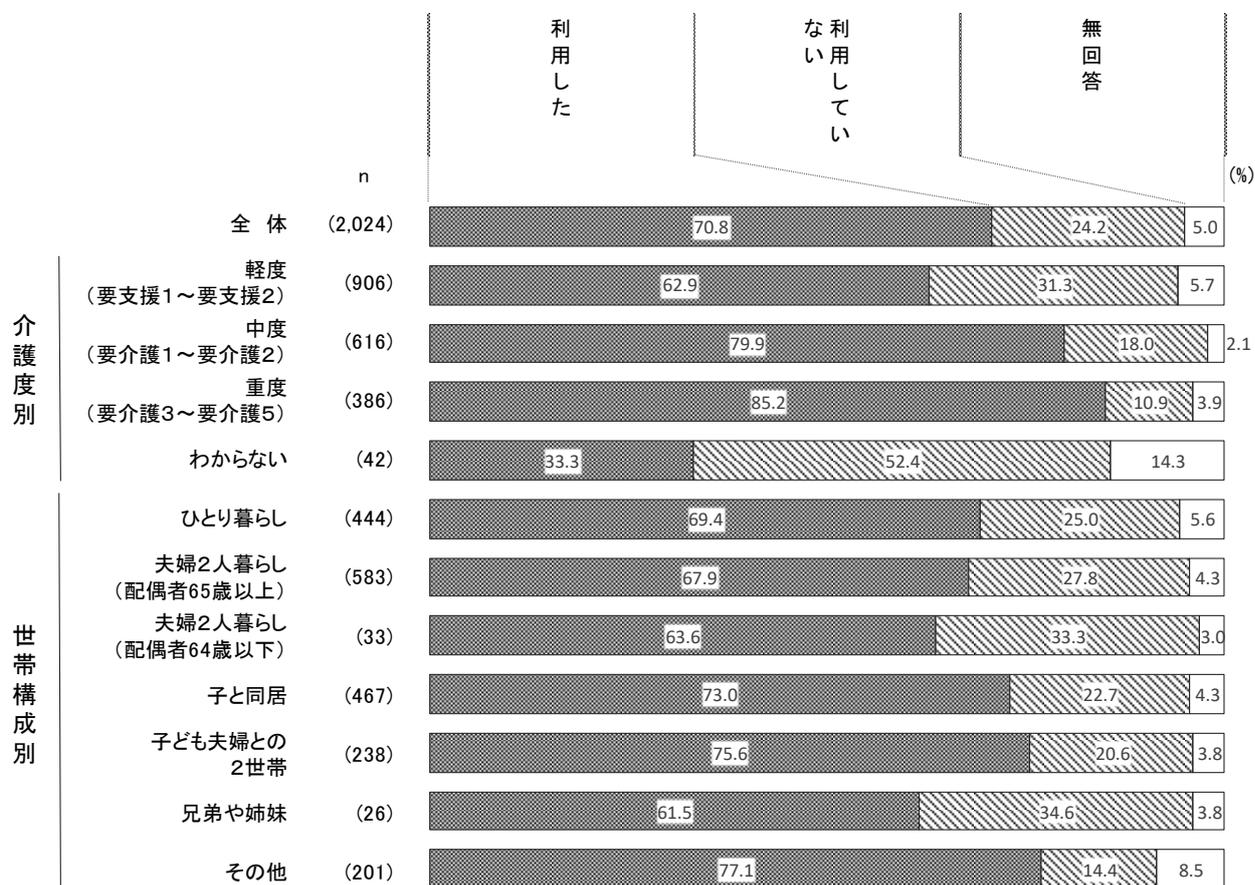
問20 令和4年9月の1か月の間に、介護保険サービスを利用しましたか。

介護保険サービス利用の有無は、「利用した」が70.8%、「利用していない」が24.2%となっている。



介護度別で見ると、介護度が重くなるにつれて「利用した」の割合は多くなる傾向にある。世帯構成別で見ると、いずれも「利用した」の割合が6割以上となっている。

○介護保険サービス利用の有無／世帯構成別、介護度別

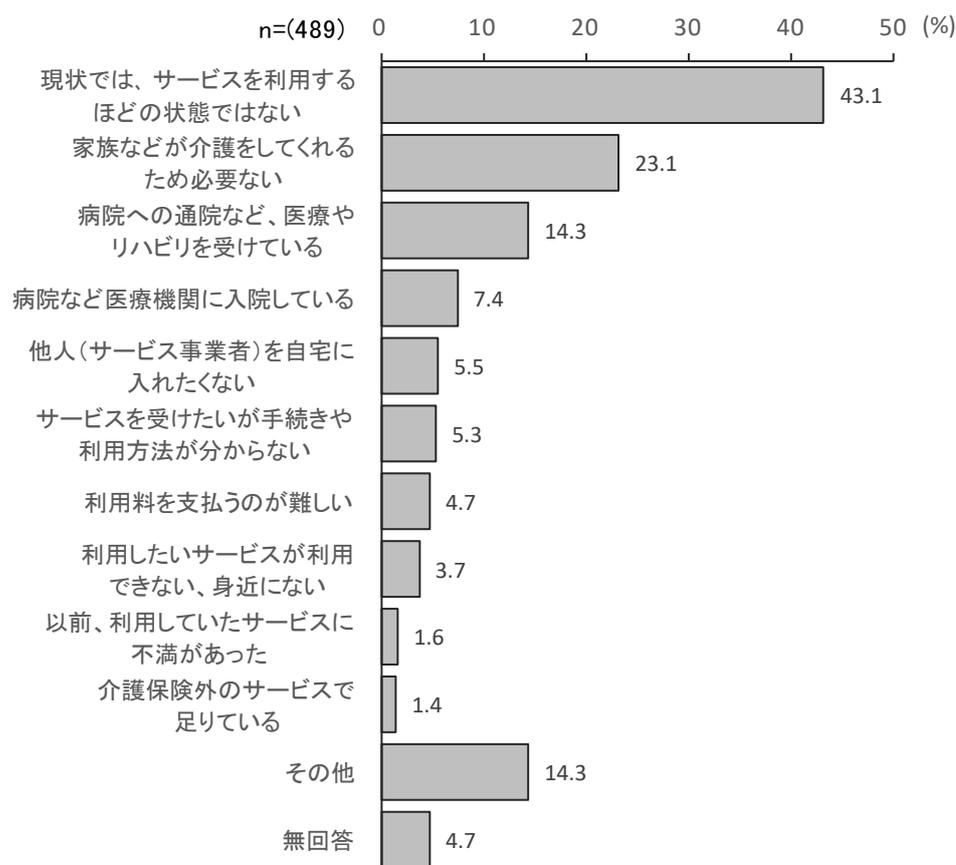


(4) 介護保険サービスを利用していない理由

問21 《問20で「2. 利用していない」と回答した方のみ》

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数回答可)

介護保険サービスを利用していない理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が43.1%で最も多く、次いで「家族などが介護をしてくれるため必要ない」が23.1%、「病院への通院など、医療やリハビリを受けている」が14.3%となっている。



第2章 調査結果の詳細

介護度別でみると、『軽度』では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が48.2%で最も多く、『重度』では「病院など医療機関に入院している」が42.9%で最も多くなっている。

世帯構成別でみると、『子ども夫婦との2世帯』では「家族などが介護をしてくれるため必要ない」が最も多く、その他の世帯では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が最も多くなっている。

○介護保険サービスを利用していない理由／世帯構成別、介護度別

	調査数 (件)	現状では、サービスほど必要ない	現状を利用するが、必要ない	家族などが介護を要する	病院や通院など、医師の受診や治療が必要	病院など医療機関に入院している	他人（サービス利用者）を自宅に入居させている	サービスが手続が簡単で、利用しやすい
全体	489	43.1	23.1	14.3	7.4	5.5	5.3	
介護度別								
軽度	284	48.2	21.8	15.1	2.5	4.9	5.3	
中度	111	34.2	37.8	18.0	8.1	7.2	5.4	
重度	42	4.8	11.9	2.4	42.9	2.4	2.4	
わからない	22	72.7	-	9.1	-	9.1	13.6	
世帯構成別								
ひとり暮らし	111	43.2	16.2	20.7	5.4	7.2	9.0	
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	162	50.0	19.1	14.2	6.2	4.9	4.3	
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	11	45.5	36.4	9.1	9.1	9.1	-	
子と同居	106	44.3	29.2	13.2	3.8	3.8	4.7	
子ども夫婦との2世帯	49	42.9	44.9	14.3	6.1	6.1	6.1	
兄弟や姉妹	9	22.2	22.2	-	11.1	-	-	
その他	29	3.4	6.9	3.4	34.5	-	3.4	

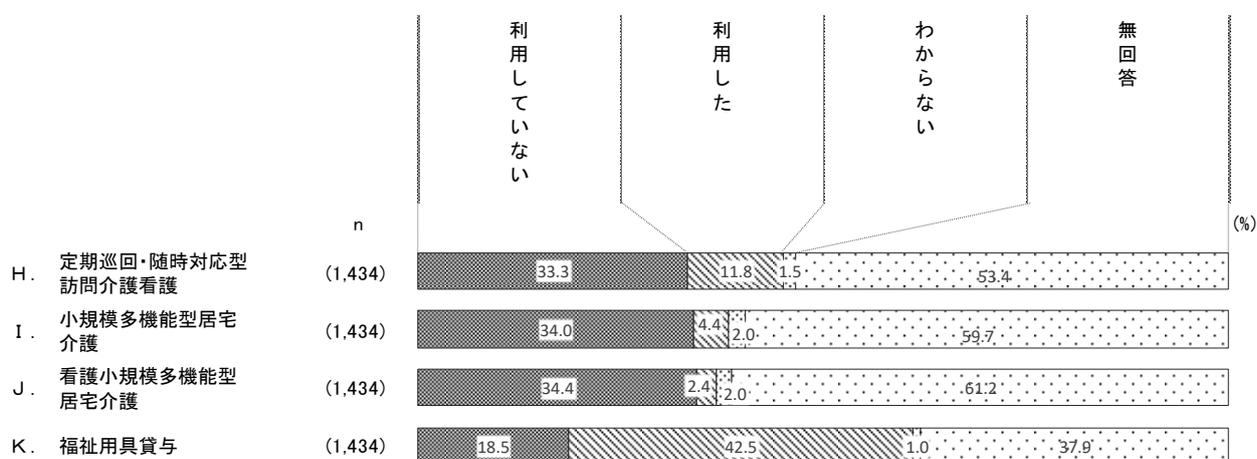
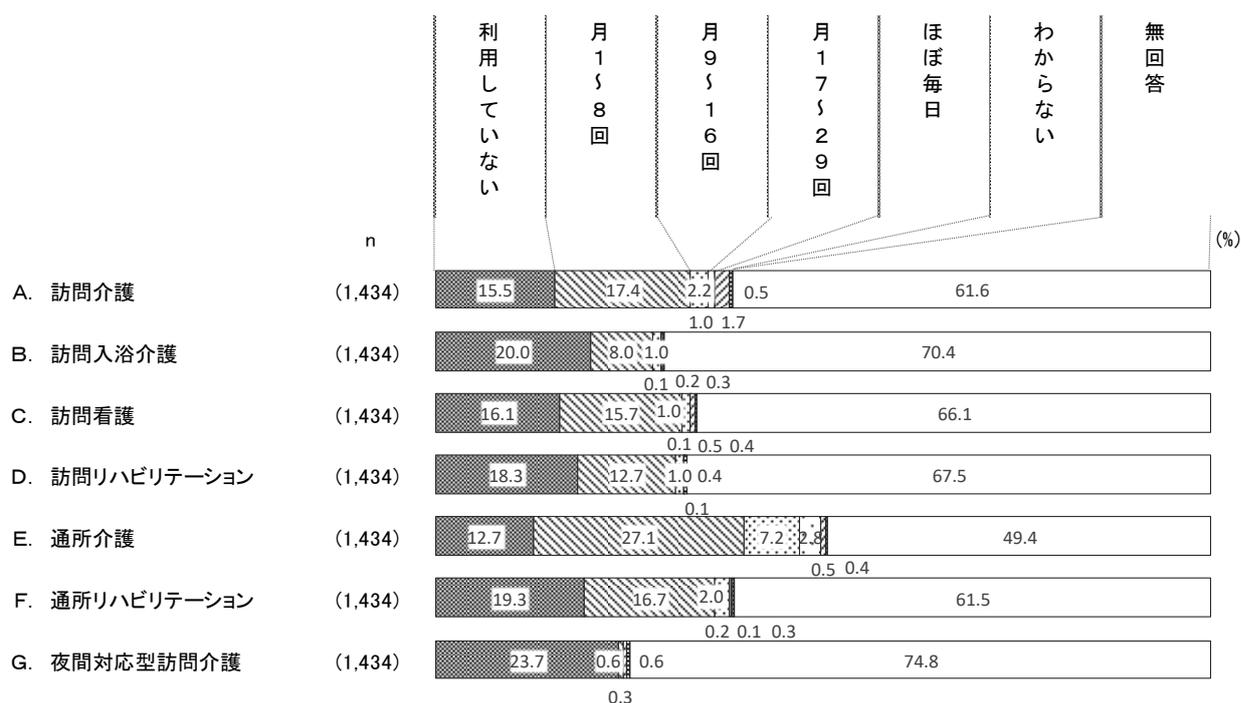
	調査数 (件)	利用料を支払うのが難しい	利用したいが、身近にいない	以前、サービスを利用していたが、満足していない	介護保険で足りていない	その他	無回答
全体	489	4.7	3.7	1.6	1.4	14.3	4.7
介護度別							
軽度	284	5.6	4.9	2.1	0.7	10.6	6.0
中度	111	5.4	3.6	1.8	0.9	19.8	1.8
重度	42	2.4	-	-	7.1	33.3	2.4
わからない	22	-	-	-	-	-	4.5
世帯構成別							
ひとり暮らし	111	9.9	6.3	3.6	-	9.9	4.5
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	162	3.1	3.1	1.9	3.1	12.3	4.3
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	11	-	9.1	9.1	-	9.1	9.1
子と同居	106	3.8	2.8	-	0.9	14.2	5.7
子ども夫婦との2世帯	49	4.1	4.1	-	-	14.3	2.0
兄弟や姉妹	9	11.1	-	-	-	11.1	22.2
その他	29	-	-	-	3.4	48.3	3.4

(5) 介護保険サービスの利用状況と満足度

問22 《問20で「1. 利用した」と回答した方のみ》
 以下のA～Lまでの介護保険サービスについて、令和4年9月の1か月間の利用状況をご回答ください。(それぞれ1つに○印)
 また、利用したサービスの満足度をご回答ください。(それぞれ1つに○印)

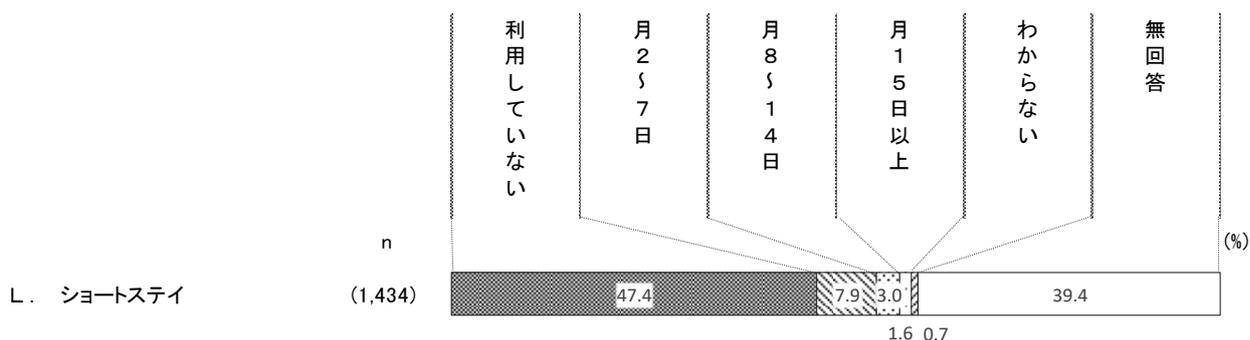
①介護保険サービスの利用状況

利用したサービスの利用状況は、以下の通りである。



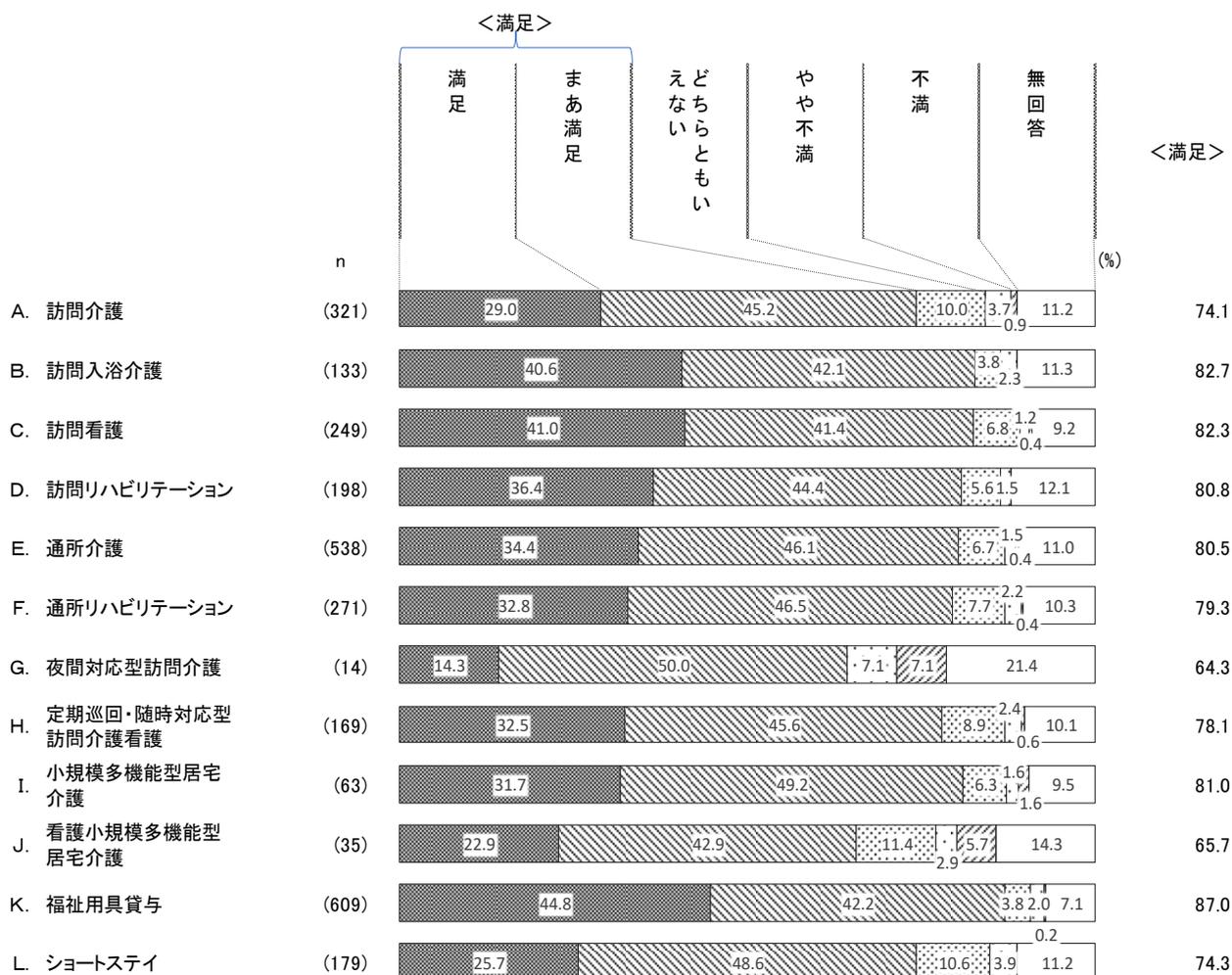
(次ページに続く)

第2章 調査結果の詳細



②介護保険サービスの満足度

「満足」「まあ満足」を合計した<満足>は、『K. 福祉用具貸与』が87.0%で最も多く、次いで『B. 訪問入浴介護』が82.7%、『C. 訪問看護』が82.4%となっている。



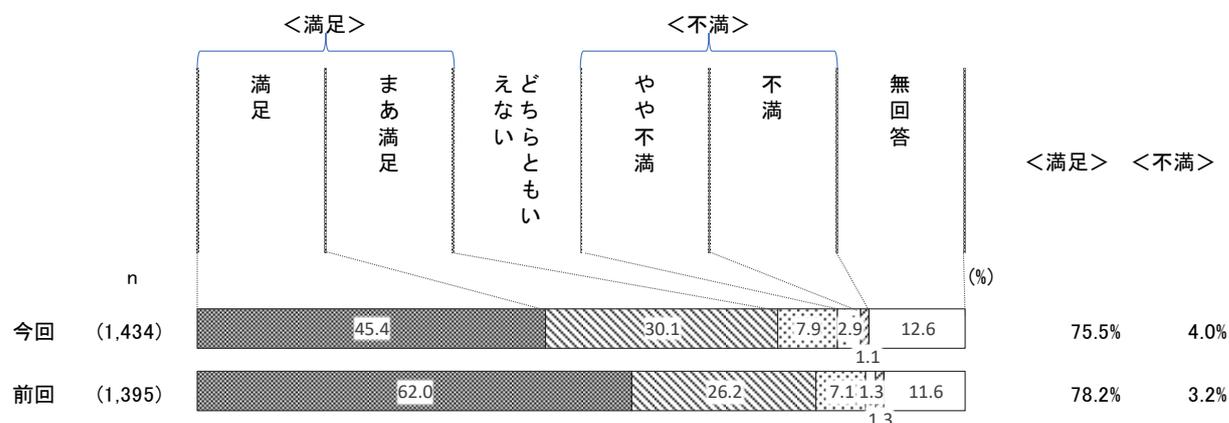
(6) ケアプランやケアマネジャー等の満足度

問23 《問20で「1. 利用した」と回答した方のみ》
 介護保険サービスを利用する場合には、サービスの計画（ケアプラン）に基づいてサービスを利用する必要があります。ケアプランを作成するのは、主にケアマネジャーと呼ばれる介護の専門の方ですが、あなたは、現在のケアプランやケアマネジャー等の対応に満足していますか。（1つだけ〇印）

ケアプランやケアマネジャー等の満足度は、「満足」が45.4%で最も多く、次いで「まあ満足」が30.1%で、これらを合わせた<満足>の割合は75.5%となっている。

前回調査と比較すると、<満足>の割合は12.7ポイント減少している。

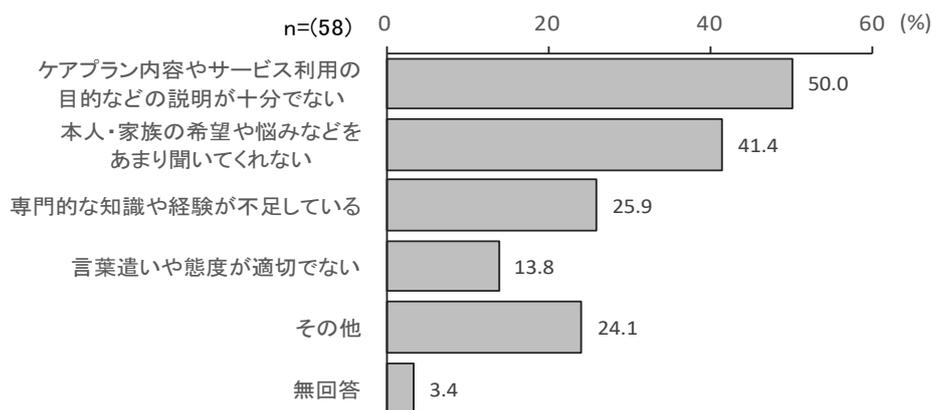
○ケアプランやケアマネジャー等の満足度／経年比較



(7) ケアプランやケアマネジャーに対する不満

問24 《問23で「4. やや不満」「5. 不満」のいずれかに回答した方のみ》
 どのようなことに不満がありますか。（複数回答可）

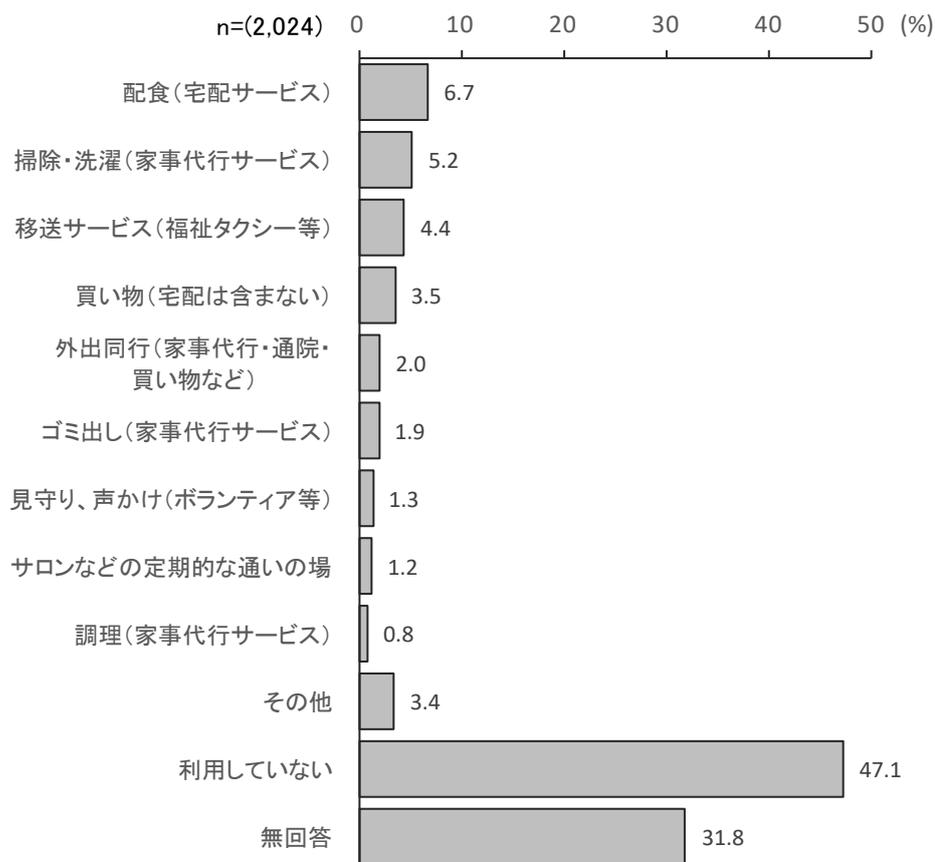
ケアプランやケアマネジャーに対する不満は、「ケアプラン内容やサービス利用の目的などの説明が十分でない」が50.0%で最も多く、次いで「本人・家族の希望や悩みなどをあまり聞いてくれない」が41.4%、「専門的な知識や経験が不足している」が25.9%となっている。



(8) 利用している介護保険外サービス

問25 現在、利用している『介護保険外』のサービスがあれば、その内容をご回答ください。(複数回答可)

利用している介護保険外サービスは、「配食（宅配サービス）」が6.7%で最も多く、次いで「掃除・洗濯（家事代行サービス）」が5.2%、「移送サービス（福祉タクシー等）」が4.4%となっている。一方、「利用していない」は47.1%となっている。



介護度別でみると、『軽度』では「掃除・洗濯（家事代行サービス）」、『中度』では「配食（宅配サービス）」、『重度』では「移送サービス（福祉タクシー等）」がそれぞれ最も多くなっている。

世帯構成別でみると、『ひとり暮らし』では「掃除・洗濯（家事代行サービス）」が11.9%、「配食（宅配サービス）」が11.7%で多くなっている。『子と同居』及び『子ども夫婦との2世帯』では「利用していない」がそれぞれ5割以上と多くなっている。

○利用している介護保険外サービス／世帯構成別、介護度別、介護者の年齢別

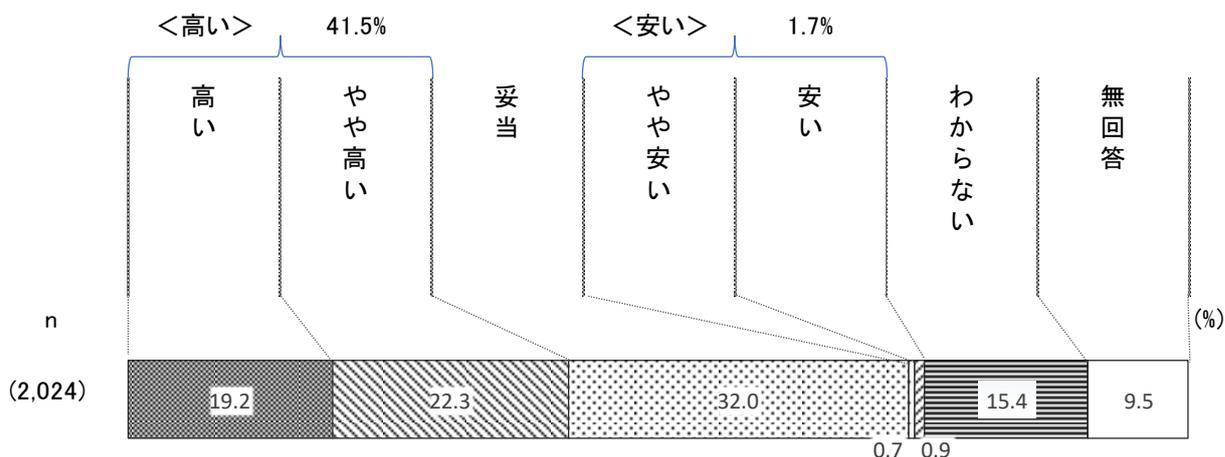
	調査数 (件)	配食 (宅配サ ービス)	掃除・洗 濯(家事 代行サ ービス)	移送サ ービス (福祉タ クシー 等)	買い物 (宅配 は 含ま ない)	代行・通 院・家 事買	代行サ ービス (家事 出 し)
全体	2,024	6.7	5.2	4.4	3.5	2.0	1.9
介護度別							
軽度	906	6.2	6.8	3.1	4.0	2.0	1.5
中度	616	7.8	5.0	4.2	4.4	2.9	2.9
重度	386	6.5	2.1	8.5	1.6	0.8	1.0
わからない	42	4.8	2.4	2.4	-	-	-
世帯構成別							
ひとり暮らし	444	11.7	11.9	3.6	9.5	4.7	5.0
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	583	7.0	5.0	4.8	3.3	1.2	2.2
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	33	6.1	6.1	18.2	3.0	3.0	3.0
子と同居	467	4.1	1.9	4.3	1.1	0.6	0.4
子ども夫婦との2世帯	238	4.6	2.9	4.2	0.4	0.8	-
兄弟や姉妹	26	11.5	3.8	3.8	-	3.8	-
その他	201	3.5	2.5	4.0	1.5	2.0	0.5
介助者の年齢							
29歳以下	2	-	-	-	-	-	-
30～60代	377	5.0	1.9	5.3	1.6	1.6	1.1
70代以上	332	7.5	3.6	6.9	0.9	1.2	1.2
わからない	1	-	-	-	-	-	-

	調査数 (件)	等(見 守ラ ン、 テ イ カ ア け)	期的 な 通 い の 場 定	サ ー ビ ス (家 事 代 行)	そ の 他	利 用 し て い な い	無 回 答
全体	2,024	1.3	1.2	0.8	3.4	47.1	31.8
介護度別							
軽度	906	1.5	1.4	0.9	2.5	41.9	36.8
中度	616	1.0	1.1	1.3	3.6	56.2	22.7
重度	386	1.3	0.8	-	6.2	48.7	28.5
わからない	42	-	-	-	-	38.1	52.4
世帯構成別							
ひとり暮らし	444	3.6	1.4	2.5	3.8	30.9	32.9
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	583	0.2	0.7	0.5	1.7	48.4	33.3
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	33	-	6.1	3.0	6.1	42.4	30.3
子と同居	467	1.3	1.3	0.2	2.4	58.0	28.3
子ども夫婦との2世帯	238	-	1.7	-	2.5	57.1	27.7
兄弟や姉妹	26	-	-	-	3.8	42.3	34.6
その他	201	2.0	1.0	0.5	10.4	45.3	34.8
介助者の年齢							
29歳以下	2	-	-	-	50.0	50.0	-
30～60代	377	0.8	1.6	0.5	3.4	64.5	19.1
70代以上	332	0.6	1.2	0.3	1.5	51.8	28.3
わからない	1	-	-	-	-	-	100.0

(9) 介護保険料の負担感

問26 現在の暮らしの状況からみて、あなた本人が支払っている介護保険料額について、どのように思いますか。(1つだけ○印)

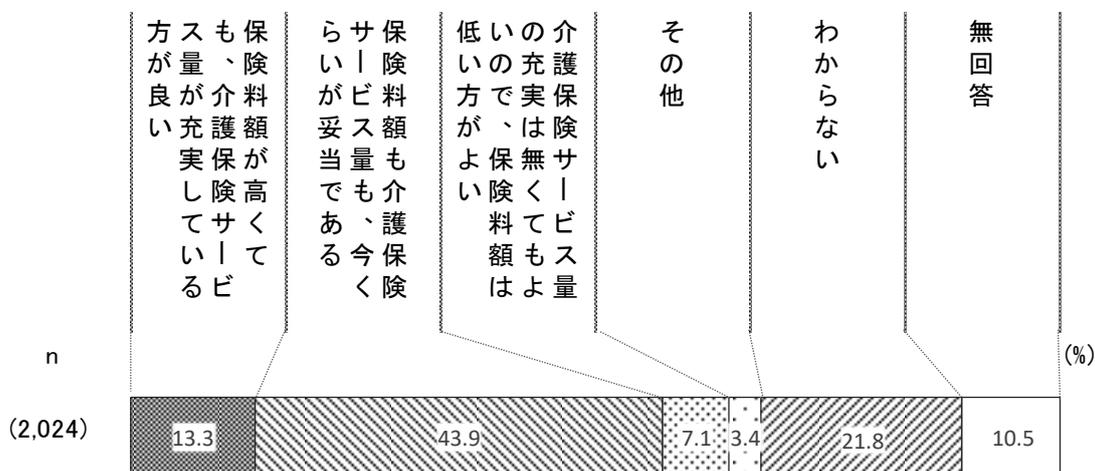
介護保険料の負担感は、「妥当」が32.0%で最も多くなっている。また、「高い」(19.2%)と「やや高い」(22.3%)を合計した<高い>との割合は41.5%であった。



(10) 今後の介護保険とサービスのあり方

問27 介護保険サービスの財源は、その一部が保険料で賄われているため、介護保険施設等の整備によりサービス提供量が増えると保険料が高くなる仕組みになっています。今後の保険とサービスのあり方について、あなたの考えに近いものをご回答ください。(1つだけ○印)

今後の介護保険とサービスのあり方は、「保険料額も介護保険サービス量も、今くらいが妥当である」が43.9%で最も多く、次いで「わからない」が21.8%、「保険料額が高くて、介護保険サービス量が充実している方がよい」が13.3%となっている。

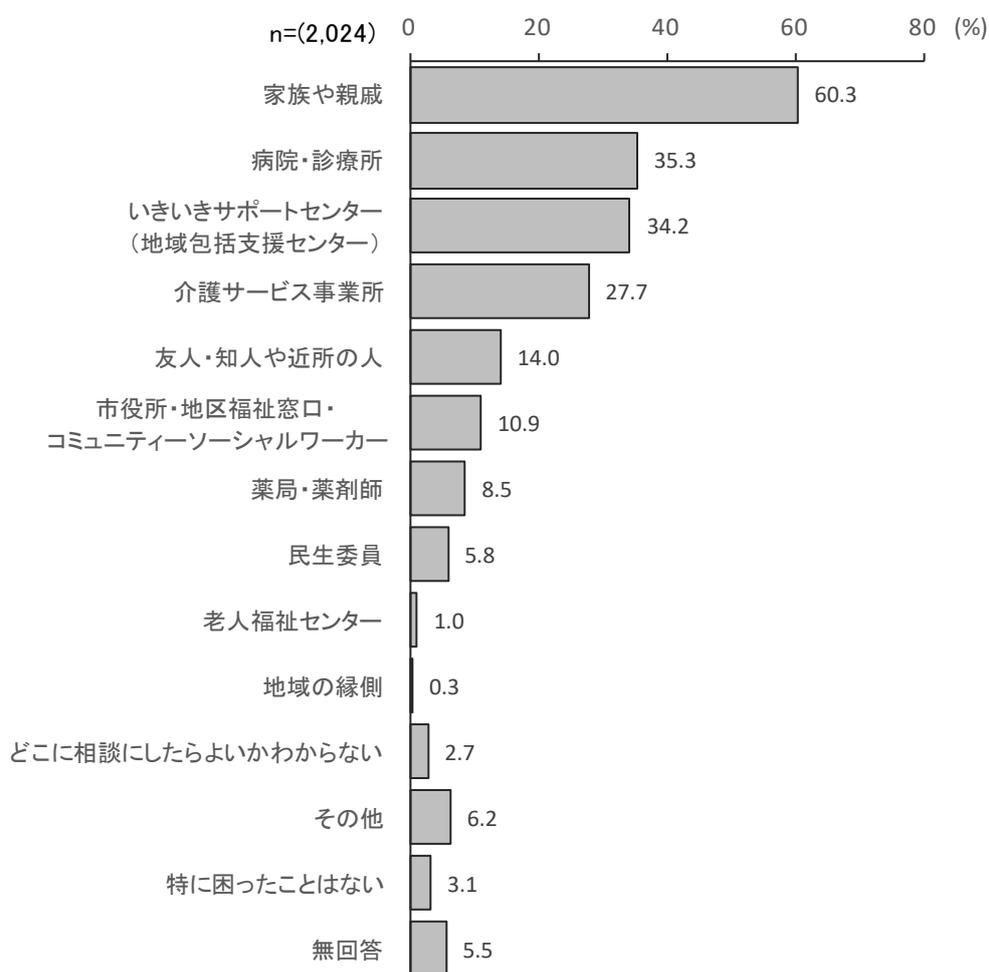


3. 介護における相談などについて

(1) 健康、福祉、介護のことで困ったときの相談先

問28 健康や福祉、介護のことなどで困ったときは、どちらに相談していますか。(特にあてはまるもの5つまで○印可)

健康、福祉、介護のことなどで困ったときの相談先は、「家族や親戚」が60.3%で最も多く、次いで「病院・診療所」が35.3%、「いきいきサポートセンター」(地域包括支援センター)が34.2%となっている。

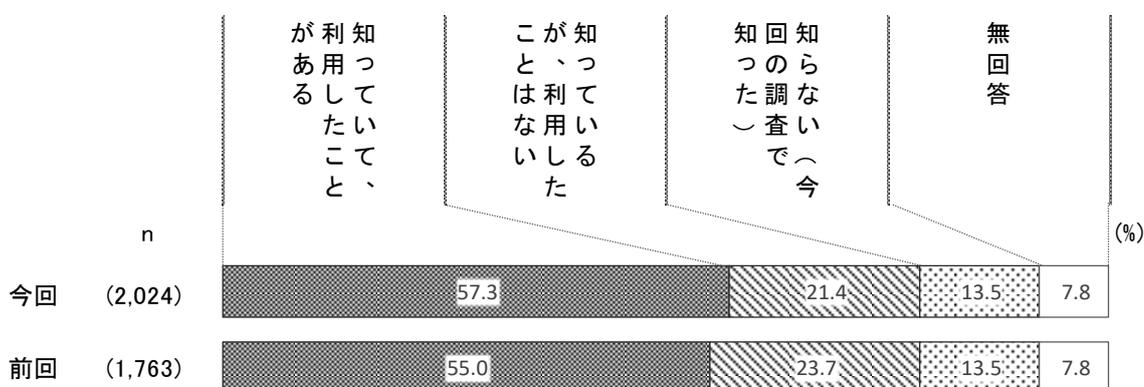


(2) いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）の認知度

問29 市内19カ所に設置している「いきいきサポートセンター」（地域包括支援センター）をご存じですか。（1つだけ〇印）

「いきいきサポートセンター」（地域包括支援センター）の認知度は、「知っていて、利用したことがある」が57.3%で最も多く、次いで「知っているが、利用したことはない」が21.4%、これらを合わせた<知っている>割合（認知率）は78.7%となっている。

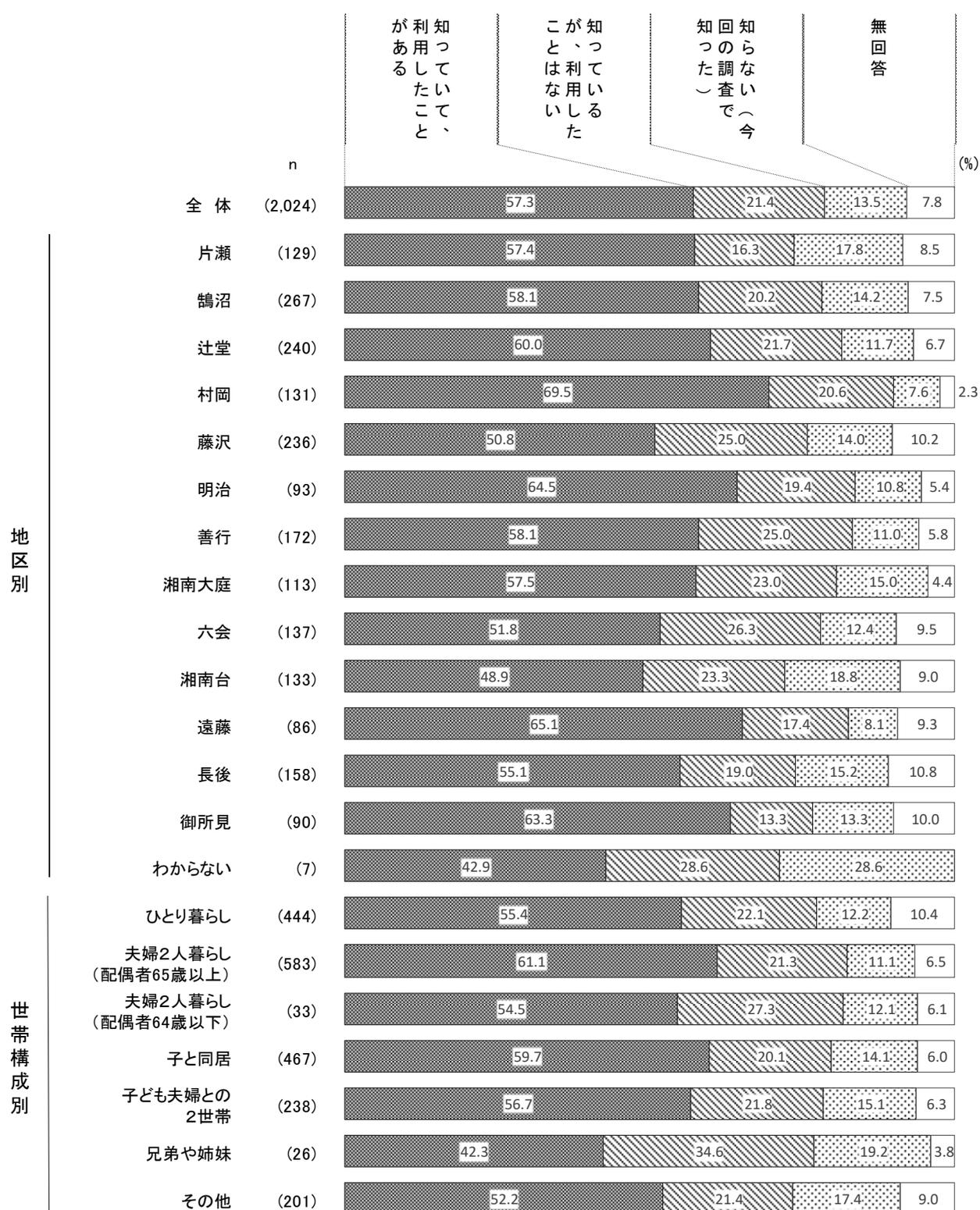
「前回」の調査結果と比較すると、<知っている>割合（認知率）に大きな変化はないものの、「知っていて、利用したことがある」は2.3ポイント増加している。



地区別でみると、「知っていて、利用したことがある」は『村岡』が69.5%と最も多く、次いで『遠藤』が65.1%、『明治』が64.5%となっている。

世帯構成別でみると、いずれも「知っていて、利用したことがある」が4割を超え、特に『夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）』では61.1%と多い。

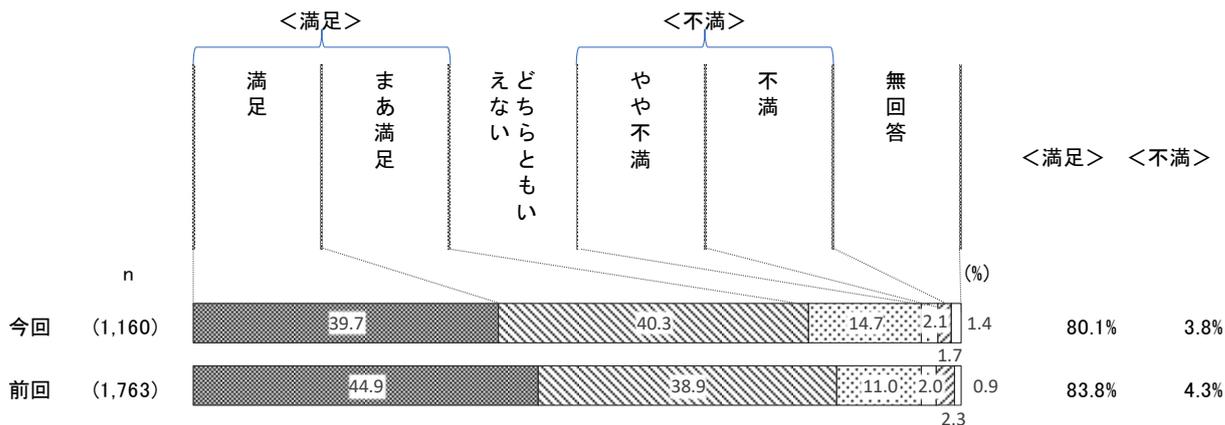
○「いきいきサポートセンター」（地域包括支援センター）の認知度／世帯構成別、地区別



(3) いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）の利用に対する満足度

問30 《問29で「1. 知っていて、利用したことがある」と回答した方のみ》
 利用した結果に満足しましたか。（1つだけ○印）

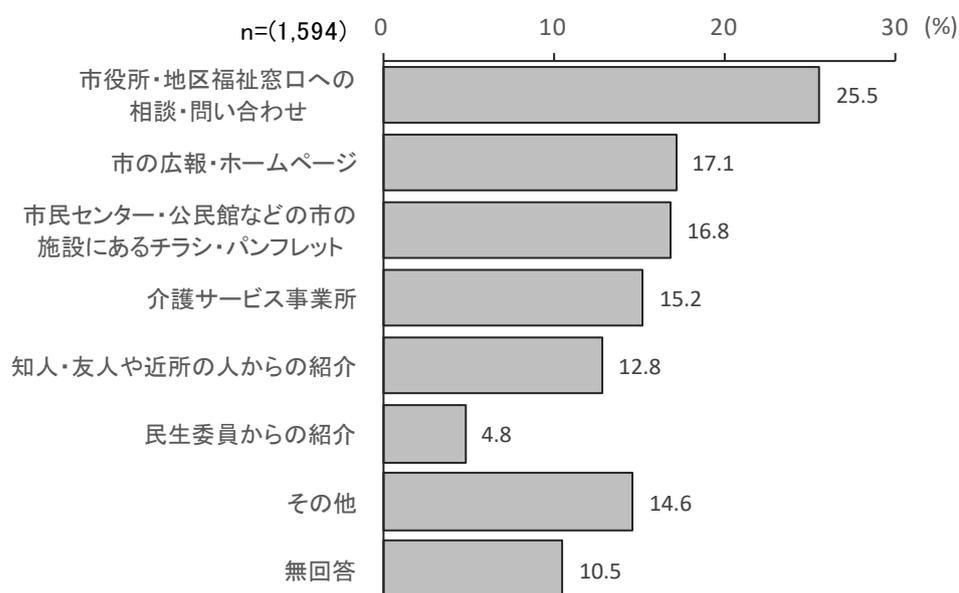
「いきいきサポートセンター」（地域包括支援センター）の利用に対する満足度は、「満足」が39.7%、「まあ満足」が40.3%となっており、これらを合わせた＜満足＞の割合は80.0%となっている。「前回」の調査結果と比較すると、＜満足＞の割合は3.8ポイント減少している。



(4) いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）を知ったきっかけ

問31 《問29で「1. 知っていて、利用したことがある」「2. 知っているが、利用したことはない」のいずれかに回答した方のみ》
「いきいきサポートセンター」（地域包括支援センター）を何で知りましたか。（複数回答可）

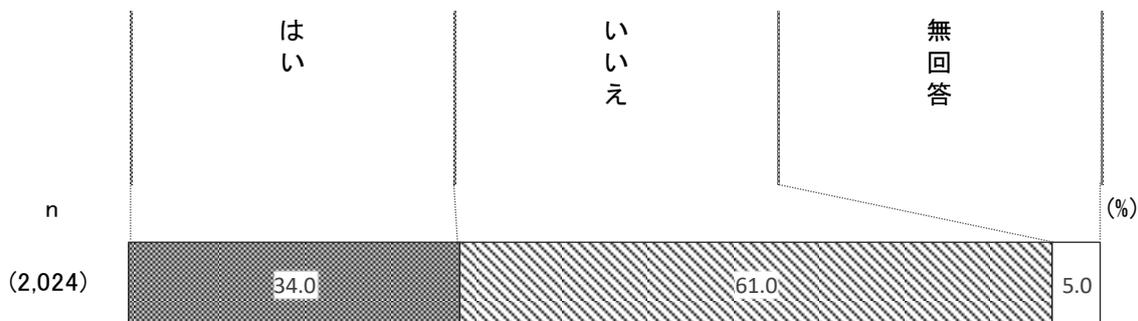
「いきいきサポートセンター」（地域包括支援センター）を知ったきっかけは、「市役所・地区福祉窓口への相談・問い合わせ」が25.5%で最も多く、次いで「市の広報・ホームページ」が17.1%、「市民センター・公民館などの市の施設にあるチラシ・パンフレット」が16.8%となっている。



(5) 認知症の症状がある人の有無

問32 あなた本人に認知症の症状がある、又は、家族に認知症の症状がある人がいますか。

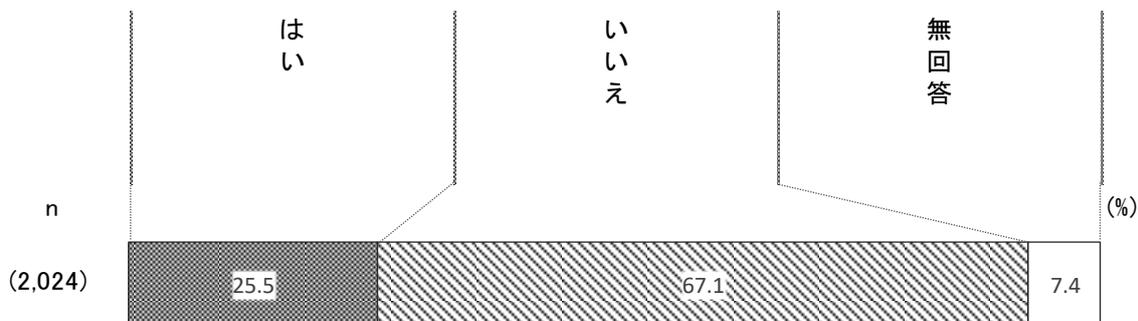
本人も含め家族に認知症の症状がある人の有無は、「はい」が34.0%、「いいえ」が61.0%であった。



(6) 認知症に関する相談窓口の認知度

問33 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

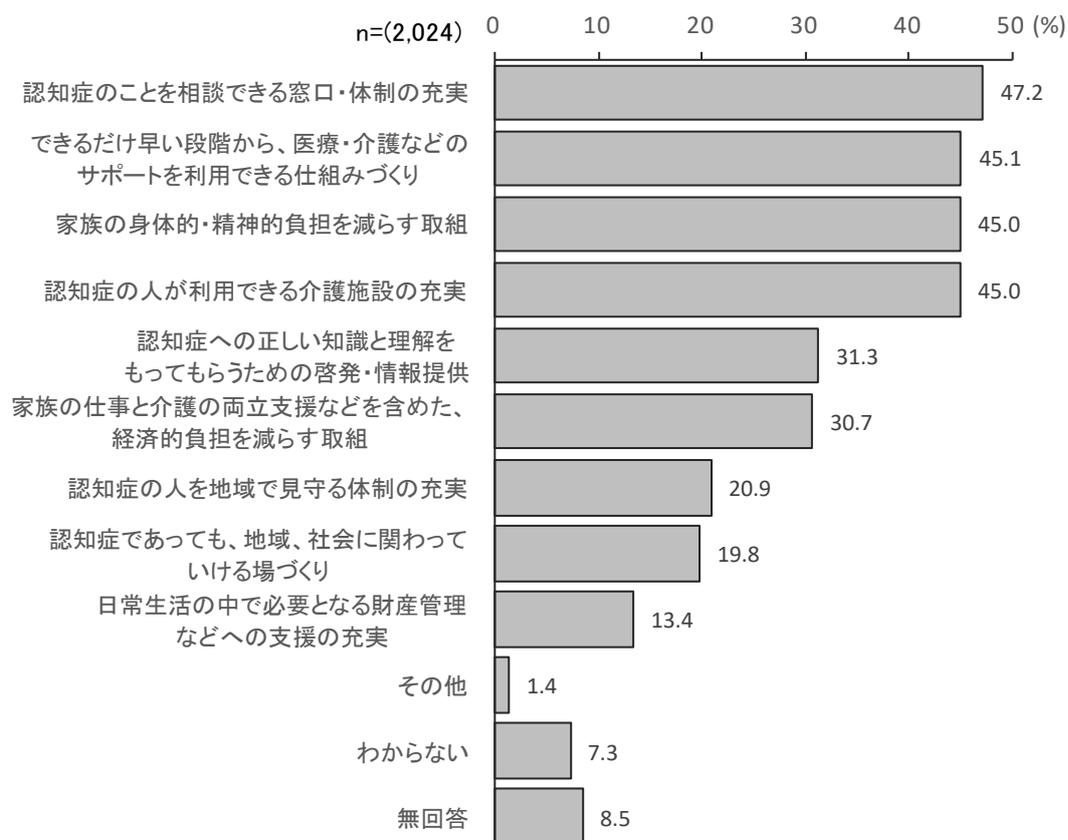
認知症に関する相談窓口の認知は、「はい」が25.5%、「いいえ」が67.1%となっている。



(7) 認知症の方に対する重点的施策

問34 今後、増加が予想される認知症の方への取組として、市はどのような施策に重点を置くべきだと思いますか。(複数回答可)

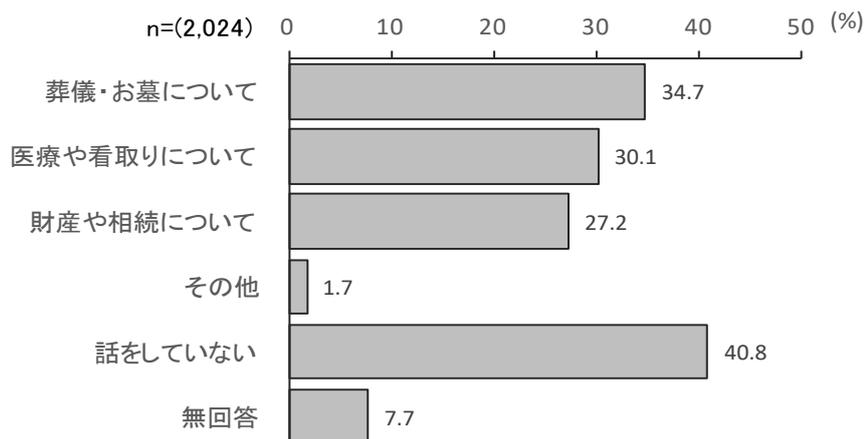
認知症の方に対する重点的施策は、「認知症のことを相談できる窓口・体制の充実」が47.2%で最も多く、次いで「できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり」が45.1%、「家族の身体的・精神的負担を減らす取組」と「認知症の人が利用できる介護施設の充実」がともに45.0%となっている。



(8) 人生最期の時（終活）について

問35 あなた本人の人生最期のとき（終活）について、次のようなことをご家族と話をしていますか。（複数回答可）

人生最期のときについて話していることは、「葬儀・お墓について」が34.7%で最も多く、次いで「医療や看取りについて」が30.1%、「財産や相続について」が27.2%となっている。一方、「話をしていない」は40.8%であった。



性・年齢別でみると、「財産や相続について」「医療や看取りについて」「葬儀・お墓について」は年齢によらず、『女性』のほうが話している割合がおおむね多くなっている。

世帯構成別でみると、『ひとり暮らし』では、「葬儀・お墓について」が39.9%で最も多く、他の世帯構成よりもその割合は多くなっている。また「医療や看取りについて」では、『夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）』と『兄弟や姉妹』で1割台と低くなっている。

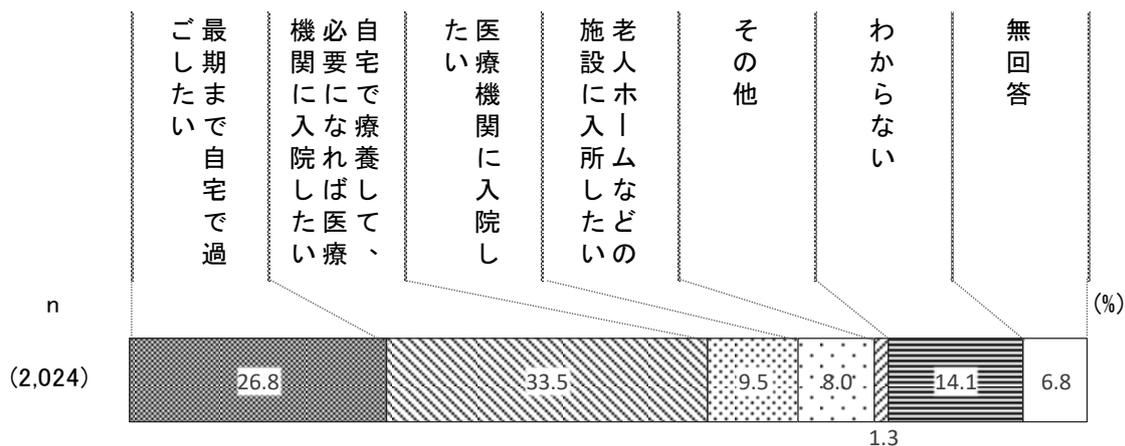
○人生最期のときに話しておくこと／性・年齢別、世帯構成別

	調査数 (件)	葬 儀 ・ お 墓 に つ	医 療 や 看 取 り に	財 産 や 相 続 に つ	そ の 他	話 を し て い な い	無 回 答
全 体	2,024	34.7	30.1	27.2	1.7	40.8	7.7
性・年齢別							
男性 65～74歳	122	24.6	15.6	19.7	1.6	53.3	7.4
男性 75～84歳	261	35.6	28.0	23.4	1.5	42.1	8.0
男性 85歳以上	325	31.1	26.8	29.5	1.5	41.5	8.3
女性 65～74歳	119	31.9	31.9	24.4	2.5	47.1	5.0
女性 75～84歳	473	38.5	32.8	27.5	1.9	37.0	7.6
女性 85歳以上	661	35.4	34.0	29.2	1.7	38.9	7.3
世帯構成別							
ひとり暮らし	444	39.9	33.8	31.1	4.3	33.8	8.8
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	583	38.1	34.3	29.5	1.0	38.1	6.5
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	33	30.3	15.2	27.3	3.0	42.4	12.1
子と同居	467	29.8	25.9	24.0	1.5	46.7	6.9
子ども夫婦との2世帯	238	36.6	27.7	29.0	0.4	41.6	5.0
兄弟や姉妹	26	15.4	15.4	11.5	-	65.4	7.7
その他	201	27.4	29.4	21.9	-	45.8	9.5

(9) 最期を過ごしたい場所

問36 あなた本人が人生の最期を迎えるときが来た場合、最期はどこで過ごしたいですか。
(1つだけ○印)

最期を過ごしたい場所は、「自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院したい」が33.5%で最も多く、次いで「最期まで自宅で過ごしたい」が26.8%、「わからない」が14.1%となっている。



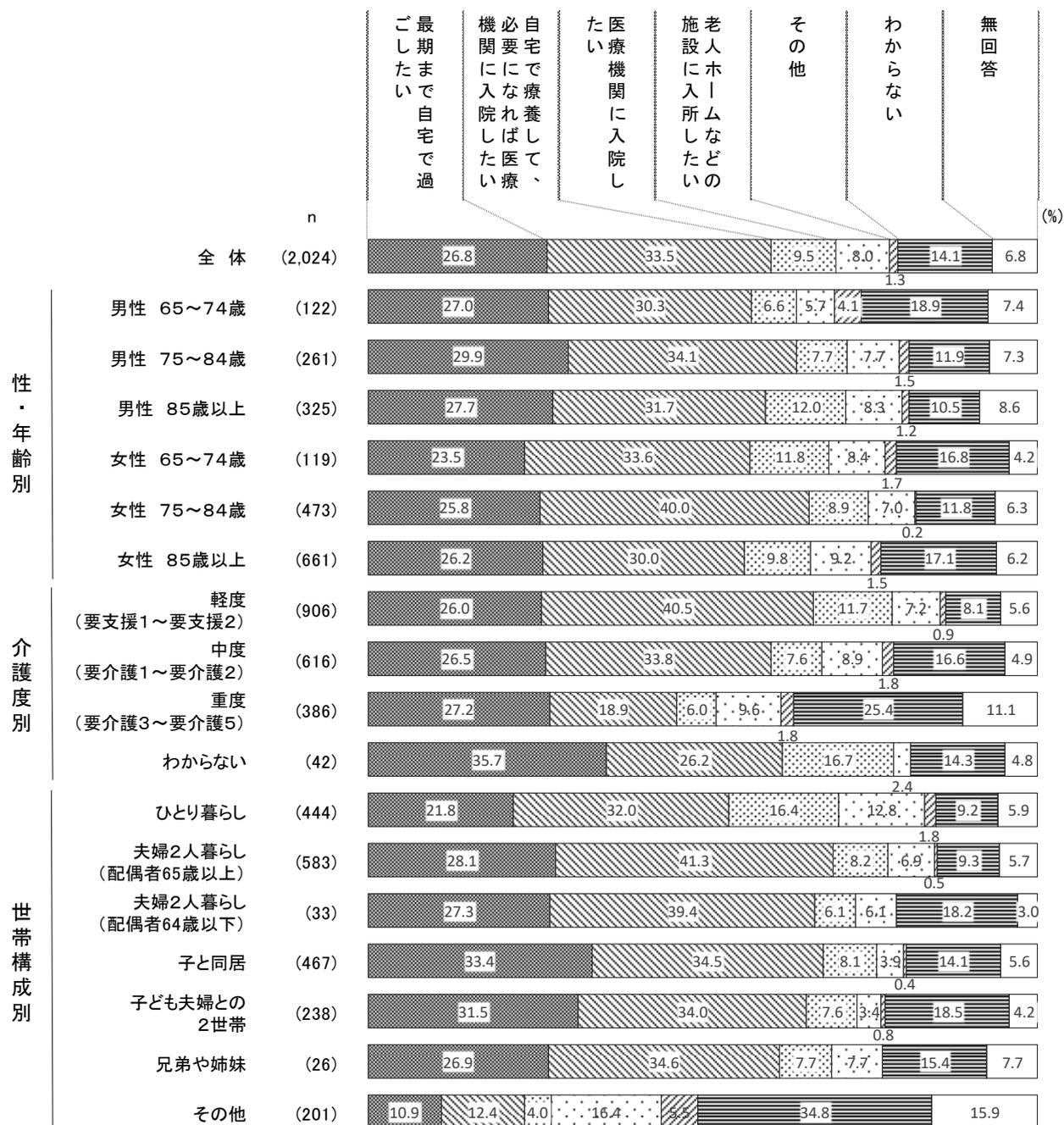
第2章 調査結果の詳細

性・年齢別でみると、各年代とも「自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院したい」が3割以上で最も多く、また「最期まで自宅で過ごしたい」は『男性 75～84歳』（29.9%）で最も多くなっている。

介護度別でみると、介護度が重くなるにつれて「自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院したい」の割合が少なくなる傾向にある。

世帯構成別でみると、『その他』を除いて「自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院したい」が3割以上で最も多くなっている。

○最期を過ごしたい場所／性・年齢別、世帯構成別、介護度別



(10) 自由意見

問37 本市の介護保険行政に対して、ご意見・ご要望があれば、どのようなことでもかまいませんので、ご自由にご記入ください。

意見・要望等の自由回答欄には、回答者1,522人のうち、326人（記入の割合21.4%）の方に記入いただいた。本報告書では、紙面の都合上すべてを掲載することができないため、その一部を抜粋した。掲載内容は、恣意的な解釈が入らないよう、できる限り原文に近い表記とさせていただいた。

内容	件数
介護サービスに関すること	59
介護福祉行政・まちづくりに関すること	50
介護保険制度（認定手続きを含む）に関すること	37
介護保険料・利用料に関すること	32
特別養護老人ホームなどの施設に関すること	30
相談窓口・情報提供に関すること	27
介護人材（ケアマネジャー、ヘルパーを含む）に関すること	24
家族等介護者に関すること	20
アンケート調査に関すること	13
介護サービス事業所に関すること	10
その他	59

※1人で複数の記載があるため、件数の合計と記入者数は一致しない。

【介護サービスに関すること】

デイサービスに行かせて頂いて本当にうれしく思っております。車いす生活に成らない様に自分で歩く事を教えて頂き、感謝しております。

日頃から介護保険を利用して頂いて母が定期的にデイサービスに行っているのも、とても感謝しています。一方で認知症の母に必要なサービス、例えば話し相手や定期的な見守りなどの制限があってできない場合があり、一人暮らしのお年寄りが安心して家で生活できるサービスの拡充を検討して頂けたらうれしいです。

現在訪問リハビリを週1回受けていますが、コロナが落ちついたら通所リハビリも再開したいと考えています。

【介護福祉行政・まちづくりに関すること】

民生委員のような地域にかかわる人がもっと居たら良い。（声かけしてくれる人）

市の介護保険行政に大変満足しています。今後も介護サービスの方々に過度な負担のないように制度を守って頂きたいです。コロナでの介護サービスの皆様に感謝致します。

認知症予防の場を増やせると良いと思う。早期から参加でき、仲間と交われる場所や働きながらでも参加できるような場所があると不安がやわらぐかもしれない。

第2章 調査結果の詳細

【介護保険制度（認定手続きを含む）に関すること】

介護認定を受けていない高齢者の生活支援（主に家事）が受けられるようなシステム（介護保険外）があれば良いと思います。

介護認定の申請をしてから介護度の判定が決まるまでの期間が長いです。特に介護が急に必要になった時は介護者の負担を大きく感じます。

国の行政ですが、介護保険サービスの仕組みをできるだけシンプルに、わかりやすく利用しやすく整理改善してほしいです。

【介護保険料・利用料に関すること】

介護保険料が高い。保険料にあったサービスが受けられるよう質と量の両方でもっと充実した保険にして欲しい。

要介護4になって、いろいろなサービスが受けられるようになりましたが、利用しただけ費用がかかるので、経済的に大変になります。年金も少なく、この先、不安でいっぱいです。

介護保険料がある程度高くなるのは、仕方ありませんが、納めた保険料を有効に、ムダをはぶいて使ってほしいと思います。

【特別養護老人ホームなどの施設に関すること】

今後、単身世帯が増えると思うので、自宅で最期を迎えたい人や、老人ホームが良いと思う人に対して対処してほしい。

認知症の人が利用できる介護施設を安価で充実したものをもっと作って欲しい。希望すればすぐ入れられるように。

介護施設利用順番待ちが長いです。施設充実を希望します。ショートステイもなかなか利用できません。こちらも充実を希望します。

【相談窓口・情報提供に関すること】

いきいきサポートセンターはどういう時に役に立ってくれるのですか。広報でくわしく教えてください。

24時間対応の相談窓口で、緊急時は具体的な対応についてアドバイスをしていただける様なサービスがあればと思う。

突然心身の不調にみまわれた時、気軽に相談出来る（電話等）所がほしい。若者にある「こころの電話」が老人にも欲しい。

【介護人材（ケアマネジャー、ヘルパーを含む）に関すること】

介護の現場で、働く人に給料等、手厚くしてあげてほしい。

ケアマネジャーさんにはとても良くしていただいているので、いつも相談していて、とてもありがたいです。

デイサービスに行っていますが、職員の人手不足で大変な様子です。

【家族等介護者に関すること】

認知症になった時、家族の負担が非常に大きく、家族が精神的、肉体的にまいってしまうので、支援の充実をお願いしたい。

夜間の介護が大変で、介護している者（家族）が体調を崩す。夜間だけ見てくれる施設はないのでしょうか。家族が居るとヘルパーに依頼するのが難しい。

認知症の場合、身体的には特に問題が無くても夜間も含めて終日見守りが必要であり、家族だけで、しかも介護者が一人だけであると、長期間の介護は非常に困難です。

【アンケート調査に関すること】

このようなアンケートも子供が関わらないと書けないという高齢の方は沢山いると思います。何事もスムーズにしてほしい。

別項に連なって質問項が有るとわからなくなるので質問項を作ってください。用語がわからないものがある。しぼった内容で質問して下さい。新しい用語が出てくるので正確な答えが出せない。問題質問が多すぎる。

アンケート用紙の冒頭にお忙しいところ恐縮ですがと表記が有るが、それより椅子に長く座る事も、それと正座も出来ない足腰が一日中悪い私には、長時間掛かる15Pもの長文を記入する事は（大変苦痛）でした。

【介護サービス事業所に関すること】

質の悪い介護事業所及び介護従業者、専門性の悪い人又は社会に、介護分野のステイタス、人間性の向上への支援や経済的保障が大切です。

財政が厳しい中でまた事業所における人手不足もある中で介護サービスを提供してもらっていると感じています。

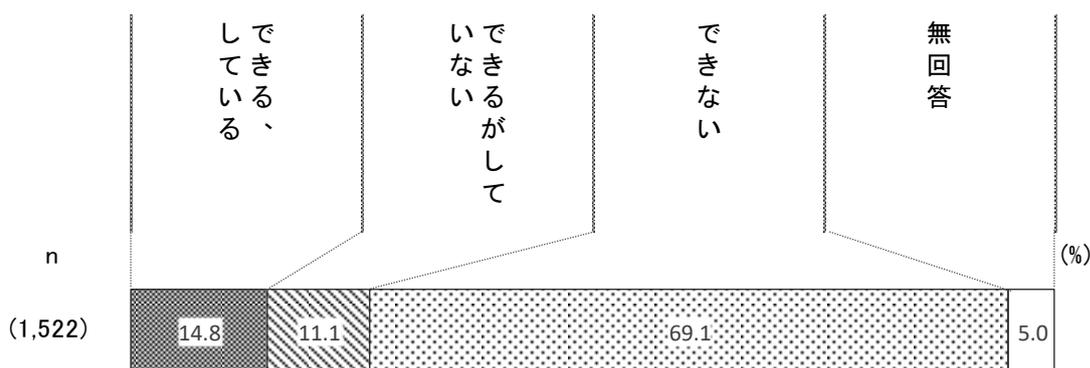
デイサービスの方には、いつも良くして頂いています。事業所によっては、バスタオル持参必須の所もあり、それが選択式になると、家族の負担が少し減ると思います。

4. 介護予防などの事業について

(1) 階段ののぼり

問38 階段を手すりや壁をつたわずに上れていますか。(1つだけ○印)

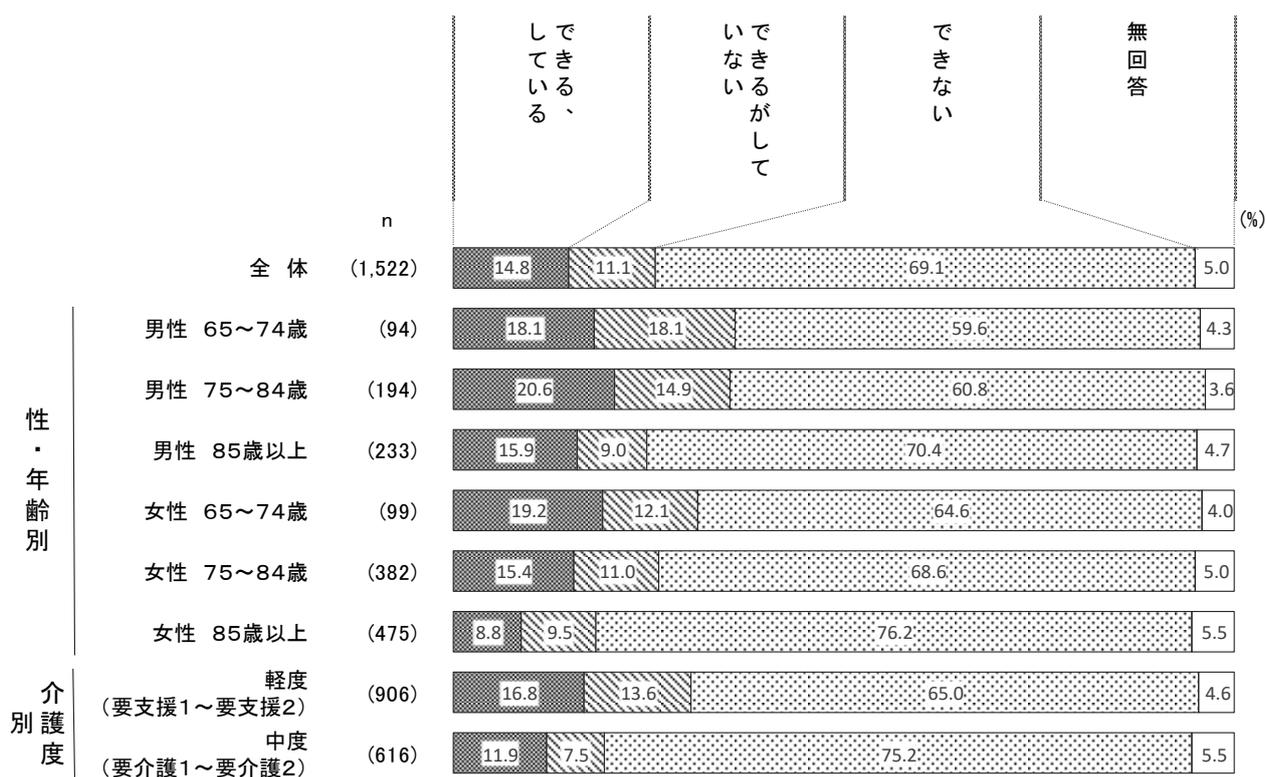
階段を手すりや壁をつたわずに上る動作について、「できない」が69.1%と最も多く、次いで「できる、している」が14.8%、「できるがして」が11.1%となっている。



性・年齢別でみると、「できない」は男女とも高齢層ほど多くなっている。

介護度別でみると、「できない」は軽度と比べて『中度』でより多くなっている。

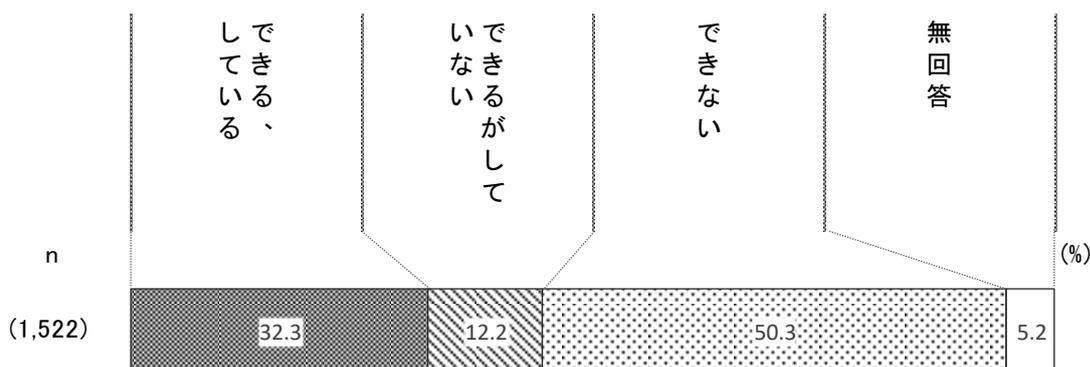
○階段ののぼり／性・年齢別、介護度別



(2) 椅子からの立ち上がり

問39 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がられていますか。(1つだけ○印)

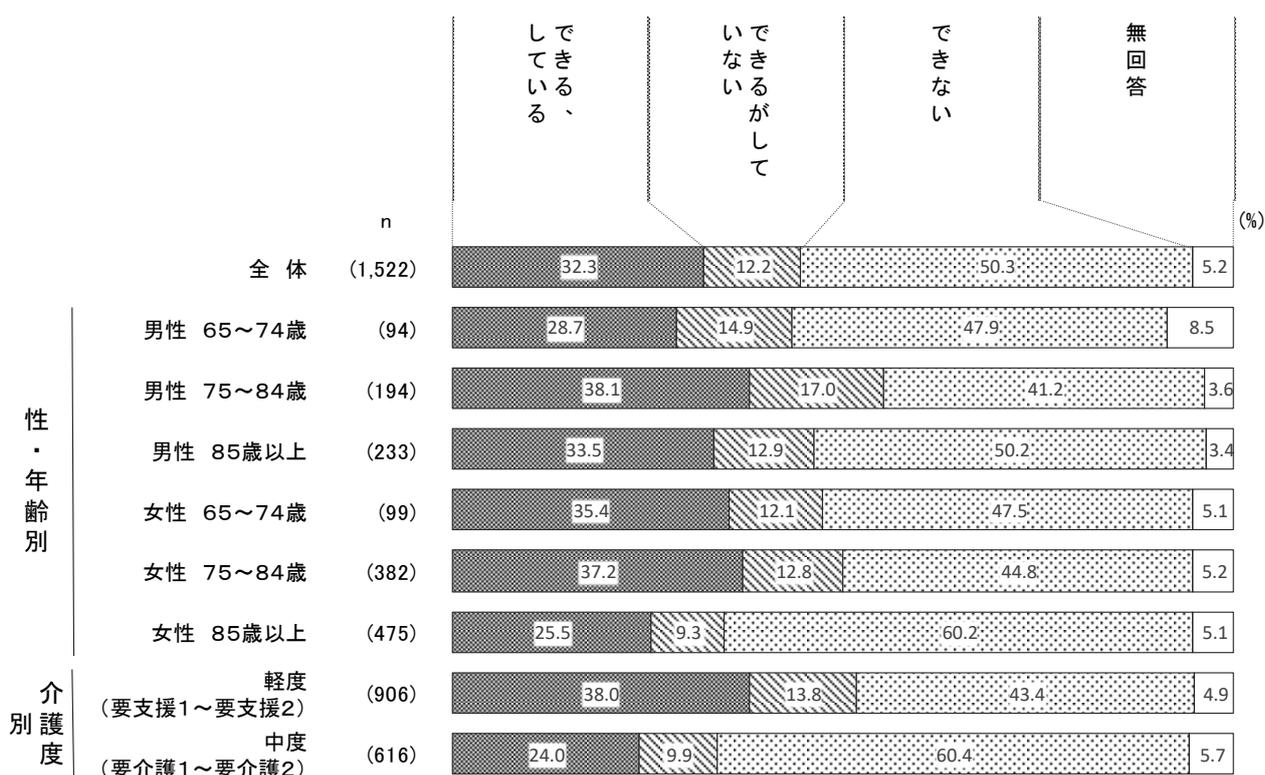
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がる動作について、「できない」が50.3%で最も多く、次いで「できる、している」が32.3%、「できるがして」が12.2%となっている。



性・年齢別でみると、性・年齢によらず「できない」が最も多く、中でも『女性85歳以上』で60.2%と最も多くなっている。

介護度別でみると、「できない」は『軽度』に比べて『中度』でより多くなっている。

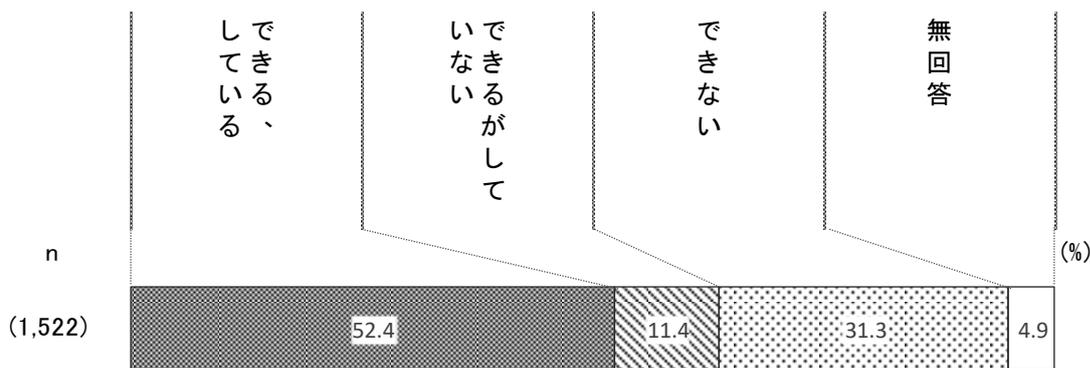
○椅子からの立ち上がり／性・年齢別、介護度別



(3) 15分程度の歩き

問40 15分程度を歩くことができますか。(1つだけ○印)

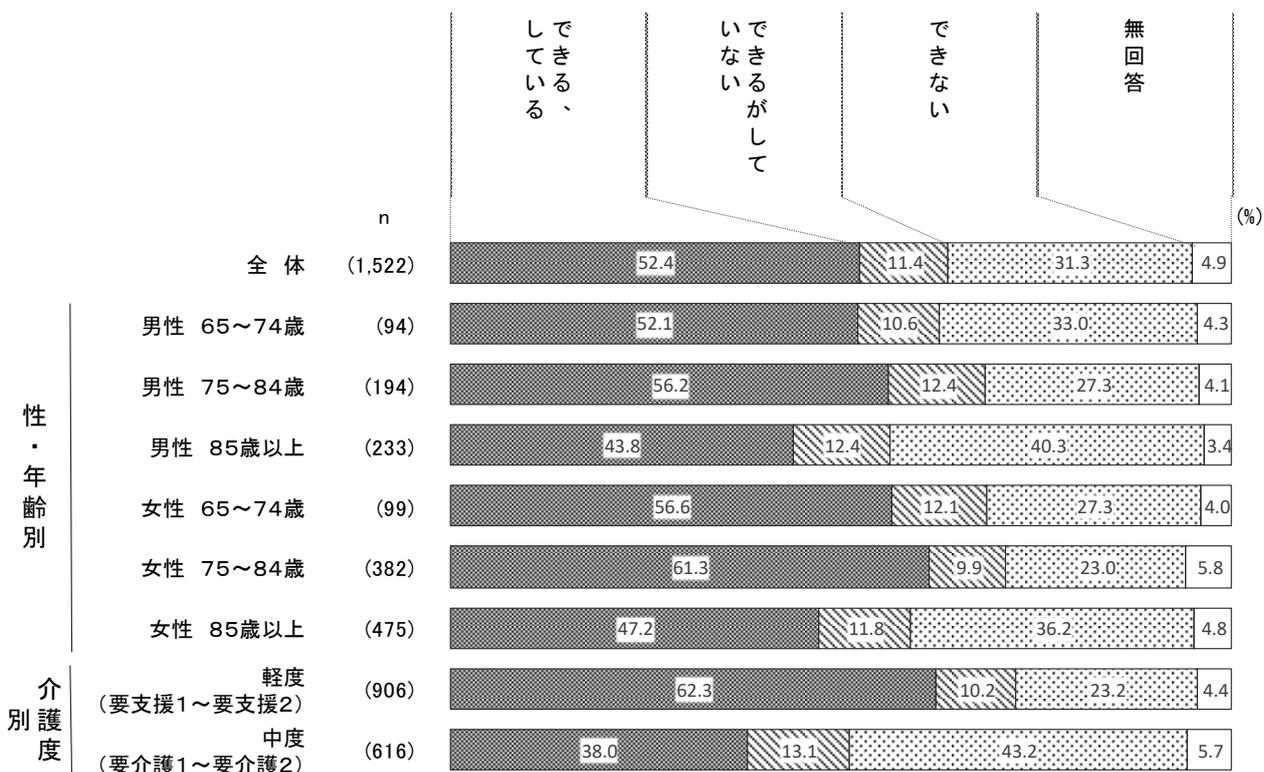
15分程度を歩く動作について、「できる、している」が52.4%で最も多く、次いで「できない」が31.3%、「できるがしていない」が11.4%となっている。



性・年齢別でみると、性・年齢によらず「できる、している」が最も多く、中でも『女性75～84歳』で61.3%と最も多くなっている。

介護度別でみると、「できない」は『軽度』に比べて『中度』でより多くなっている。

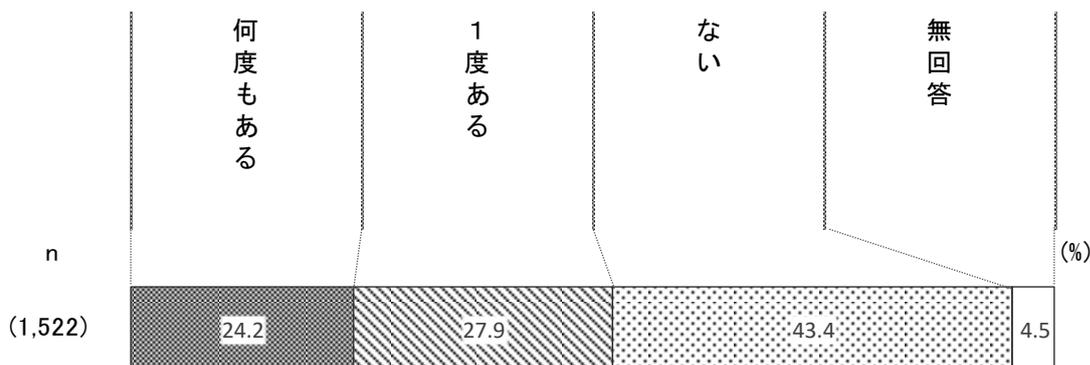
○ 15分程度の歩き／性・年齢別、介護度別



(4) 過去1年間の転倒経験

問41 過去1年間の間に転んだ経験はありますか。(1つだけ○印)

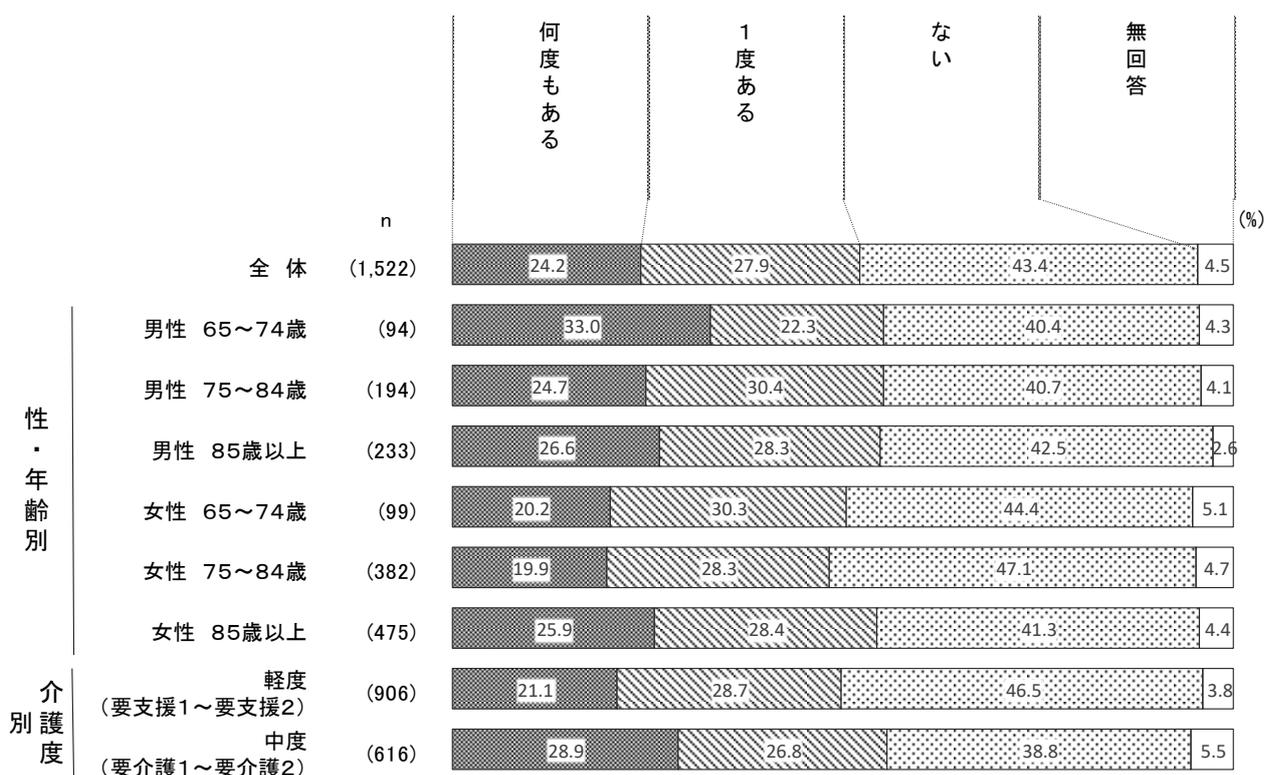
過去1年間の間に転んだ経験は、「ない」が43.4%と最も多く、次いで「1度ある」が27.9%、「何度もある」が24.2%となっている。



性・年齢別でみると、「何度もある」は『女性』に比べて『男性』で多く、特に『男性65～74歳』では33.0%と多くなっている。

介護度別でみると、「何度もある」は『軽度』に比べて『中度』でより多くなっている。

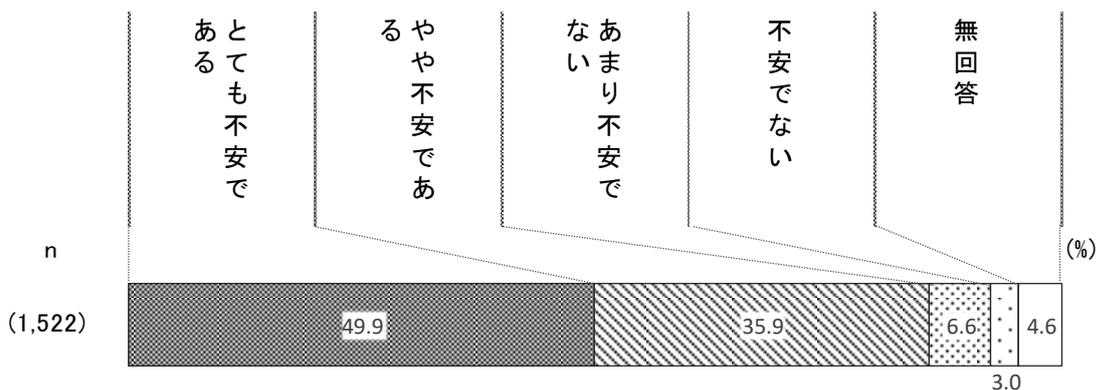
○過去1年間の転倒経験／性・年齢別、介護度別



(5) 転倒への不安感

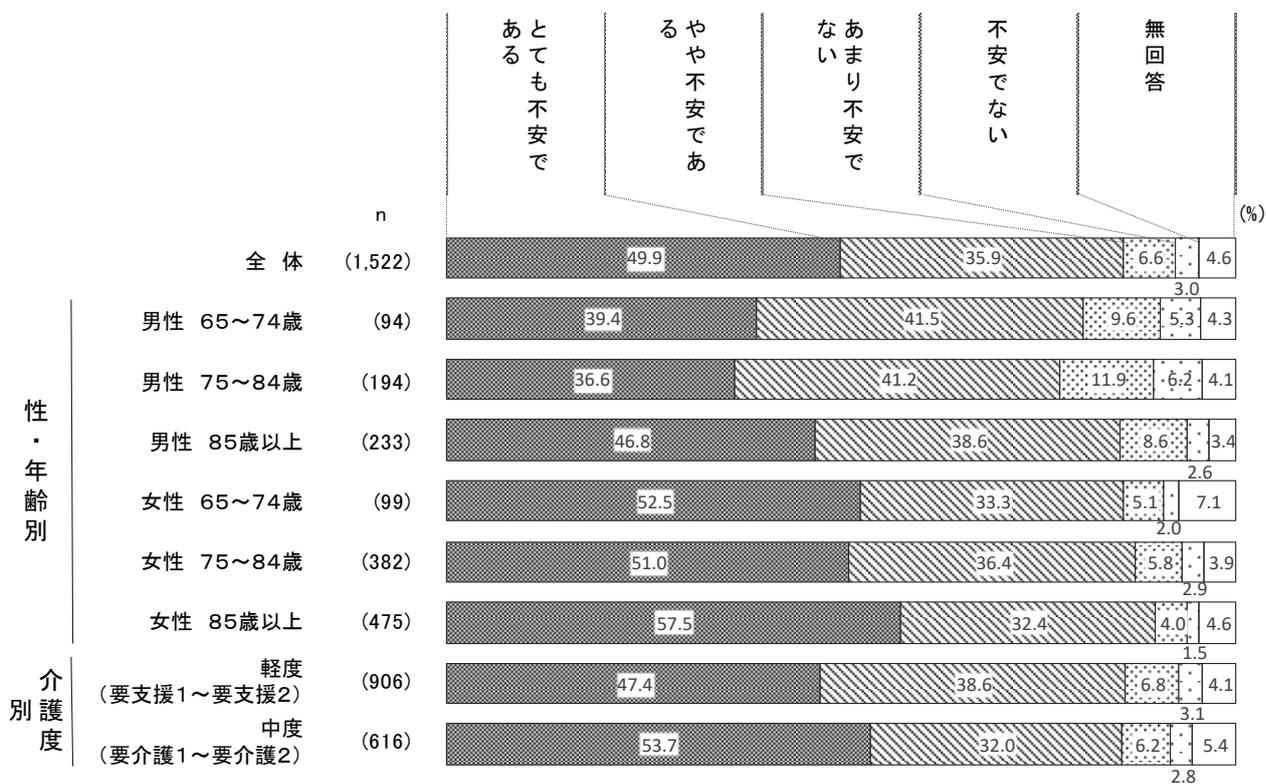
問42 転倒に対する不安は大きいですか。(1つだけ○印)

転倒に対する不安感は、「とても不安である」が49.9%と最も多く、次いで「やや不安である」が35.9%となっており、それらを合わせた<不安である>割合は85.8%となっている。



性・年齢別でみると、「とても不安である」は『男性』に比べて『女性』で多くなっている。
介護度別でみると、「とても不安である」は『軽度』に比べて『中度』でより多くなっている。

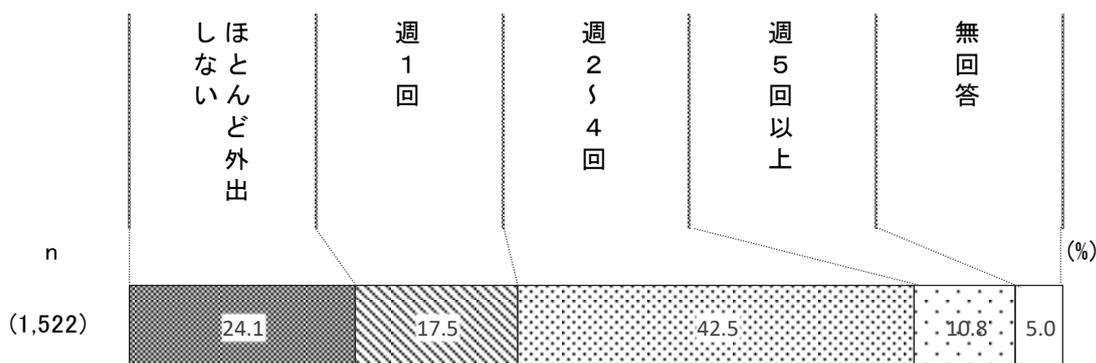
○転倒への不安感／性・年齢別、介護度別



(6) 週の外出頻度

問43 週に何回程度外出していますか。(1つだけ○印)

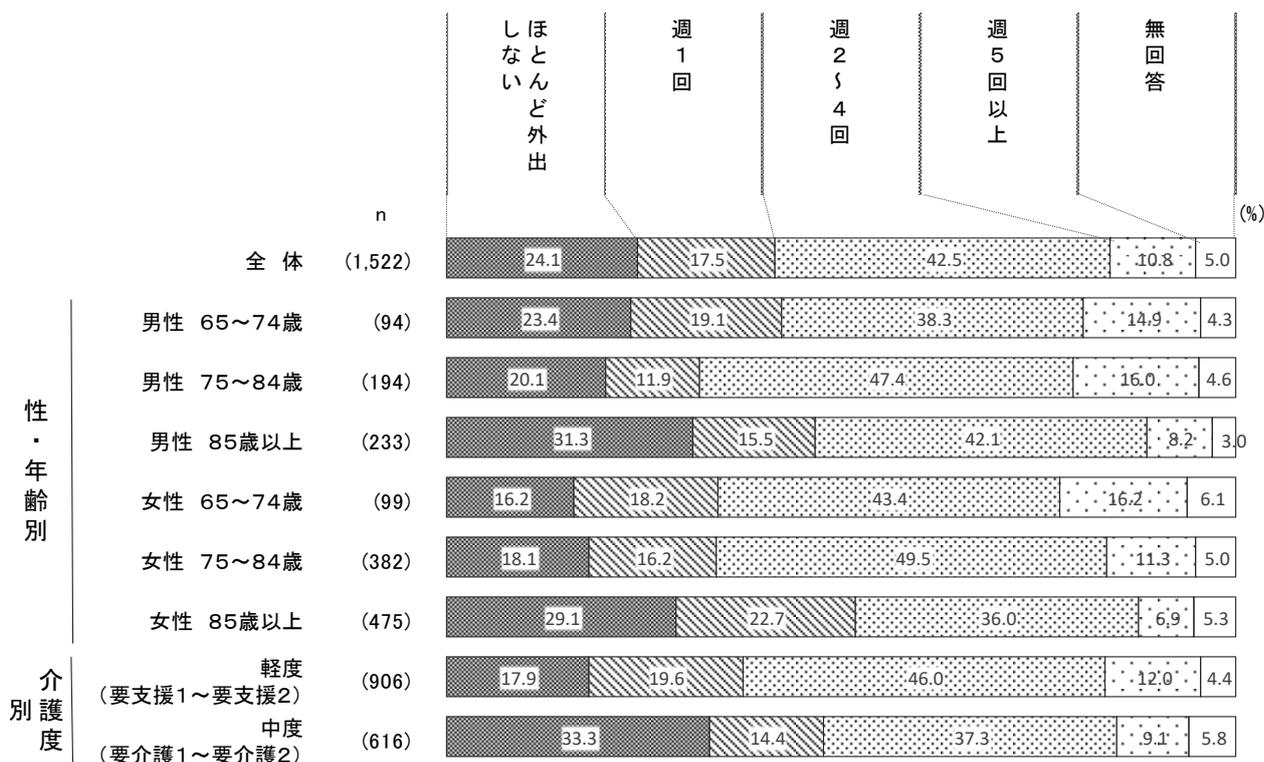
週当たりの外出頻度は、「週2～4回」が42.5%と最も多くなっている。一方、「週1回」が17.5%、「ほとんど外出しない」が24.1%となっており、それらを合わせた<週1回以下>の割合は41.6%となっている。



性・年齢別でみると、いずれも「週2～4回」が3割以上と最も多い。また、「ほとんど外出しない」は男女とも『85歳以上』で3割前後と多くなっている。

介護度別でみると、「ほとんど外出しない」は『軽度』に比べて『中度』でより多くなっており、3割以上に達する。

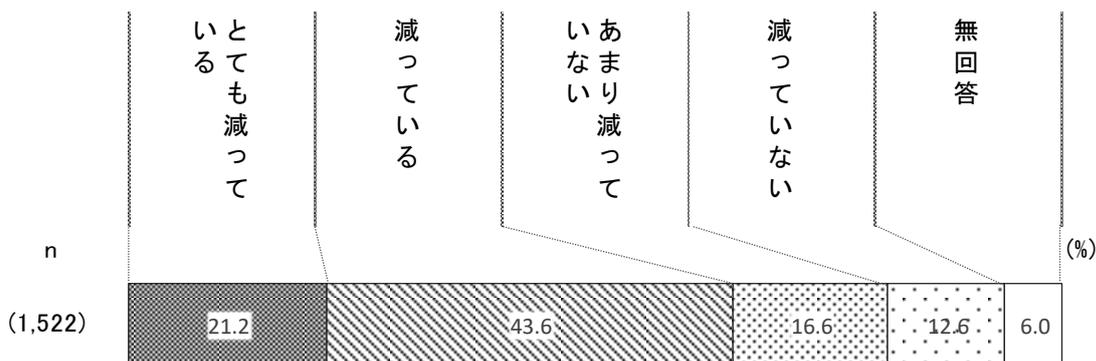
○週の外出頻度／性・年齢別、介護度別



(7) 昨年と比べての外出頻度の減少具合

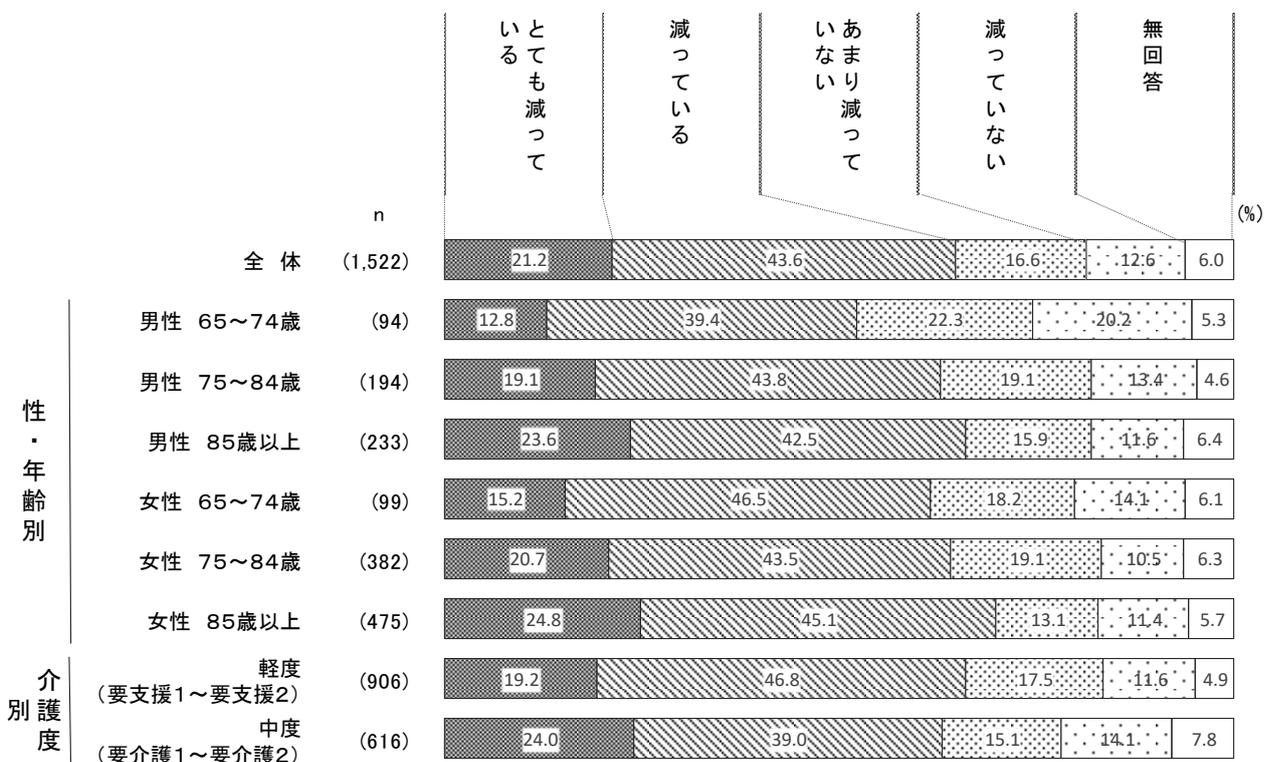
問44 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つだけ〇印)

昨年と比べて外出頻度は、「減っている」が43.6%と最も多く、次いで「とても減っている」が21.2%となっており、それらを合わせた<減っている>割合は64.8%となっている。



性・年齢別でみると、「とても減っている」は男女とも高齢層ほど多くなっている。
介護度別でみると、「とても減っている」は『軽度』に比べて『中度』でより多くなっている。

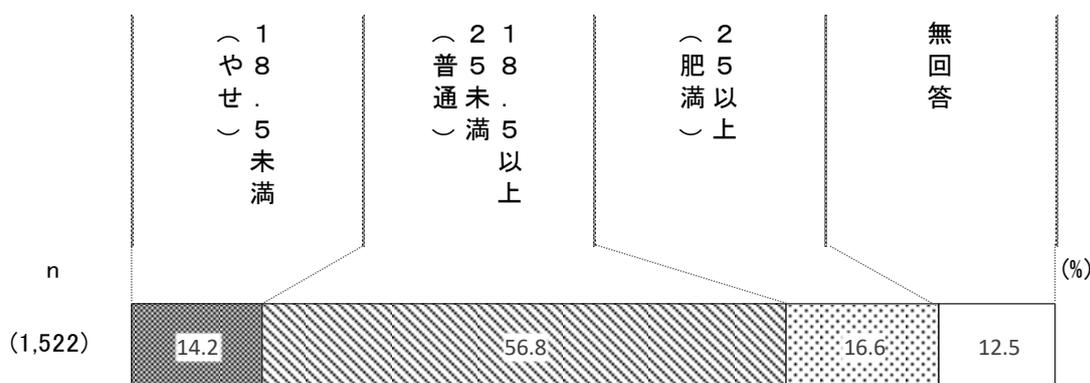
○昨年と比べての外出頻度の減少具合／性・年齢別、介護度別



(8) BMI (ボディ・マス指数)

問45 身長・体重をご記入ください。

身長、体重から算出したBMI (ボディ・マス指数)は、「18.5以上25未満 (普通)」が56.8%と過半数を占める。一方、「25以上 (肥満)」は16.6%、「18.5未満 (やせ)」は14.2%であった。

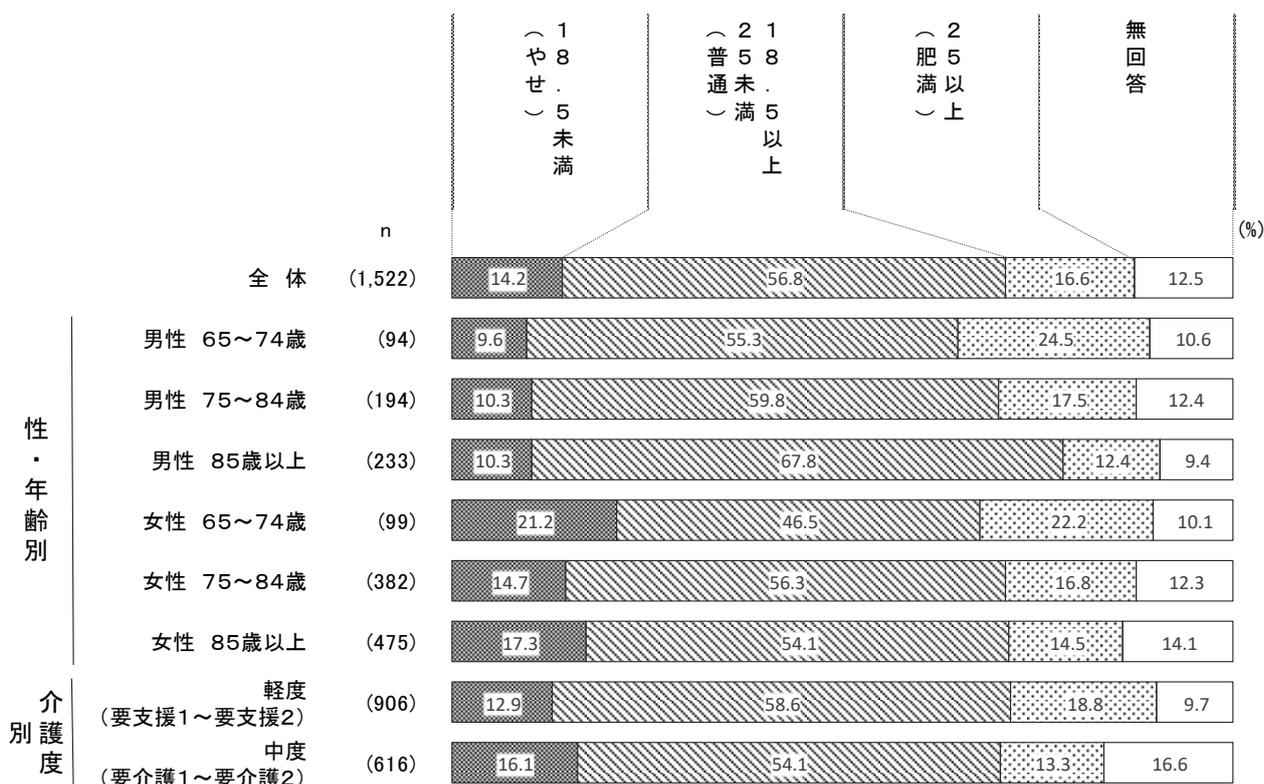


※BMI (ボディ・マス指数)とは肥満度を表す指標として国際的に用いられている体格指数。[体重(kg)]÷[身長(m)の2乗]で求められる。日本肥満学会の定めた基準では18.5未満が「低体重 (やせ)」、18.5以上25未満が「普通体重」、25以上が「肥満」となっている。

性・年齢別でみると、「25以上 (肥満)」は男女とも高齢層ほど少なくなっている。

介護度別でみると、「25以上 (肥満)」は『軽度』に比べて『中度』でより少なくなっている。一方、「18.5未満 (やせ)」は『軽度』に比べて『中度』でより多くなっている

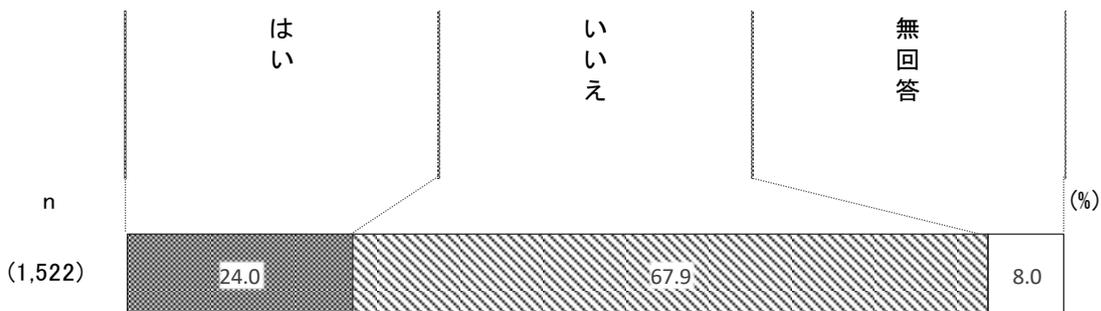
○BMI / 性・年齢別、介護度別



(9) 6か月間で2～3kgの体重減少

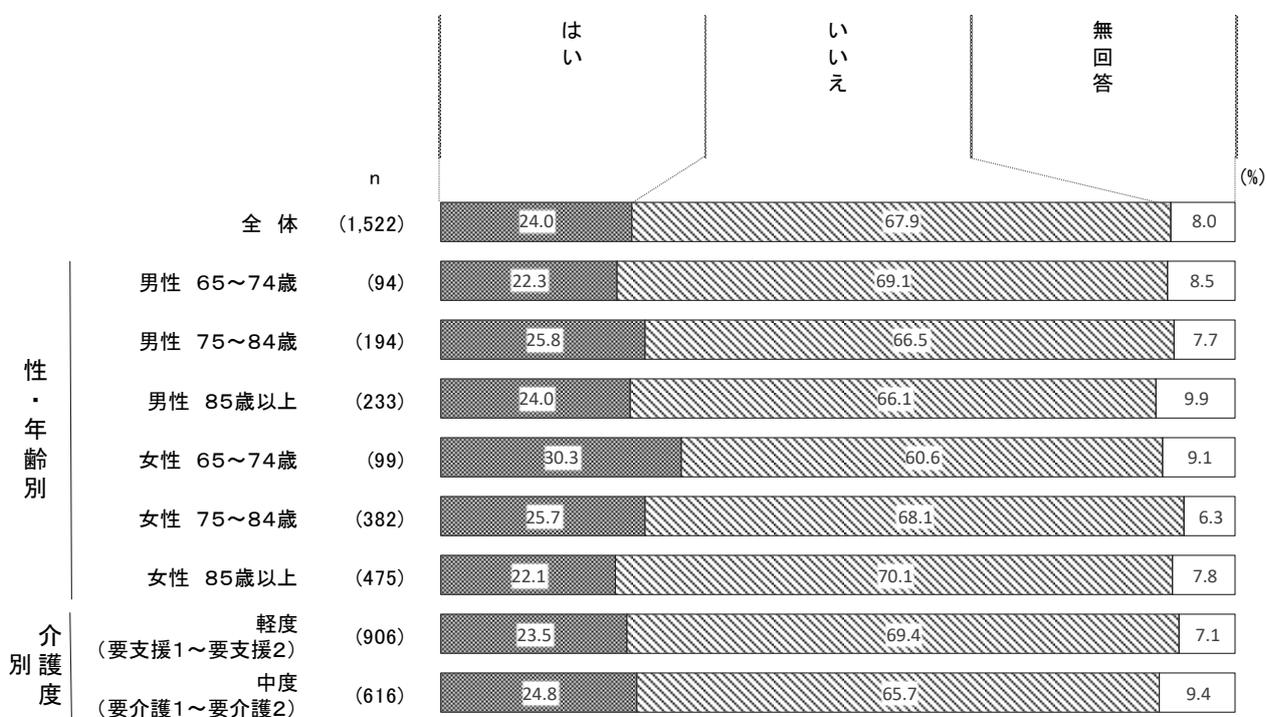
問46 直近6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。

直近6か月間で2～3kg以上の体重減少の有無について、「はい」が24.0%、「いいえ」が67.9%となっている。



性・年齢別でみると、『女性』では「はい」が高年齢層ほど少なくなっている。
介護度別でみると、「はい」は『軽度』で23.5%、『中度』で24.8%となっている。

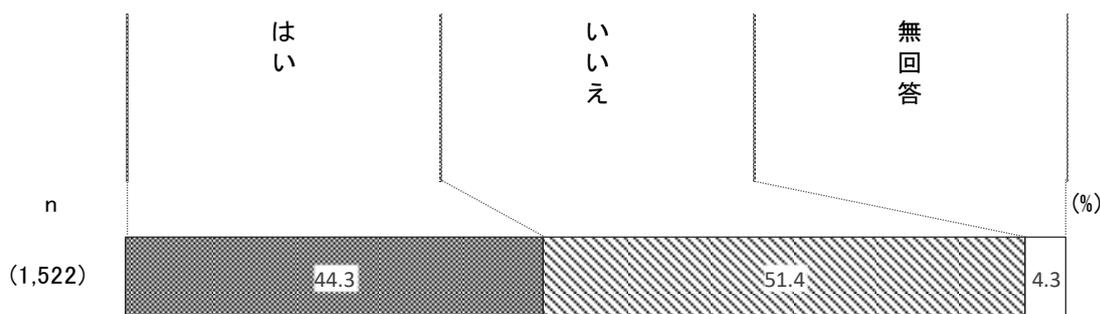
○ 6か月間で2～3kgの体重減少／性・年齢別、介護度別



(10) 半年前に比べて固いものの食べにくさ

問47 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

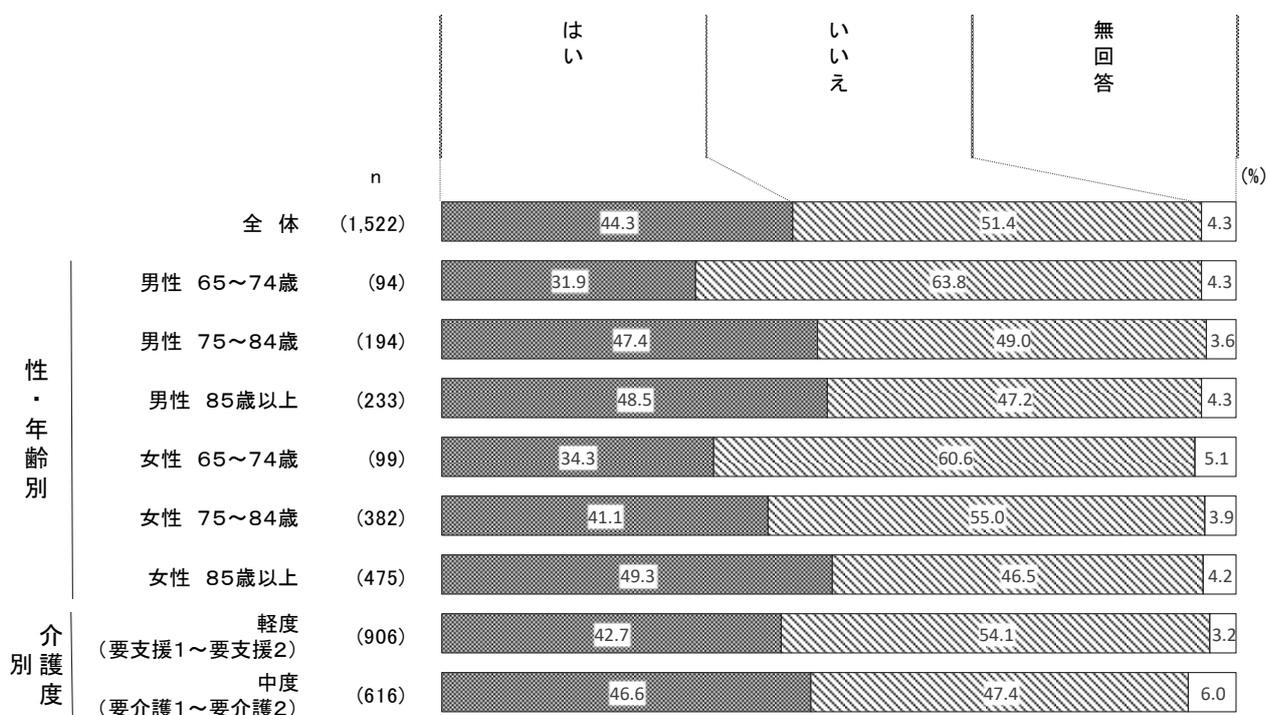
半年前と比べた固いものの食べにくさについて、「はい」が44.3%、「いいえ」が51.4%となっている。



性・年齢別でみると、男女とも『65～74歳』『75～84歳』では「いいえ」のほうが多いが、『85歳以上』では「はい」のほうが多くなっている。

介護度別でみると、「はい」は『軽度』に比べて『中度』でやや多くなっている。

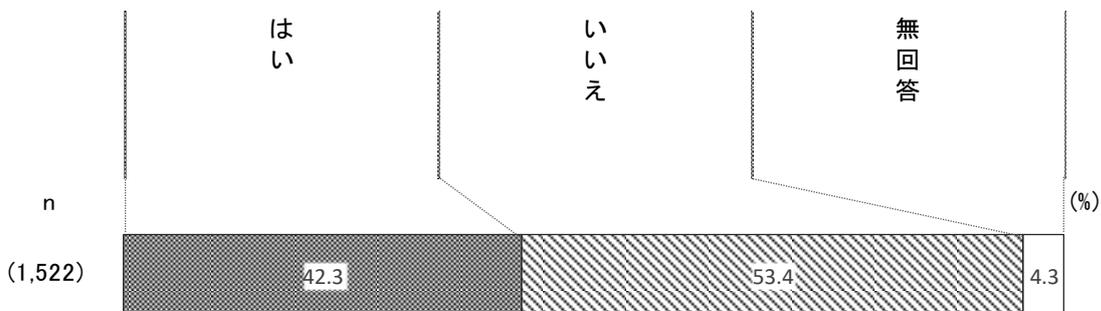
○半年前に比べて固いものの食べにくさ／性・年齢別、介護度別



(11) お茶や汁物等でむせること

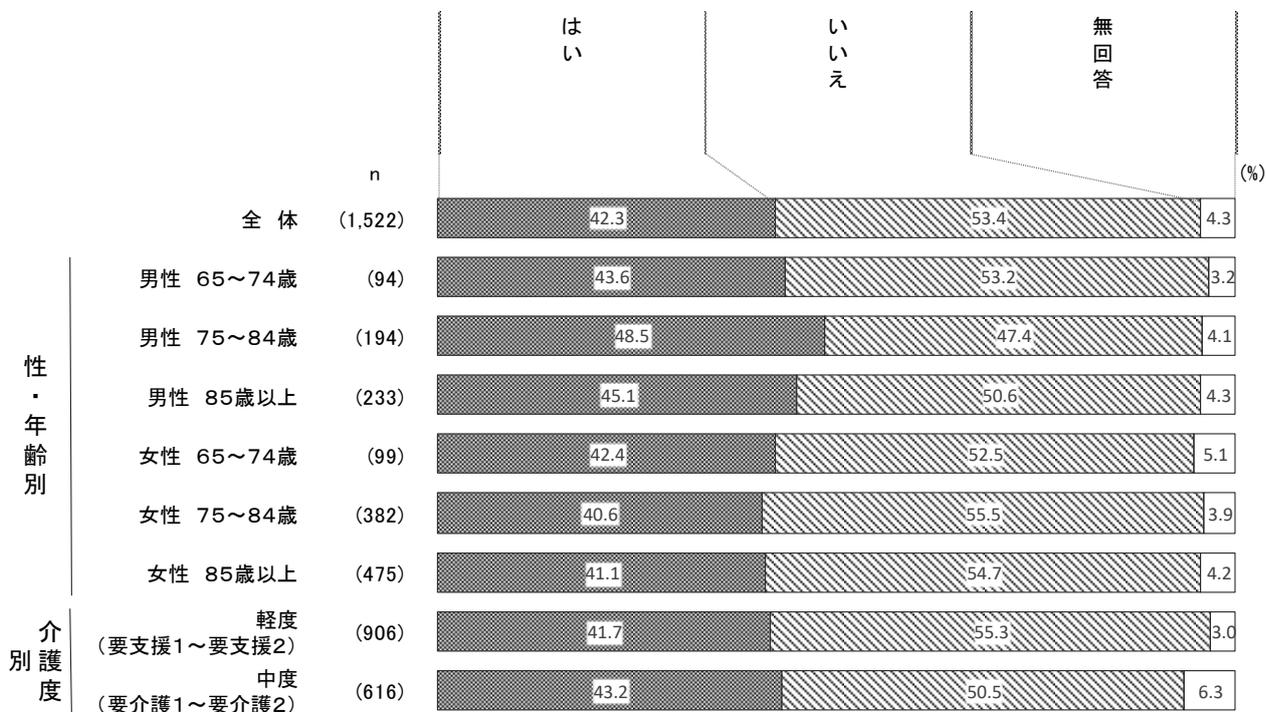
問48 お茶や汁物等でむせることがありますか。

お茶や汁物等でむせることについて、「はい」が42.3%、「いいえ」が53.4%となっている。



性・年齢別でみると、性・年齢によらず「いいえ」のほうが多くなっている。介護度別でみると、『軽度』『中度』とも「いいえ」のほうが多くなっている。

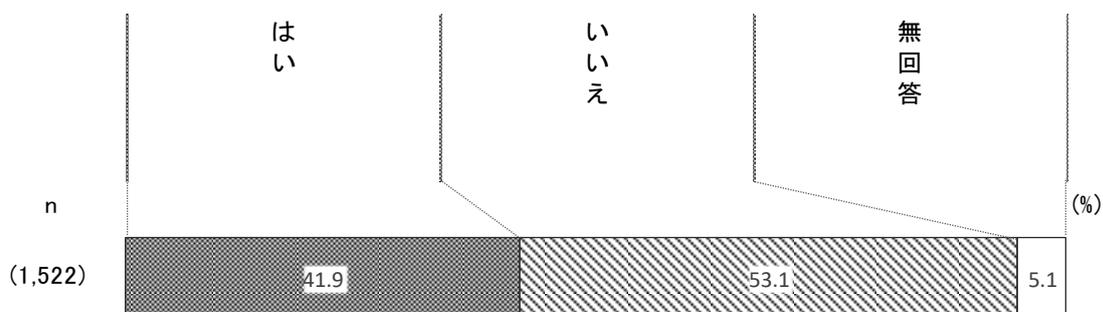
○お茶や汁物等でむせること／性・年齢別、介護度別



(12) 口の渇き

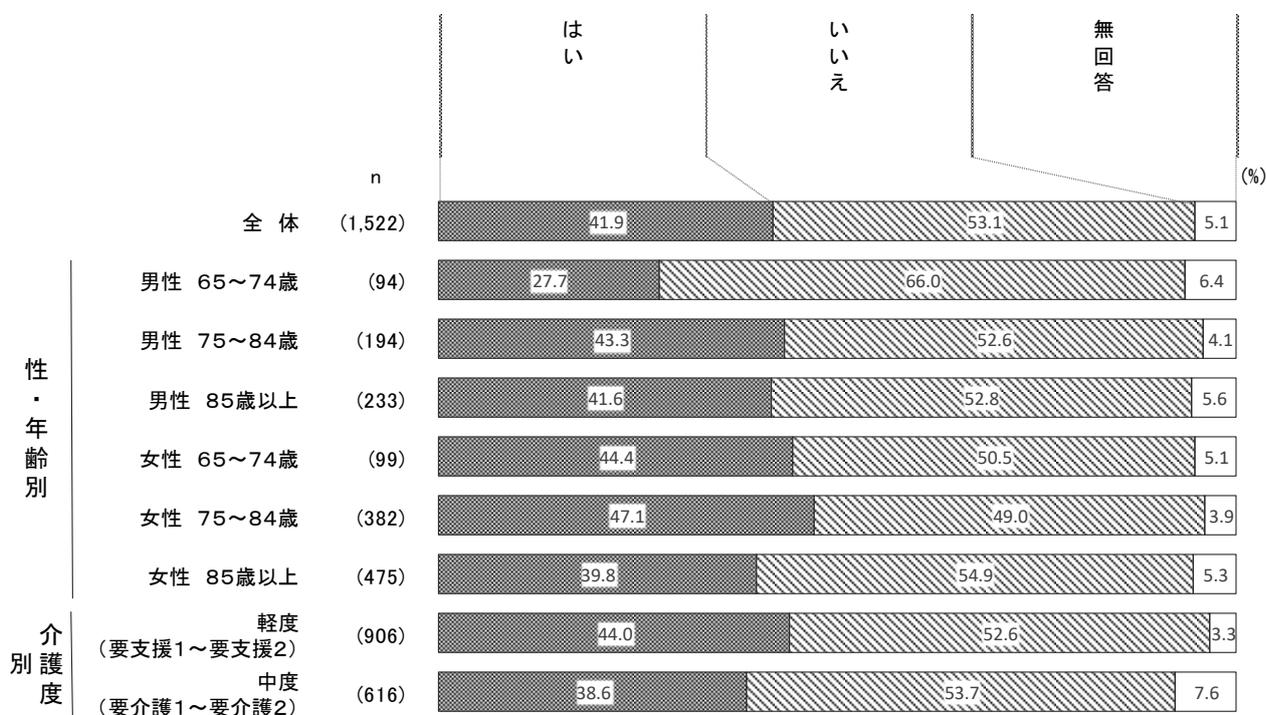
問49 口の渇きが気になりますか。

口の渇きが気になることについて、「はい」が41.9%、「いいえ」が53.1%となっている。



性・年齢別でみると、「はい」は『女性75～84歳』が47.1%と最も多くなっている。
 介護度別でみると、「はい」は『中度』(38.6%)より『軽度』(44.0%)のほうが多くなっている。

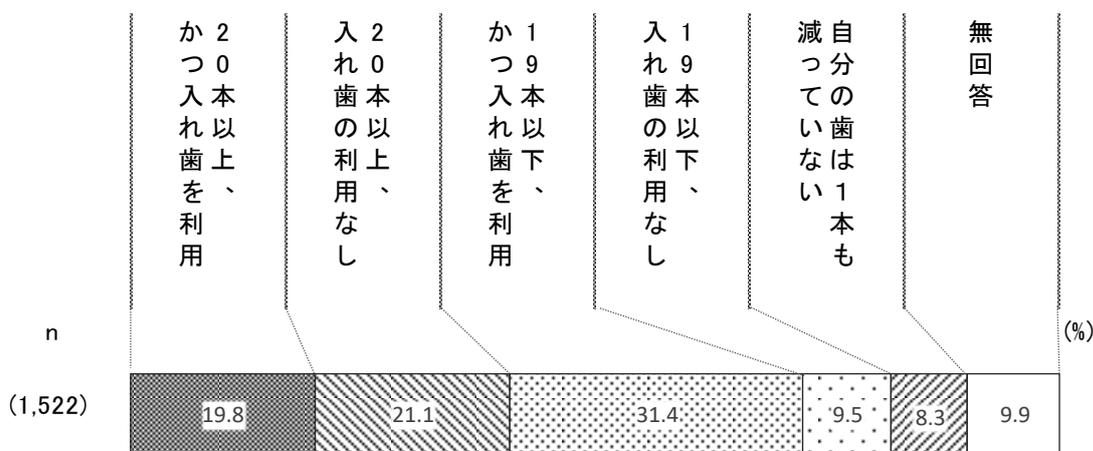
○口の渇き／性・年齢別、介護度別



(13) 歯の数と入れ歯の利用状況

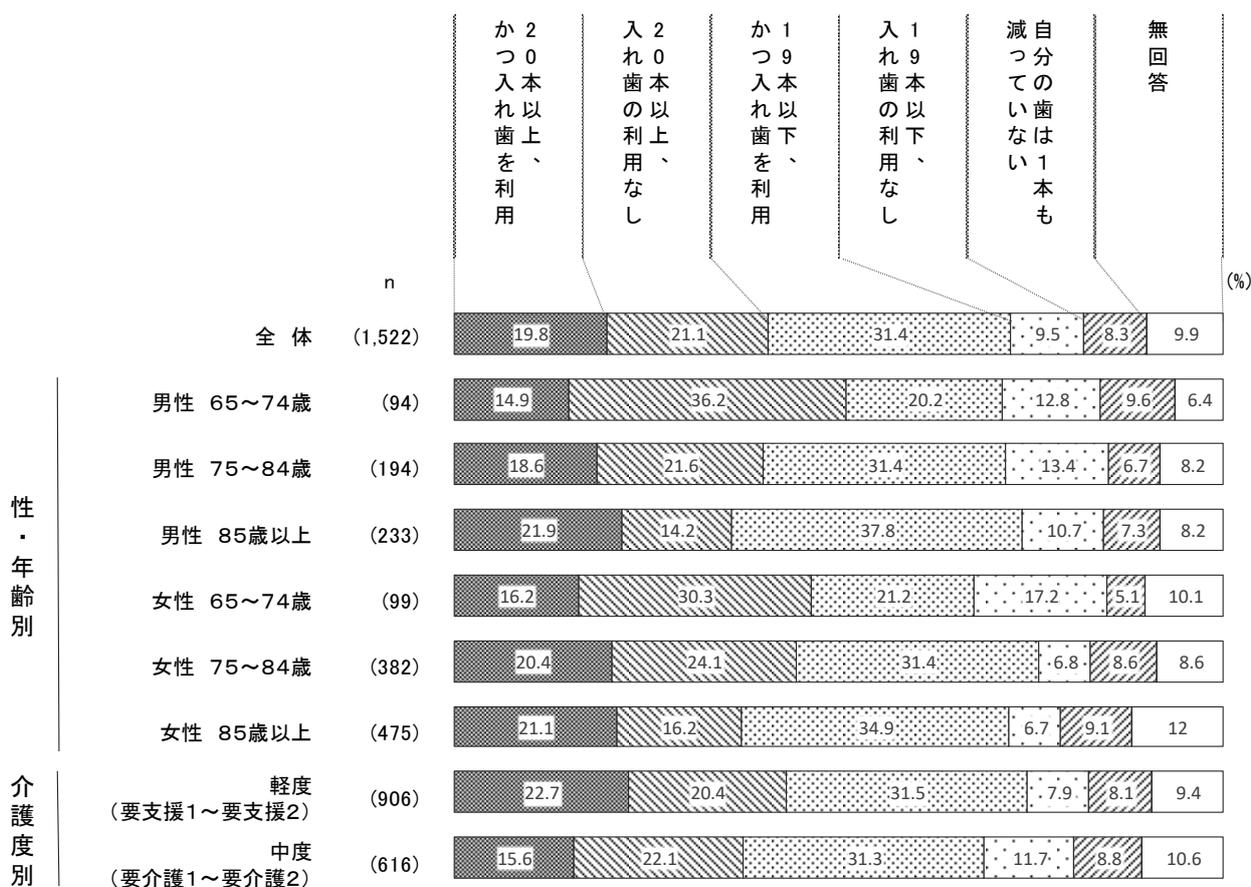
問50 歯の数と入れ歯の利用状況をご回答ください。(1つだけ○印)

歯の数と入れ歯の利用状況について、歯の数は「20本以上、入れ歯の利用なし」が21.1%、「20本以上、かつ入れ歯を利用」が19.8%で、それらを合わせた<20本以上>歯のある割合は40.9%となっている。また、入れ歯の状況は「19本以下、かつ入れ歯を利用」が31.4%、「20本以上、かつ入れ歯を利用」が19.8%で、それらを合わせた<入れ歯を利用している>割合は51.2%となっている。一方、「自分の歯は1本も減っていない」は8.3%であった。



性・年齢別にみると、男女とも年代が若いほど「20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が多く、年代が上がるに従って「20本以上、かつ入れ歯を利用」「19本以下、かつ入れ歯を利用」が増加している。介護度別にみると、「20本以上、かつ入れ歯を利用」の割合は、『中度』(15.6%)より『軽度』(22.7%)のほうが多くなっている。

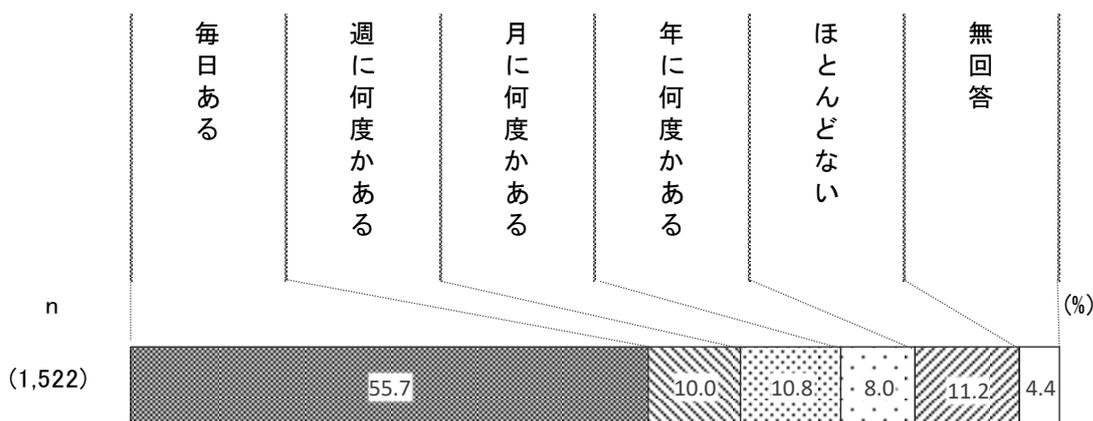
○歯の数と入れ歯の利用状況／性・年齢別、介護度別



(14) 食事をとる機会

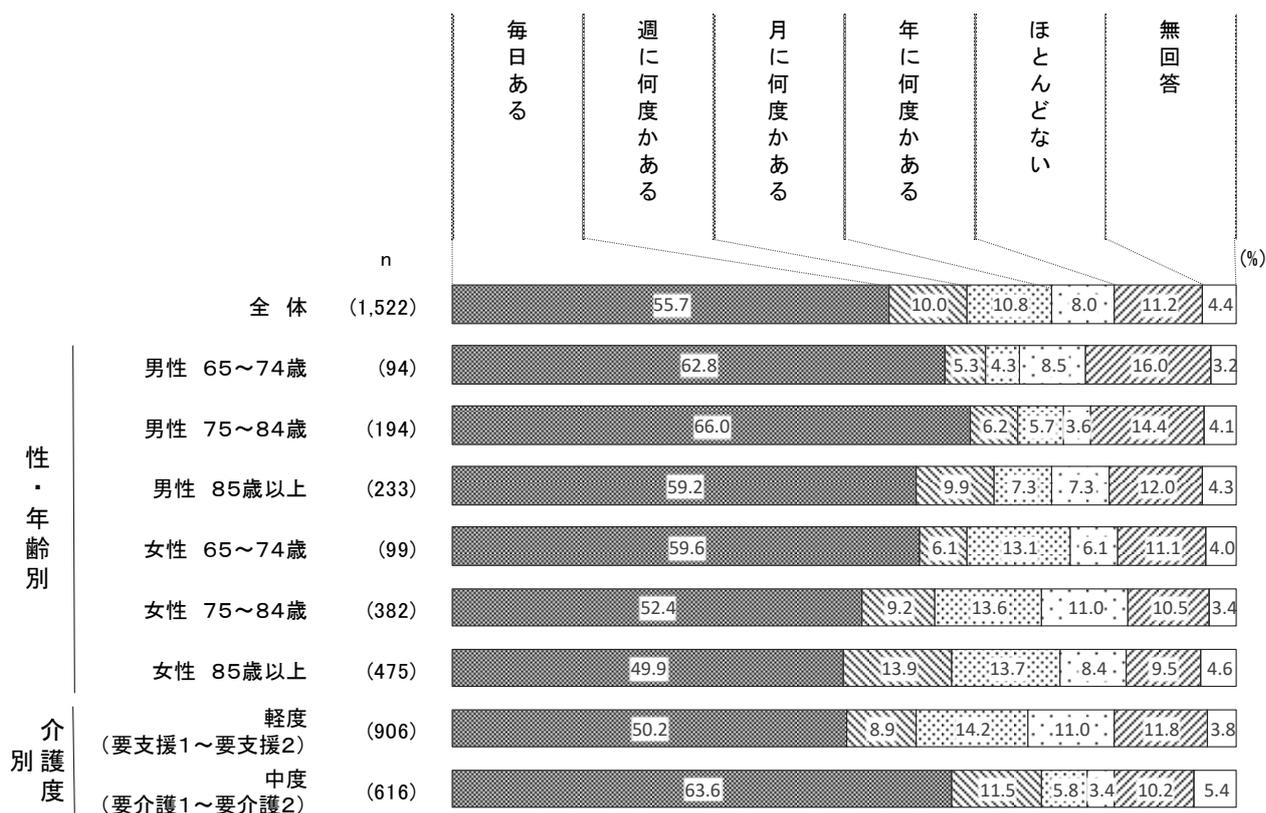
問51 どなたかと食事をとる機会がありますか（家族も含む）。（1つだけ〇印）

誰かと食事をとる機会を、「毎日ある」が55.7%で最も多く、次いで「月に何度かある」が10.8%、「週に何度かある」が10.0%となっている。一方、「ほとんどない」は11.2%であった。



性・年齢別でみると、「毎日ある」は年齢によらず『女性』より『男性』のほうが多くなっている。介護度別でみると、「毎日ある」は『軽度』(50.2%)より『中度』(63.6%)のほうが多くなっている。

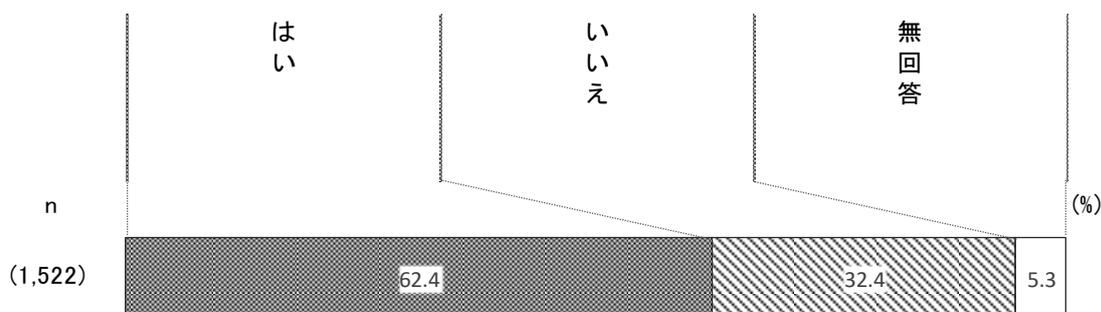
○食事をとる機会／性・年齢別、介護度別



(15) 物忘れが多いと感じるか

問52 物忘れが多いと感じますか。

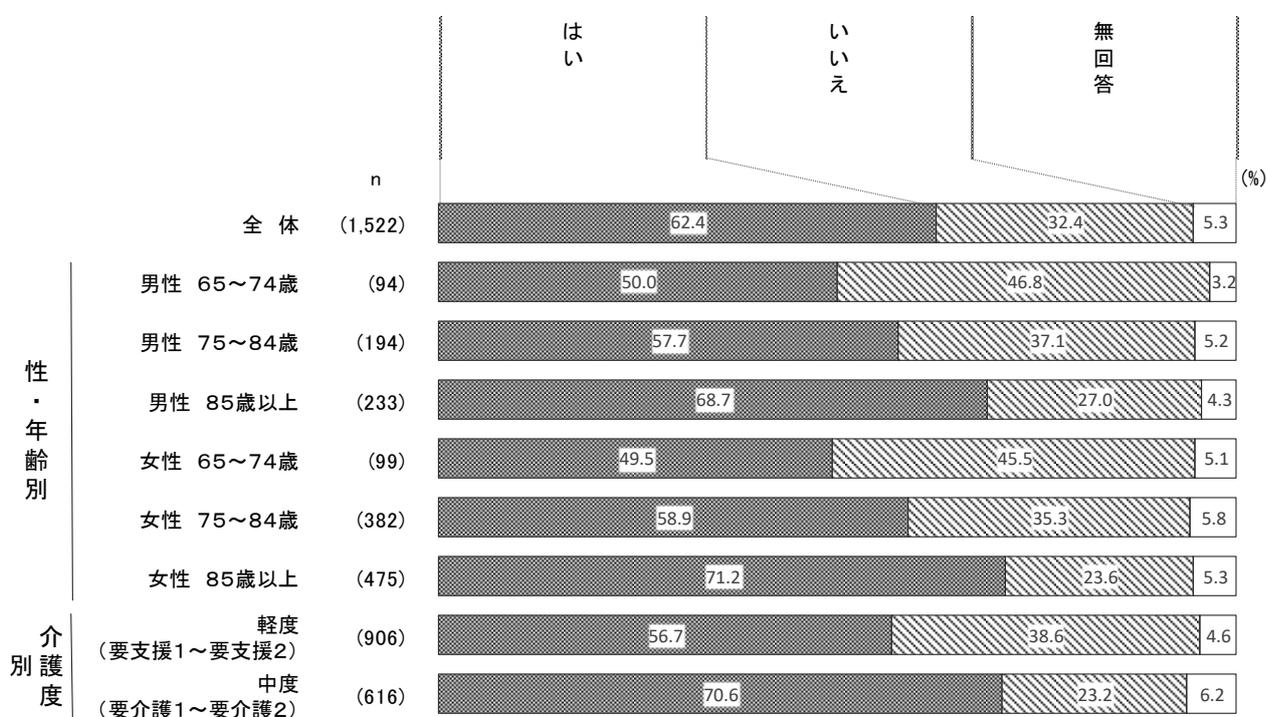
物忘れが多いと感じるかについては、「はい」が62.4%、「いいえ」が32.4%となっている。



性・年齢別でみると、「はい」は男女とも高齢層ほど多くなっている。

介護度別でみると、「はい」は『軽度』(56.7%)より『中度』(70.6%)のほうが多くなっている。

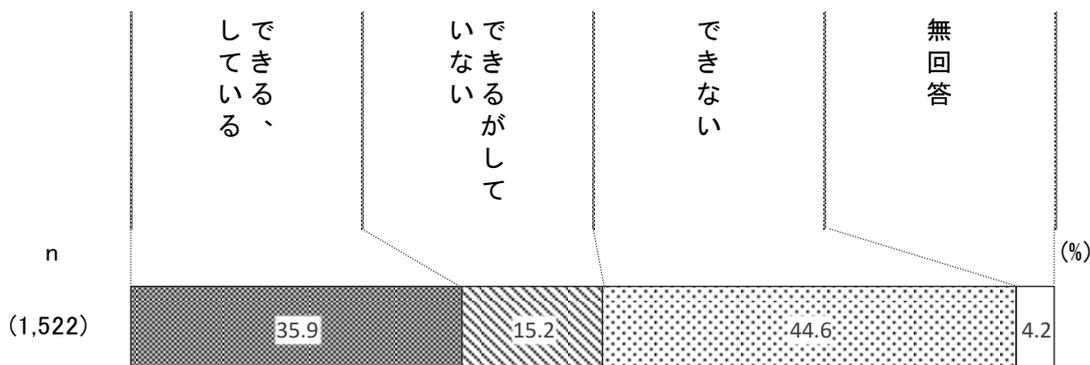
○物忘れが多いと感じるか／性・年齢別、介護度別



(16) バスや電車での1人での外出

問53 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。（1つだけ○印）

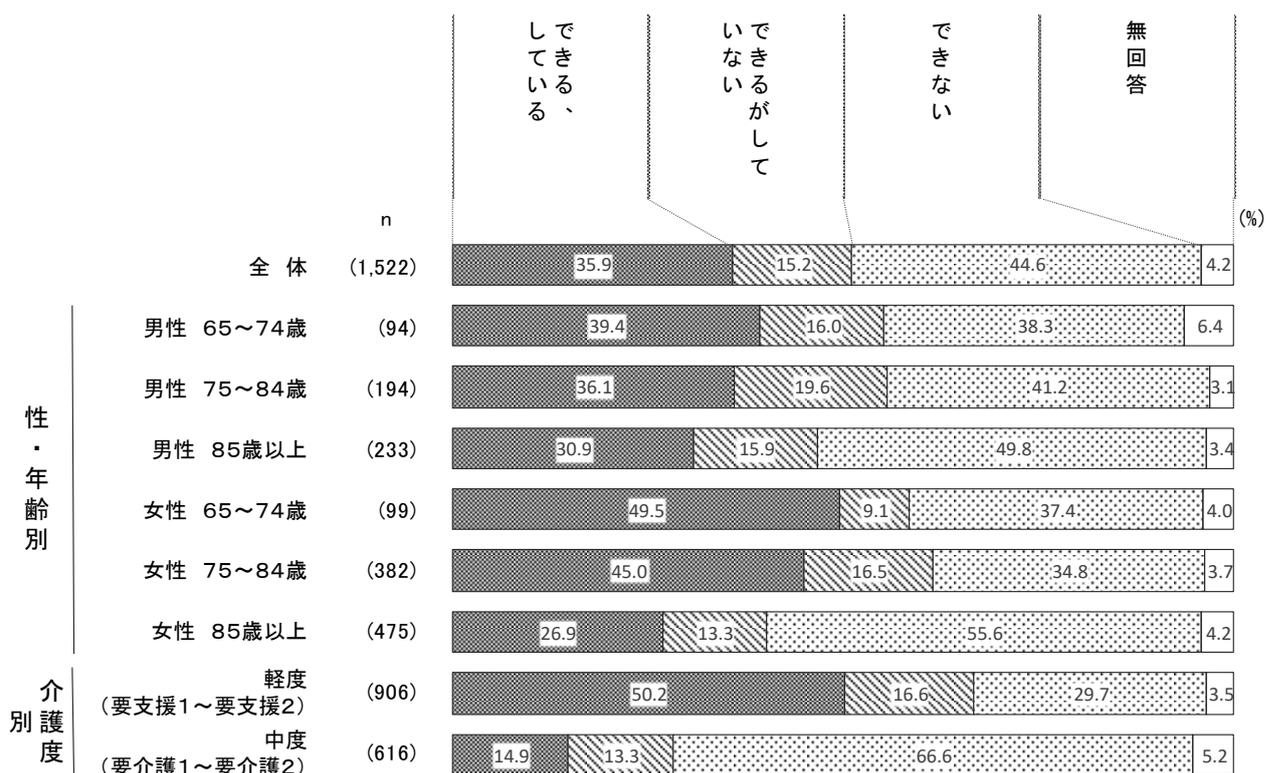
バスや電車を使って1人で外出することについて、「できる、している」が35.9%、「できるがしていない」が15.2%で、それらを合わせると<できる>割合は51.1%となっている。一方、「できない」は44.6%であった。



性・年齢別でみると、「できない」は男女とも高年齢層ほど多くなる傾向にあり、『男性85歳以上』で49.8%、『女性85歳以上』で55.6%であった。

介護度別でみると、「できない」は『中度』で66.6%と多くなっている。

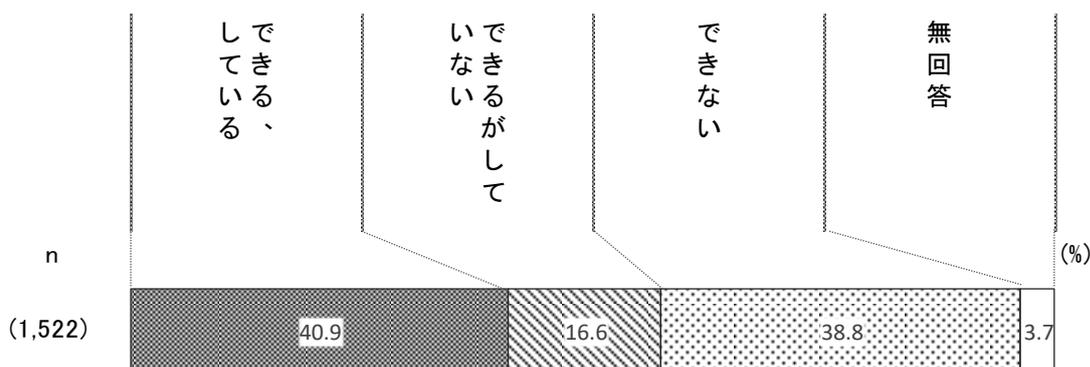
○バスや電車での1人での外出／性・年齢別、介護度別



(17) 食品・日用品の買物

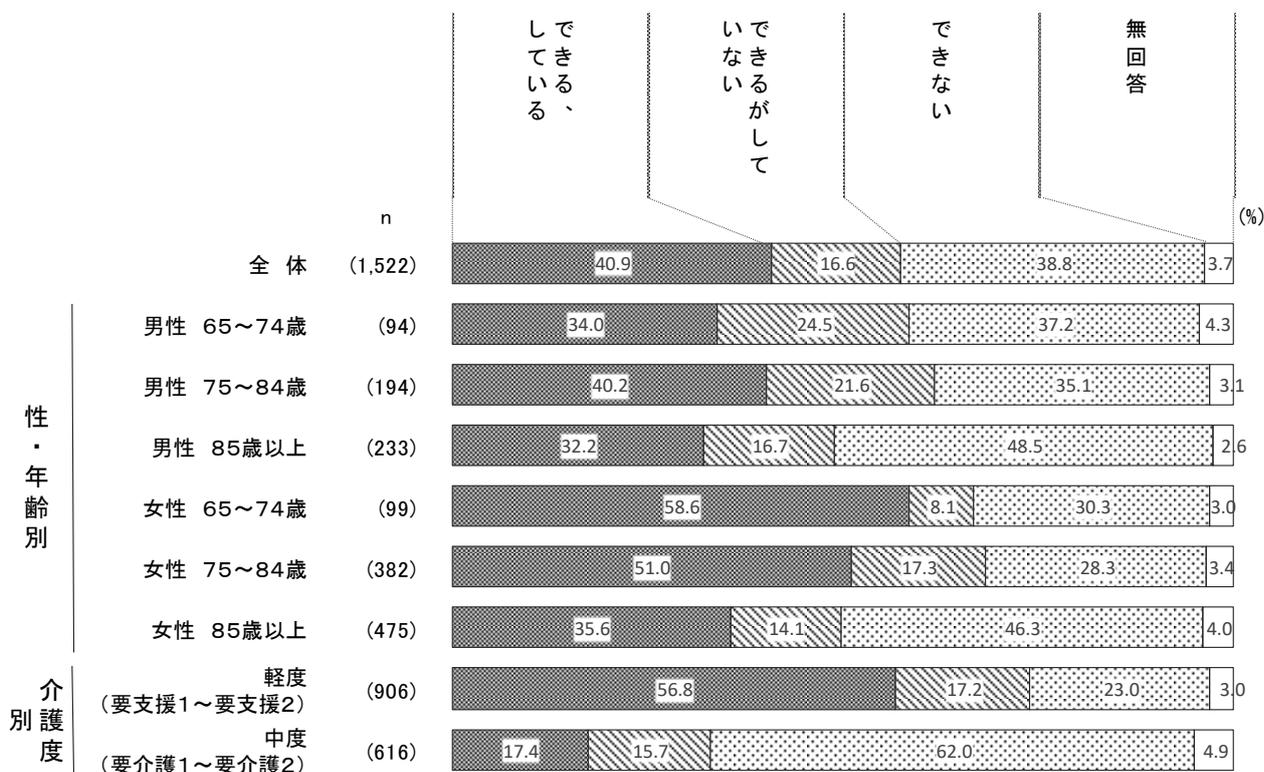
問54 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つだけ○印)

食品・日用品の買物について、「できる、している」が40.9%、「できるがしていない」が16.6%で、それらを合わせると<できる>割合は57.5%となっている。一方、「できない」は38.8%であった。



性・年齢別で見ると、「できない」は男女とも『85歳以上』で約半数と多くなっている。介護度別で見ると、「できない」は『中度』で62.0%と多くなっている。

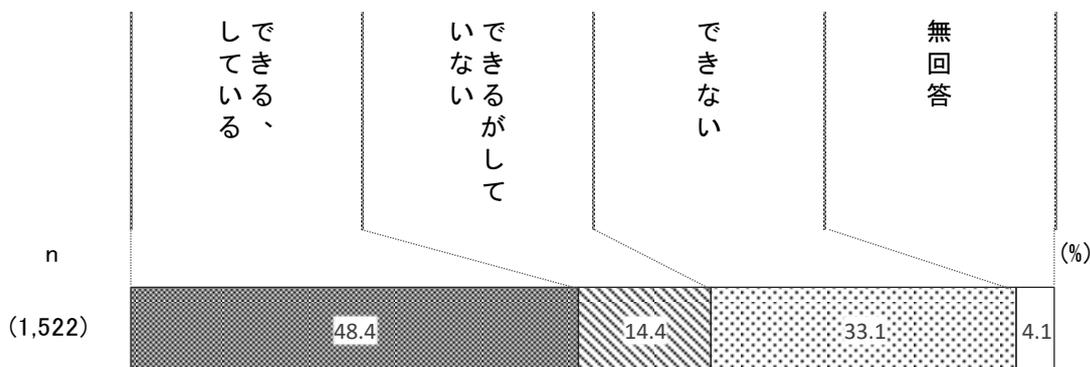
○食品・日用品の買物／性・年齢別、介護度別



(18) 食事の用意

問55 自分で食事の用意をしていますか。(1つだけ○印)

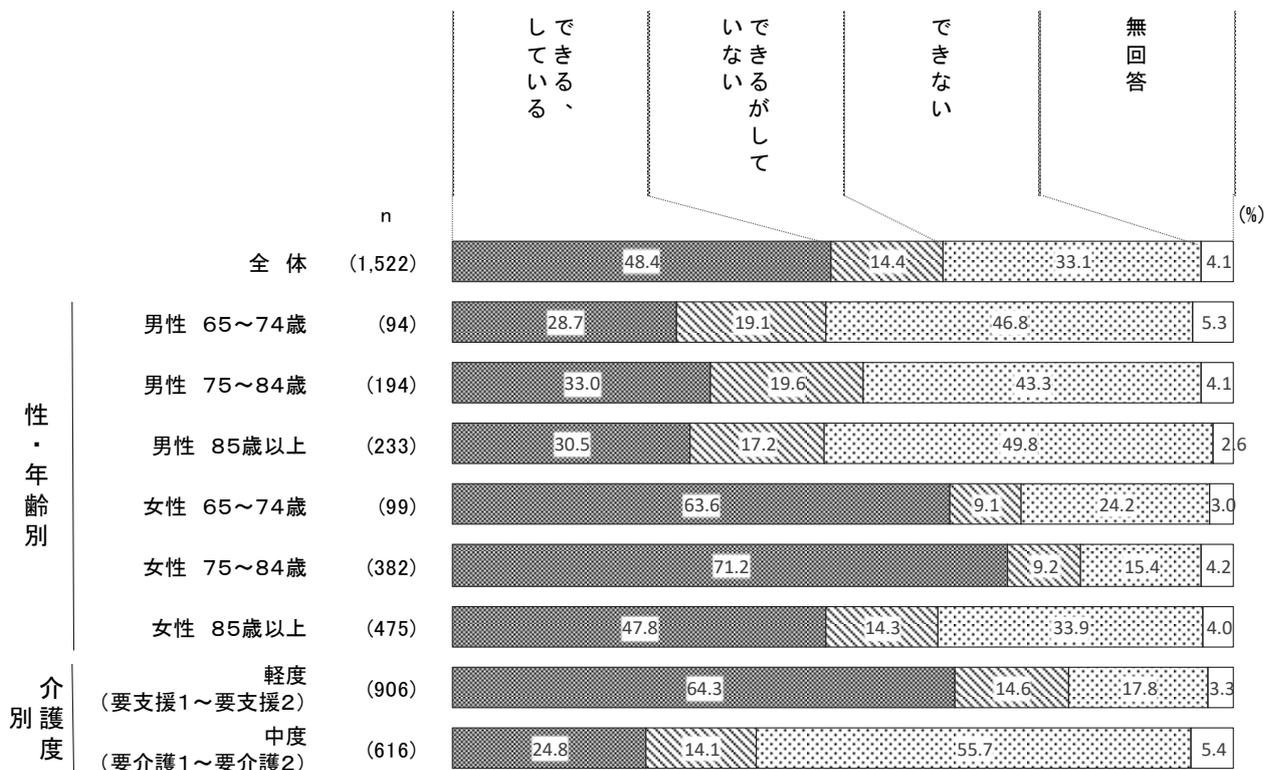
食事の用意について、「できる、している」が48.4%、「できるがしていない」が14.4%で、それらを合わせると<できる>割合は62.8%となっている。一方、「できない」は33.1%であった。



性・年齢別でみると、『男性』の場合、年齢によらず「できない」が最も多く、『女性』の場合では「できる、している」が最も多くなっている。

介護度別でみると、「できない」は『中度』(55.7%)のほうが多くなっている。

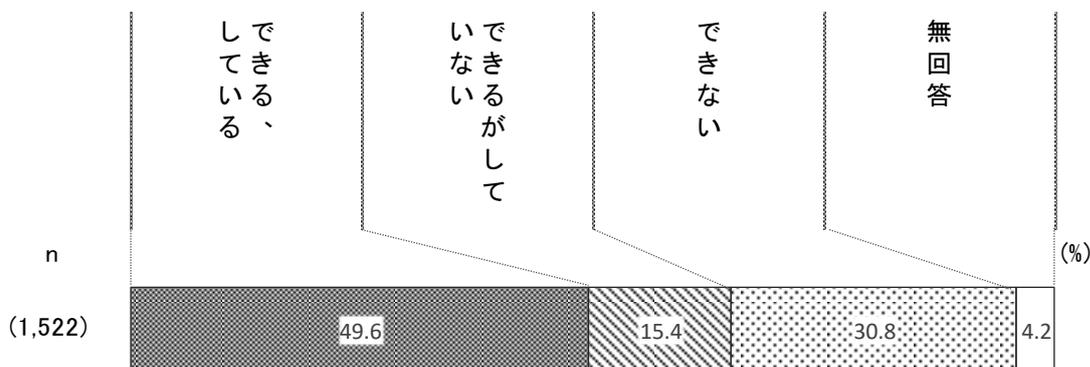
○食事の用意／性・年齢別、介護度別



(19) 請求書の支払い

問56 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つだけ○印)

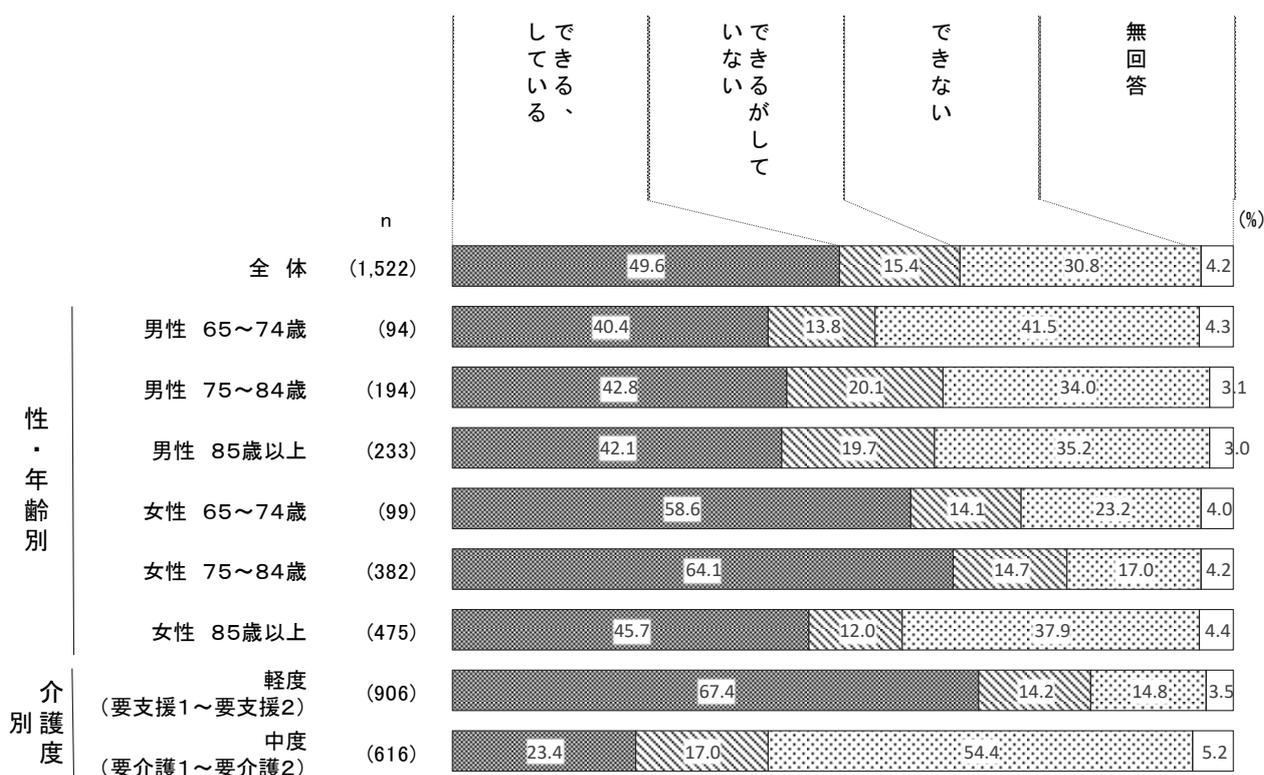
請求書の支払いについて、「できる、している」が49.6%、「できるがして」が15.4%で、それらを合わせると<できる>割合は65.0%となっている。一方、「できない」は30.8%であった。



性・年齢別でみると、『男性』の場合、『65～74歳』は「できない」、『75～84歳』『85歳以上』は「できる、している」がそれぞれ最も多く、『女性』の場合では年齢によらず「できる、している」が最も多くなっている。

介護度別でみると、「できない」は『中度』(54.4%)のほうが多くなっている。

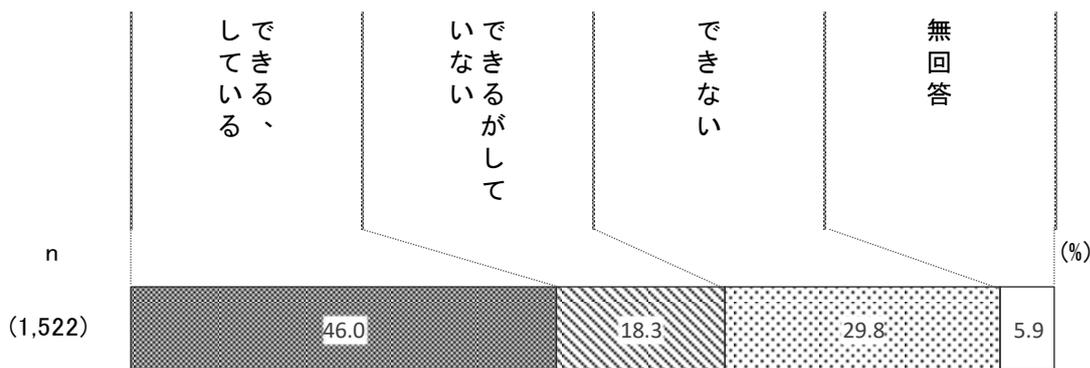
○請求書の支払い／性・年齢別、介護度別



(20) 預貯金の出し入れ

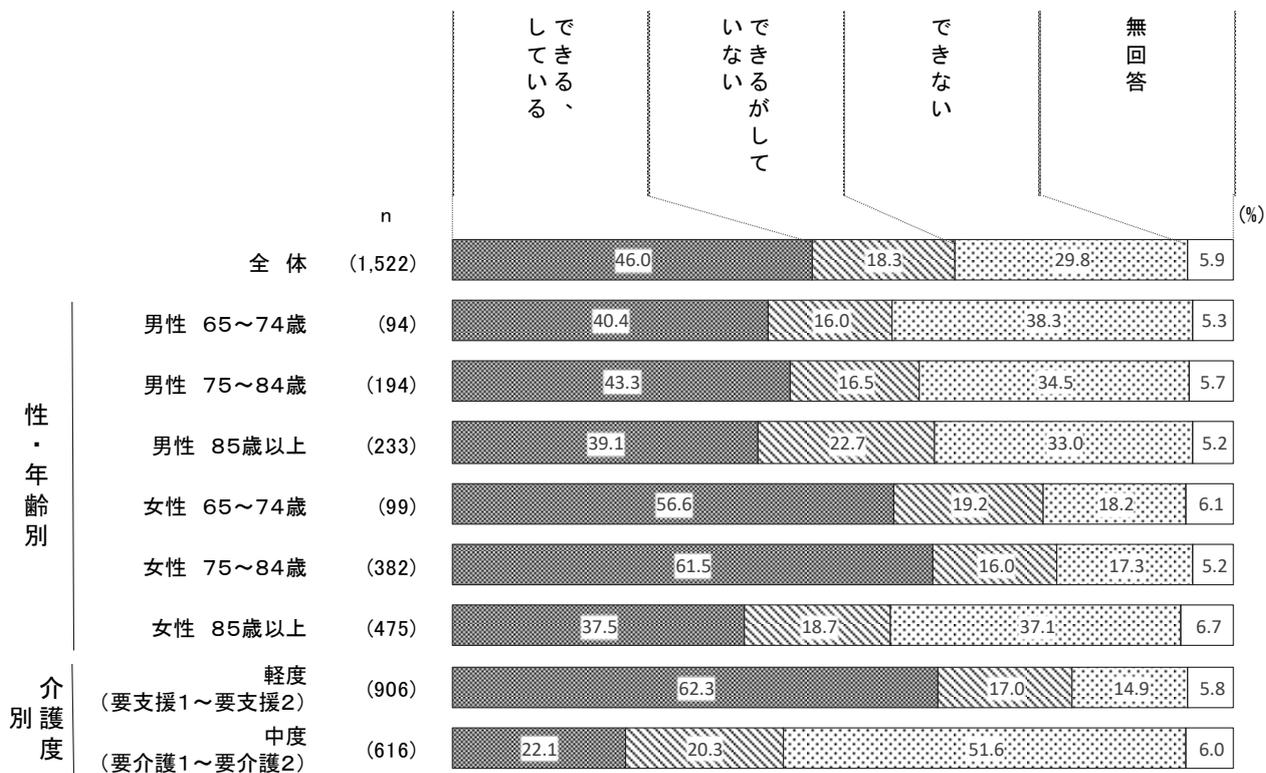
問57 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つだけ〇印)

預貯金の出し入れについて、「できる、している」が46.0%、「できるがしていない」が18.3%で、それらを合わせると<できる>割合は64.3%となっている。一方、「できない」は29.8%であった。



性・年齢別でみると、『女性』は『85歳以上』で「できる、している」が大きく減少している。介護度別でみると、「できない」は『中度』(51.6%)のほうが多くなっている。

○預貯金の出し入れ／性・年齢別、介護度別

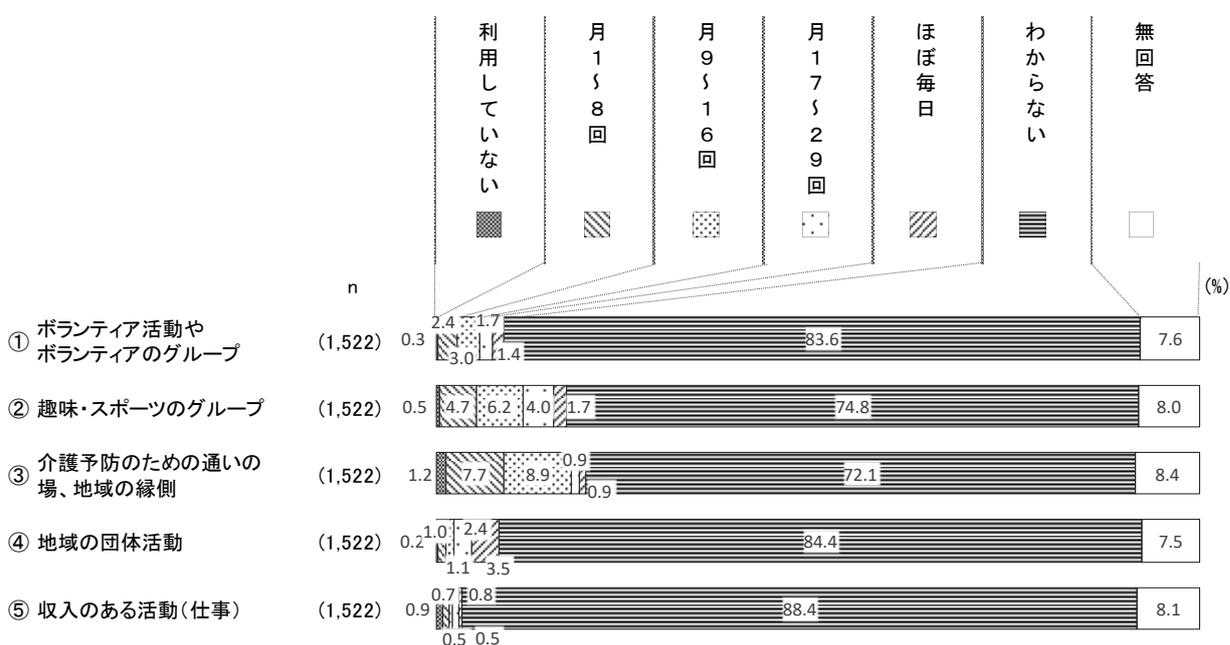


(21) 会・グループ等の参加頻度

問58 次のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(それぞれ1つに○印)

各活動の参加者の割合は以下の通りである。

- ① ボランティア活動やボランティアのグループの参加割合は8.5%であった。
- ② 趣味・スポーツのグループの参加割合は16.6%であった。
- ③ 介護予防のための通いの場、地域の縁側の参加割合は18.4%であった。
- ④ 地域の団体活動の参加割合は8.0%であった。
- ⑤ 収入のある活動(仕事)の参加割合は2.5%であった。



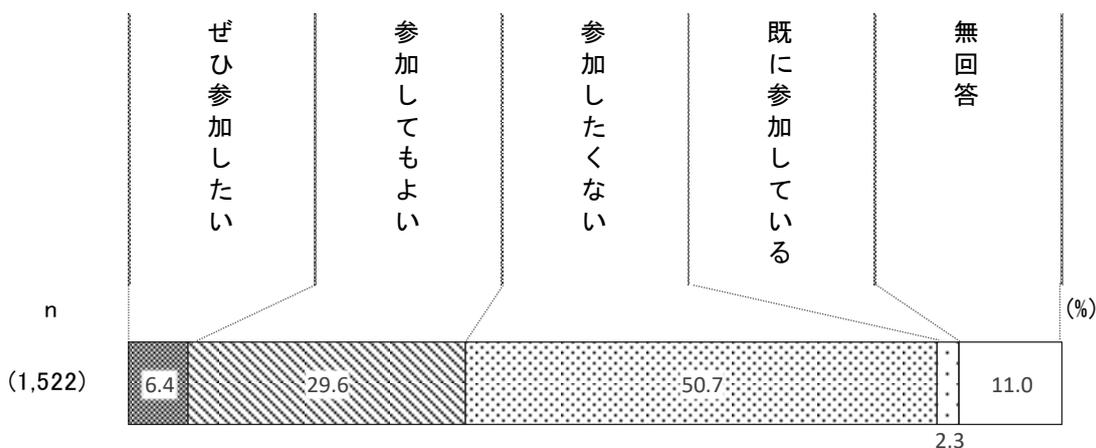
	参加頻度 (%)							参加割合
	利用していない	月1~8回	月9~16回	月17~29回	ほぼ毎日	わからない	無回答	
①ボランティア活動やボランティアのグループ	0.3	2.4	3.0	1.7	1.4	83.6	7.6	8.5
②趣味・スポーツのグループ	0.5	4.7	6.2	4.0	1.7	74.8	8.0	16.7
③介護予防のための通いの場、地域の縁側	1.2	7.7	8.9	0.9	0.9	72.1	8.4	18.3
④地域の団体活動	0.2	1.0	1.1	2.4	3.5	84.4	7.5	7.9
⑤収入のある活動(仕事)	0.9	0.7	0.5	0.8	0.5	88.4	8.1	2.6

※参加割合=100%-「利用していない」-「わからない」-無回答としている。

(22) 地域づくりのためのグループ活動への参加意向 (参加者)

問59 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなた本人はその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つだけ○印)

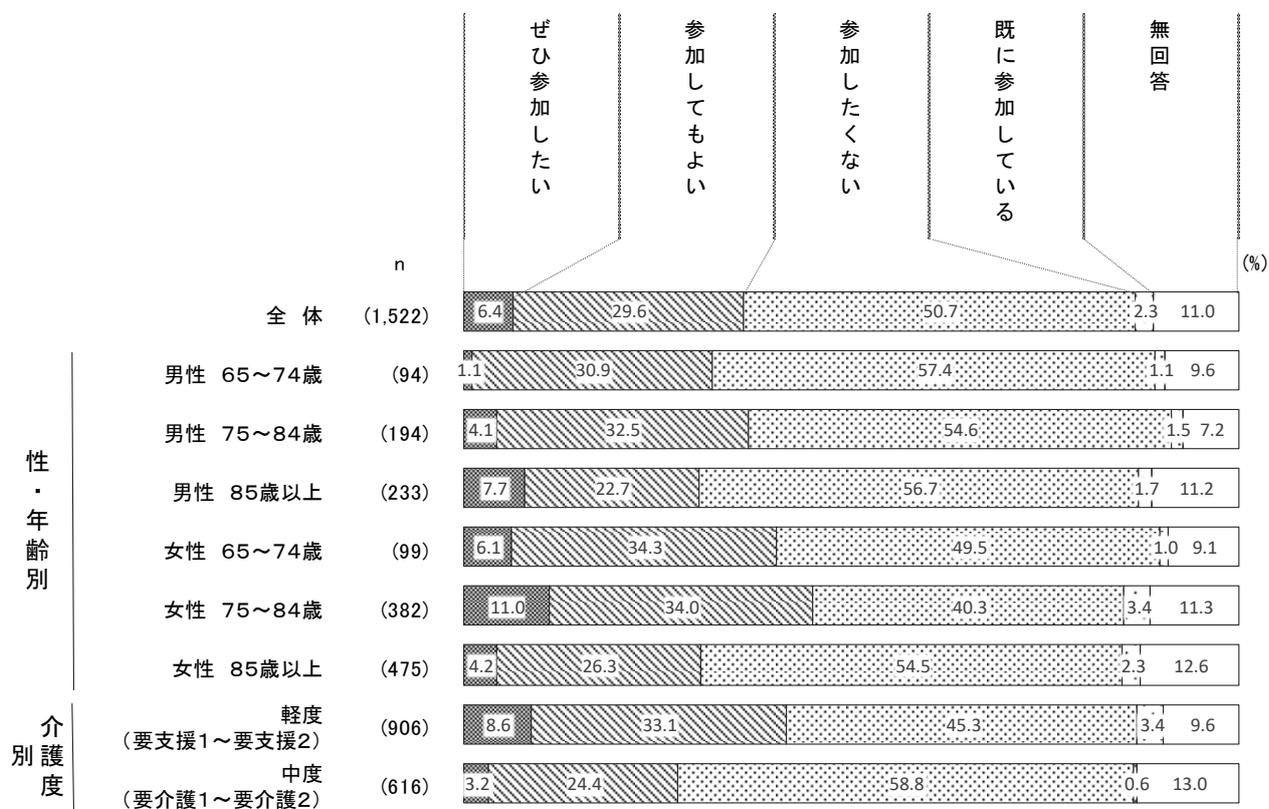
参加者としての地域づくりのためのグループ活動への参加意向は、「ぜひ参加したい」が6.4%、「参加してもよい」が29.6%で、それらを合わせた<参加者としての参加意向者>は36.0%となっている。一方、「参加したくない」は50.7%であった。



性・年齢別で見ると、「ぜひ参加したい」と「参加してもよい」を合わせた<参加者としての参加意向者>の割合は、男女とも『75～84歳』で最も多くなっている。

介護度別で見ると、「ぜひ参加したい」と「参加してもよい」を合わせた<参加者としての参加意向者>の割合は『中度』に比べて『軽度』でより多くなっている。

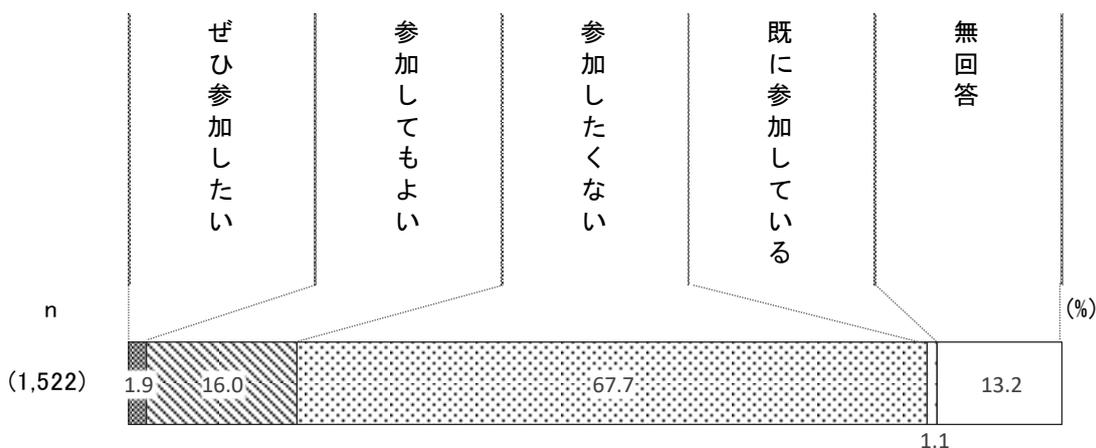
○地域づくりのためのグループ活動への参加意向（参加者）／性・年齢別、介護度別



(23) 地域づくりのためのグループ活動への参加意向（企画・運営）

問60 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなた本人はその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つだけ〇印）

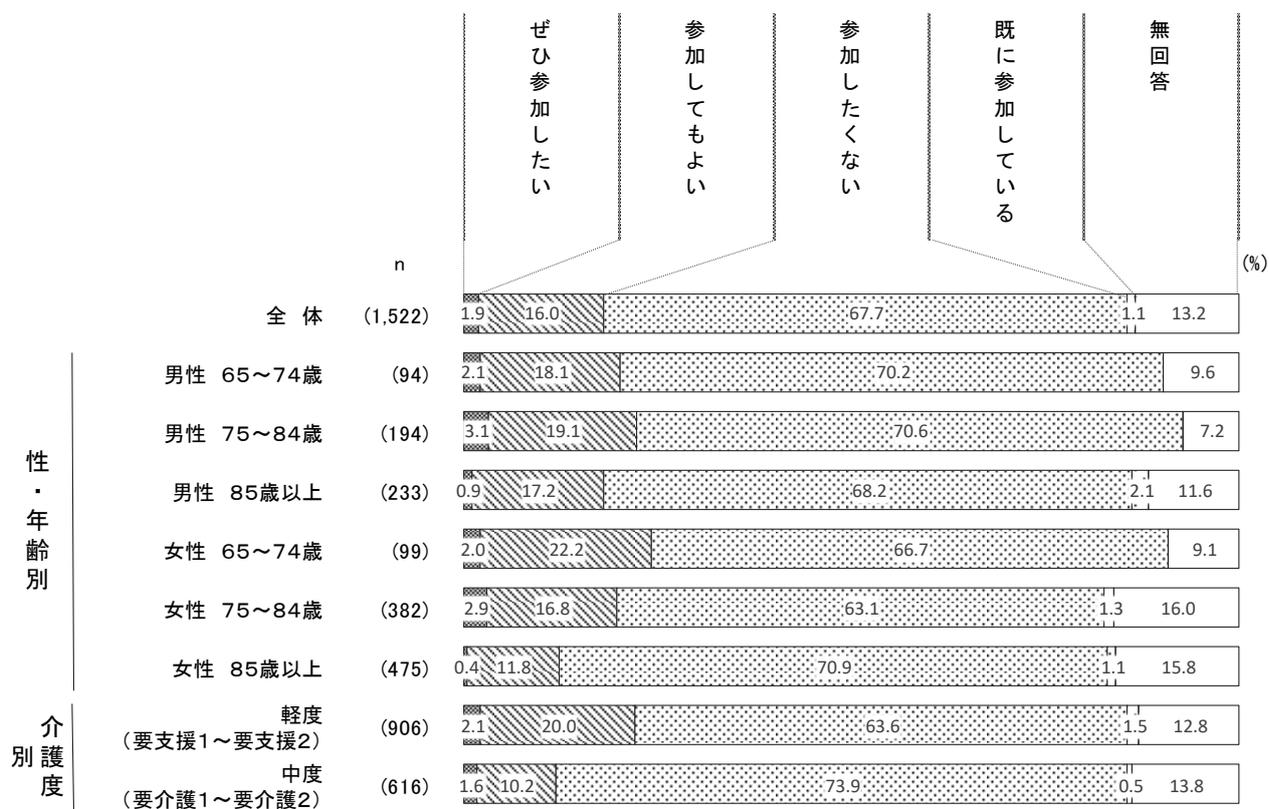
企画・運営としての地域づくりのためのグループ活動への参加意向は、「ぜひ参加したい」が1.9%、「参加してもよい」が16.0%で、それらを合わせた＜企画・運営としての参加意向者＞は17.9%となっている。一方、「参加したくない」は67.7%であった。



性・年齢別で見ると、「ぜひ参加したい」と「参加してもよい」を合わせた＜企画・運営としての参加意向者＞の割合は、『男性』は『75～84歳』、『女性』は『65～74歳』で最も多くなっている。

介護度別で見ると、「ぜひ参加したい」と「参加してもよい」を合わせた＜企画・運営としての参加意向者＞の割合は『中度』に比べて『軽度』でより多くなっている。

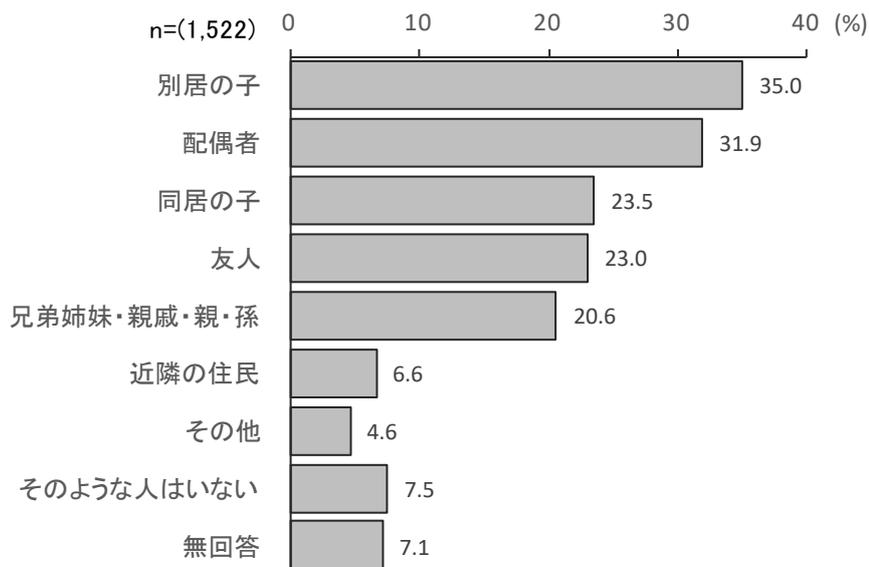
○地域づくりのためのグループ活動への参加意向（企画・運営）／性・年齢別、介護度別



(24) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

問61 あなた本人の心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人を教えてください。（複数回答可）

心配事や愚痴を聞いてくれる人は、「別居の子」が35.0%と最も多く、次いで「配偶者」が31.9%、「同居の子」が23.5%、「友人」が23.0%となっている。一方、「そのような人はいない」は7.5%であった。



世帯構成別にみると、「そのような人はいない」は、『兄弟や姉妹』（21.7%）、『ひとり暮らし』（14.3%）で多くなっている。

○心配事や愚痴を聞いてくれる人／世帯構成別

	調査数 (件)	別居 の子	配偶 者	同居 の子	友人	兄弟 姉妹 ・親 ・孫 ・親	近隣 の住 民
全 体	1522	35.0	31.9	23.5	23.0	20.6	6.6

世帯構成別

ひとり暮らし	385	48.3	0.8	0.3	35.3	26.5	11.2
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	459	39.4	73.2	2.6	21.1	15.0	8.1
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	24	25.0	70.8	16.7	12.5	25.0	4.2
子と同居	347	23.6	22.8	62.5	19.3	15.9	3.2
子ども夫婦との2世帯	179	24.0	20.7	60.3	16.2	23.5	2.8
兄弟や姉妹	23	4.3	0.0	0.0	13.0	65.2	0.0
その他	84	32.1	10.7	11.9	13.1	22.6	3.6

	調査数 (件)	そ の 他	い そ の よ う な 人 は	無 回 答
全 体	1522	4.6	7.5	7.1

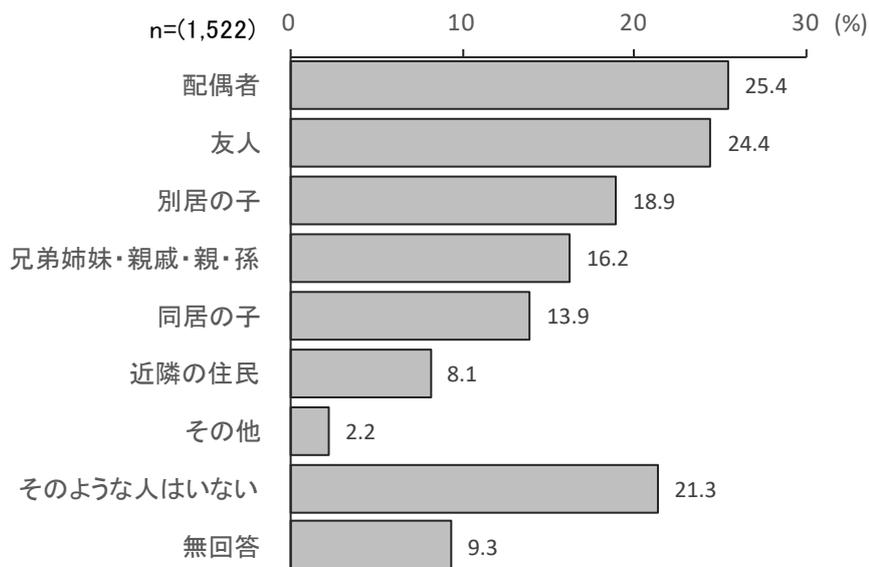
世帯構成別

ひとり暮らし	385	5.2	14.3	6.5
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	459	2.4	4.1	4.4
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	24	4.2	8.3	8.3
子と同居	347	3.5	4.9	8.1
子ども夫婦との2世帯	179	3.9	3.4	7.8
兄弟や姉妹	23	4.3	21.7	8.7
その他	84	21.4	9.5	19.0

(25) 心配事や愚痴を聞いてあげている人

問62 反対に、あなた本人が心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげている人を教えてください。（複数回答可）

心配事や愚痴を聞いてあげている人は、「配偶者」が25.4%と最も多く、次いで「友人」が24.4%、「別居の子」が18.9%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が16.2%となっている。一方、「そのような人はいない」は21.3%であった。



世帯構成別にみると、「そのような人はいない」は、『兄弟や姉妹』（47.8%）、『ひとり暮らし』（25.5%）で多くなっている。

○心配事や愚痴を聞いてあげている人／世帯構成別

	調査数 (件)	配偶者	友人	別居の子	戚兄弟・親・姉妹・孫・親	同居の子	近隣の住民
全体	1522	25.4	24.4	18.9	16.2	13.9	8.1

世帯構成別

ひとり暮らし	385	0.5	36.4	27.0	17.9	0.8	15.1
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	459	60.8	23.7	19.8	15.5	2.2	7.6
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	24	54.2	20.8	33.3	16.7	12.5	4.2
子と同居	347	15.6	20.5	15.6	15.0	38.9	5.5
子ども夫婦との2世帯	179	16.8	13.4	9.5	16.2	28.5	3.9
兄弟や姉妹	23	0.0	17.4	0.0	26.1	0.0	0.0
その他	84	7.1	19.0	14.3	13.1	8.3	3.6

	調査数 (件)	その他	いその ない ような 人は	無 回 答
全体	1522	2.2	21.3	9.3

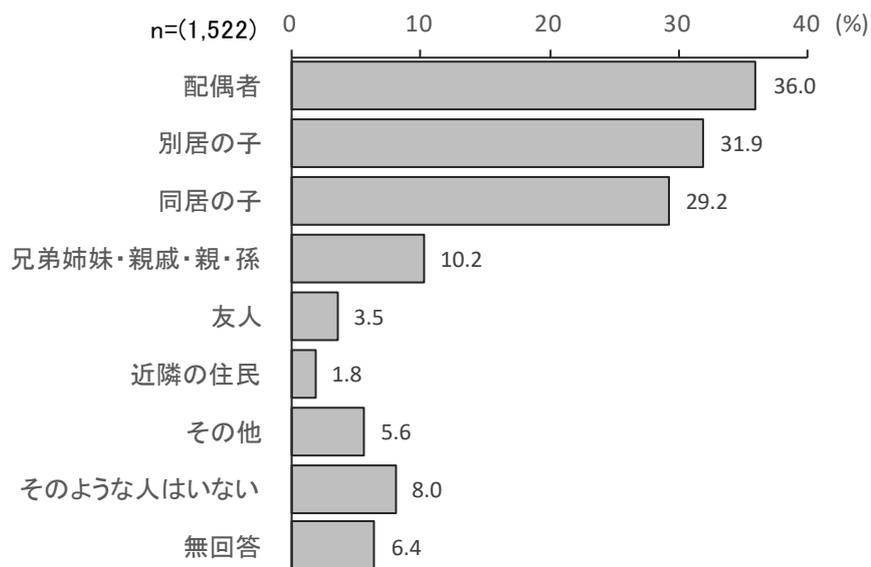
世帯構成別

ひとり暮らし	385	1.6	25.5	8.3
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	459	0.4	13.3	6.8
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	24	0.0	16.7	12.5
子と同居	347	3.7	19.3	8.4
子ども夫婦との2世帯	179	1.1	29.1	11.2
兄弟や姉妹	23	4.3	47.8	21.7
その他	84	10.7	29.8	22.6

(26) 看病や世話をしてくれる人

問63 あなた本人が病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人を教えてください。(複数回答可)

看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」が36.0%と最も多く、次いで「別居の子」が31.9%、「同居の子」が29.2%となっている。一方、「そのような人はいない」は8.0%であった。



世帯構成別にみると、「そのような人はいない」は、『ひとり暮らし』(22.9%)で多くなっている。

○看病や世話をしてくれる人／世帯構成別

	調査数 (件)	配偶者	別居の子	同居の子	戚兄弟・親・姉妹・孫・親	友人	近隣の住民
全体	1522	36.0	31.9	29.2	10.2	3.5	1.8

世帯構成別

ひとり暮らし	385	0.3	52.2	0.8	16.6	8.1	4.2
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	459	83.4	35.9	3.9	4.6	3.3	1.5
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	24	79.2	29.2	16.7	12.5	0.0	4.2
子と同居	347	26.8	18.4	75.2	8.6	1.4	0.6
子ども夫婦との2世帯	179	22.9	15.6	77.7	3.9	0.6	0.0
兄弟や姉妹	23	0.0	4.3	0.0	78.3	0.0	0.0
その他	84	6.0	15.5	15.5	10.7	1.2	2.4

	調査数 (件)	その他	いそ ない い よ う な 人 は	無 回 答
全体	1522	5.6	8.0	6.4

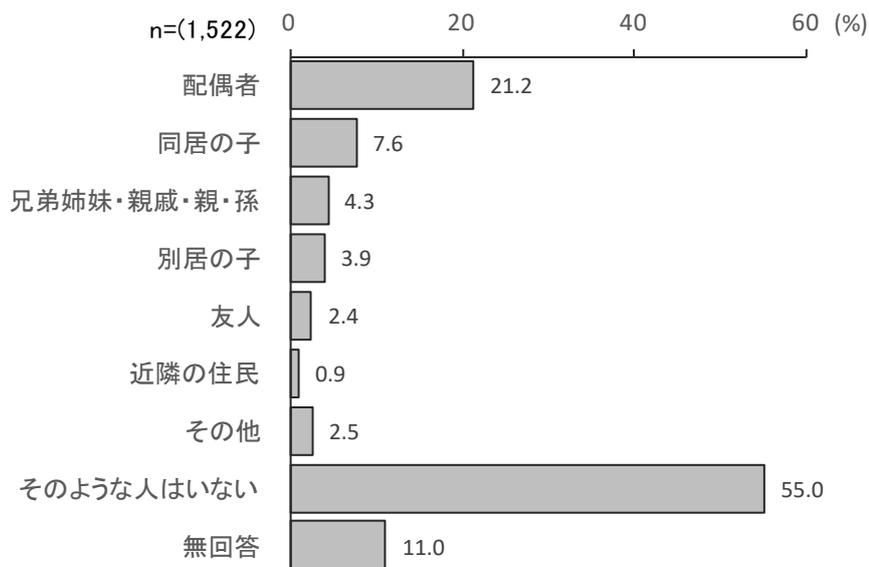
世帯構成別

ひとり暮らし	385	5.5	22.9	5.7
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	459	0.7	3.1	4.1
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	24	0.0	0.0	8.3
子と同居	347	3.2	3.2	6.9
子ども夫婦との2世帯	179	5.0	1.1	6.1
兄弟や姉妹	23	4.3	8.7	8.7
その他	84	46.4	3.6	17.9

(27) 看病や世話をしている人

問64 反対に、あなた本人が看病や世話をしている人を教えてください。(複数回答可)

看病や世話をしている人は、「配偶者」が21.2%と最も多く、次いで「同居の子」が7.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が4.3%となっている。一方、「そのような人はいない」は55.0%と半数以上を占める。



世帯構成別にみると、「そのような人はいない」は、『ひとり暮らし』(72.5%)、『子ども夫婦との2世帯』(61.5%)、『子と同居』(56.8%)、『兄弟や姉妹』(52.2%) で多くなっている。

○看病や世話をしている人／世帯構成別

	調査数 (件)	配偶者	同居の子	兄弟姉妹・親 ・親・孫	別居の子	友人	近隣の住民
全体	1522	21.2	7.6	4.3	3.9	2.4	0.9

世帯構成別

ひとり暮らし	385	0.5	0.8	4.4	4.9	4.7	1.3
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	459	49.5	2.4	3.3	5.0	1.7	1.5
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	24	50.0	12.5	16.7	20.8	4.2	0.0
子と同居	347	11.2	21.9	2.3	2.0	1.7	0.3
子ども夫婦との2世帯	179	17.9	10.1	4.5	2.2	0.0	0.0
兄弟や姉妹	23	0.0	0.0	30.4	0.0	0.0	0.0
その他	84	7.1	4.8	7.1	2.4	2.4	0.0

	調査数 (件)	その他	いそ のよ うな 人は	無 回 答
全体	1522	2.5	55.0	11.0

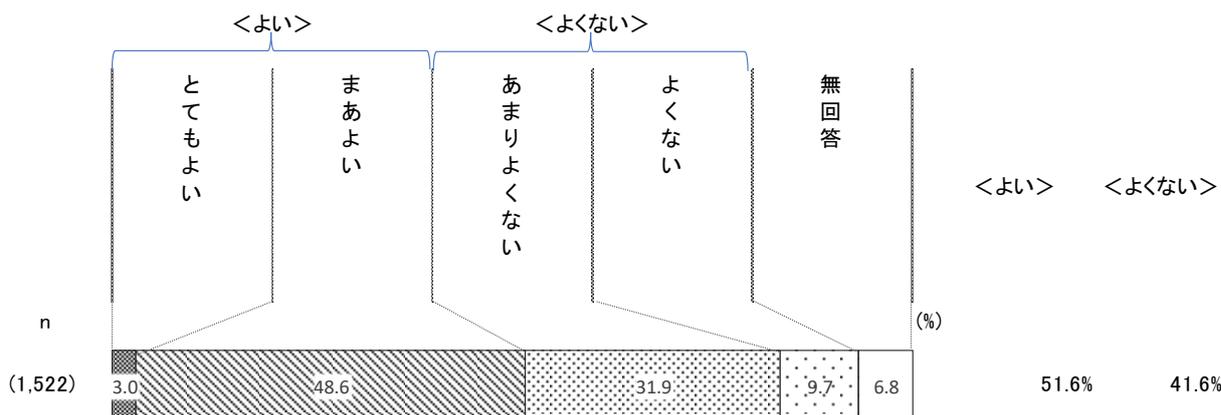
世帯構成別

ひとり暮らし	385	1.8	72.5	12.2
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	459	2.8	37.0	8.9
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	24	0.0	25.0	12.5
子と同居	347	2.3	56.8	10.7
子ども夫婦との2世帯	179	1.1	61.5	10.1
兄弟や姉妹	23	8.7	52.2	13.0
その他	84	7.1	63.1	16.7

(28) 健康状態

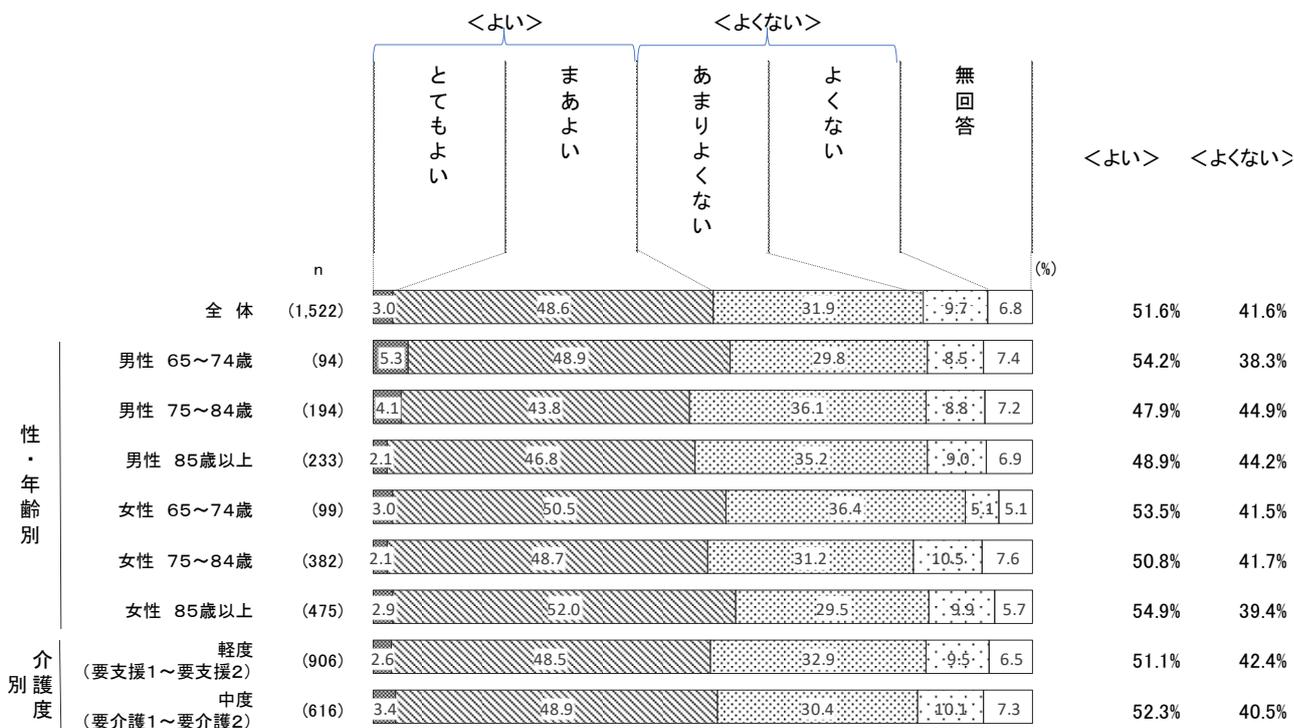
問65 現在のあなた本人の健康状態はいかがですか。(1つだけ○印)

健康状態は、「とてもよい」が3.0%、「まあよい」が48.6%で、それらを合わせた<状態がよい>割合は51.6%となっている。一方、「あまりよくない」は31.9%、「よくない」は9.7%で、それらを合わせた<状態がよくない>割合は41.6%であった。



性・年齢別でみると、<状態がよい>割合は男女とも『75～84歳』が少なくなっている。

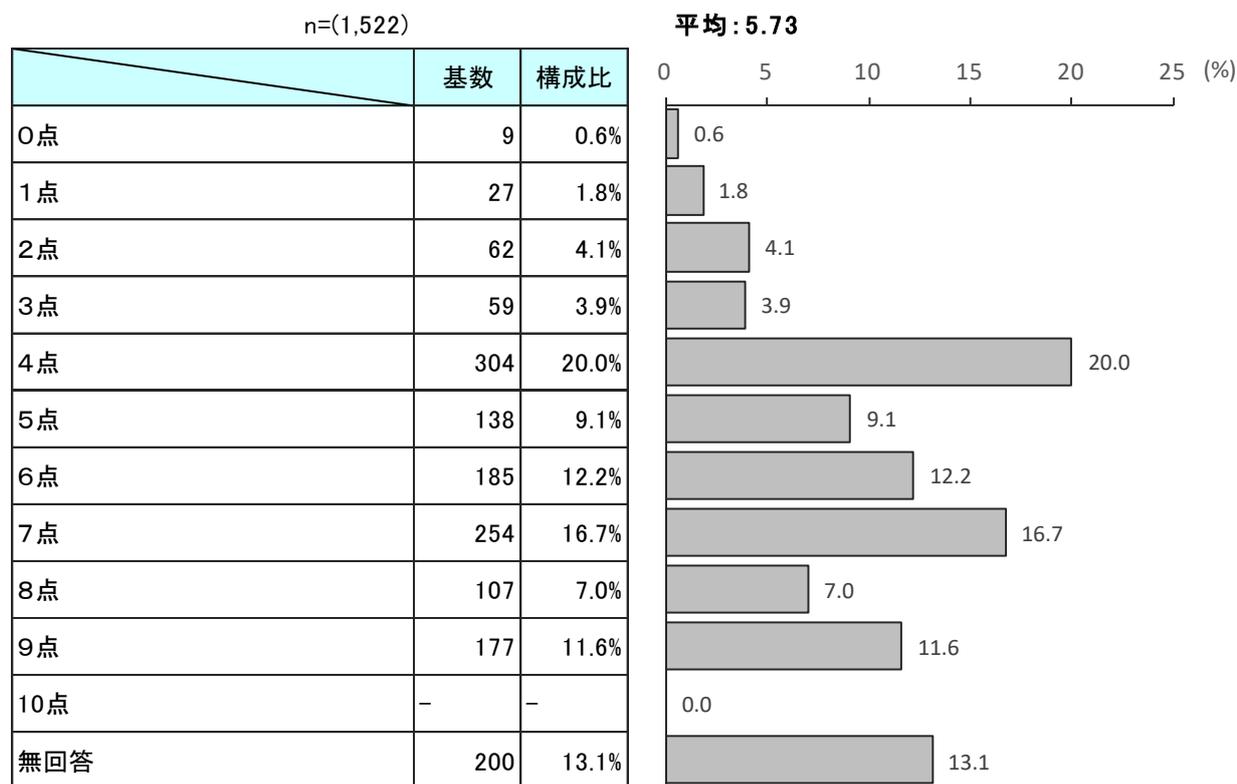
○健康状態／性・年齢別、介護度別



(29) 幸福度

問66 あなた本人は、現在どの程度幸せですか。
 (1つだけ○印。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご回答ください。)

幸福度を「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点とした点数をたずねたところ、「4点」が20.0%と最も多く、次いで「7点」が16.7%、「6点」が12.2%となっており、平均は5.73点であった。



性・年齢別に平均点数をみると、男女とも『85歳以上』が最も高く、『男性85歳以上』が5.75、『女性85歳以上』が6.01となっている。一方、『男性65～74歳』は最も平均点数が低く4.72となっている。

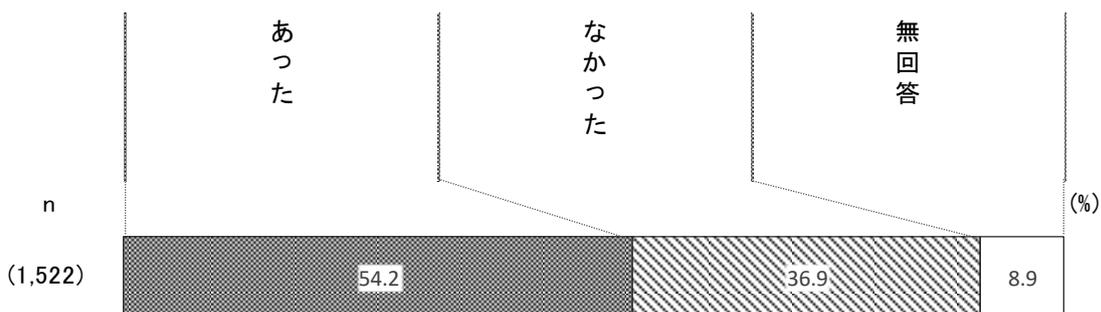
介護度別に平均点数をみると、『軽度』は5.84、『中度』5.55となっており、やや『軽度』の方が高い。

		n	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均
全体		(1,522)	0.6	1.8	4.1	3.9	20.0	9.1	12.2	16.7	7.0	11.6	-	13.1	5.73
性・年齢別	男性 65～74歳	(94)	1.1	5.3	8.5	3.2	25.5	11.7	6.4	13.8	3.2	4.3	-	17.0	4.72
	男性 75～84歳	(194)	-	2.1	4.1	3.6	25.3	12.4	14.9	11.3	3.6	7.7	-	14.9	5.31
	男性 85歳以上	(233)	0.4	1.3	4.7	3.0	19.7	9.9	13.3	14.6	6.4	12.4	-	14.2	5.75
	女性 65～74歳	(99)	1.0	-	4.0	3.0	20.2	7.1	15.2	16.2	6.1	13.1	-	14.1	5.87
	女性 75～84歳	(382)	1.0	1.3	3.4	4.2	19.4	7.3	12.8	20.2	8.4	10.2	-	11.8	5.80
	女性 85歳以上	(475)	0.2	1.7	2.7	4.6	18.3	8.4	11.2	17.5	8.8	15.2	-	11.4	6.01
度介護別	軽度(要支援1～要支援2)	(906)	0.6	1.8	4.0	3.4	19.6	9.4	12.5	17.9	7.6	13.1	-	10.2	5.84
	中度(要介護1～要介護2)	(616)	0.6	1.8	4.2	4.5	20.5	8.6	11.7	14.9	6.2	9.4	-	17.5	5.55

(30) うつ傾向 (気分が沈んだり、ゆううつな気持ち)

問67 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

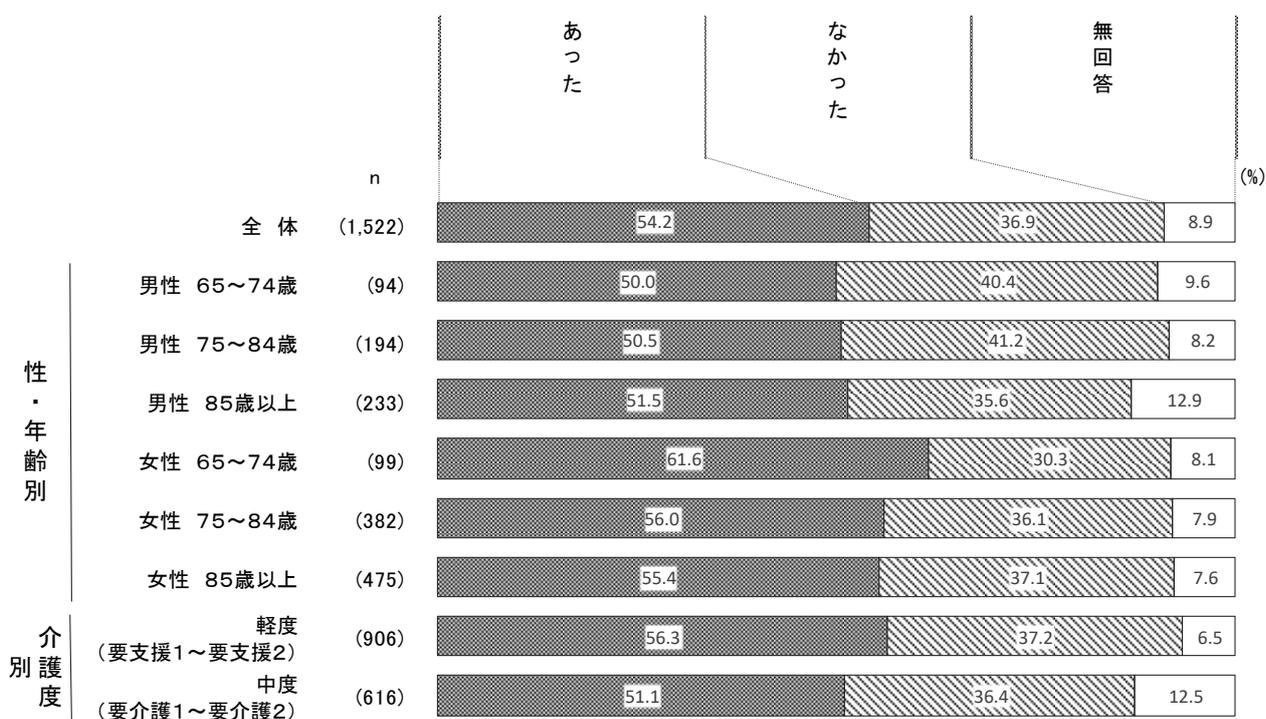
この1か月間に気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることが「あった」が54.2%、「なかった」が36.9%となっている。



性・年齢別でみると、「あった」は『男性』に比べて『女性』で多く、特に『女性65～74歳』で61.6%と多くなっている。

介護度別でみると、「あった」は『中度』に比べて『軽度』でより多くなっている。

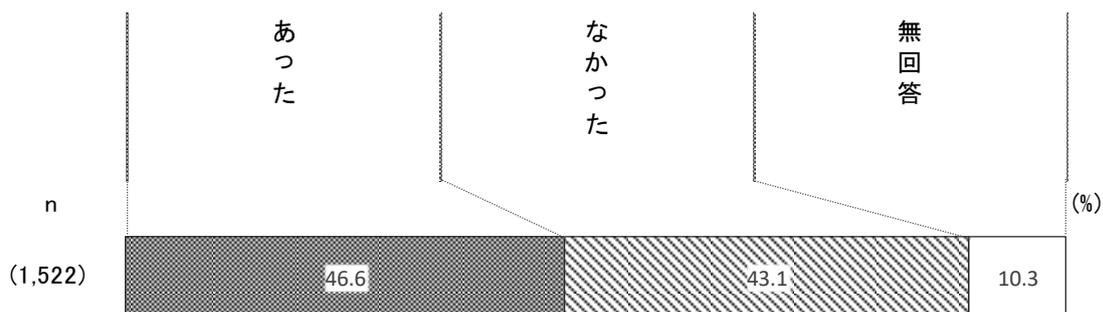
○うつ傾向 (気分が沈んだり、ゆううつな気持ち) / 性・年齢別、介護度別



(31) うつ傾向（興味がわかない、楽しめない感じ）

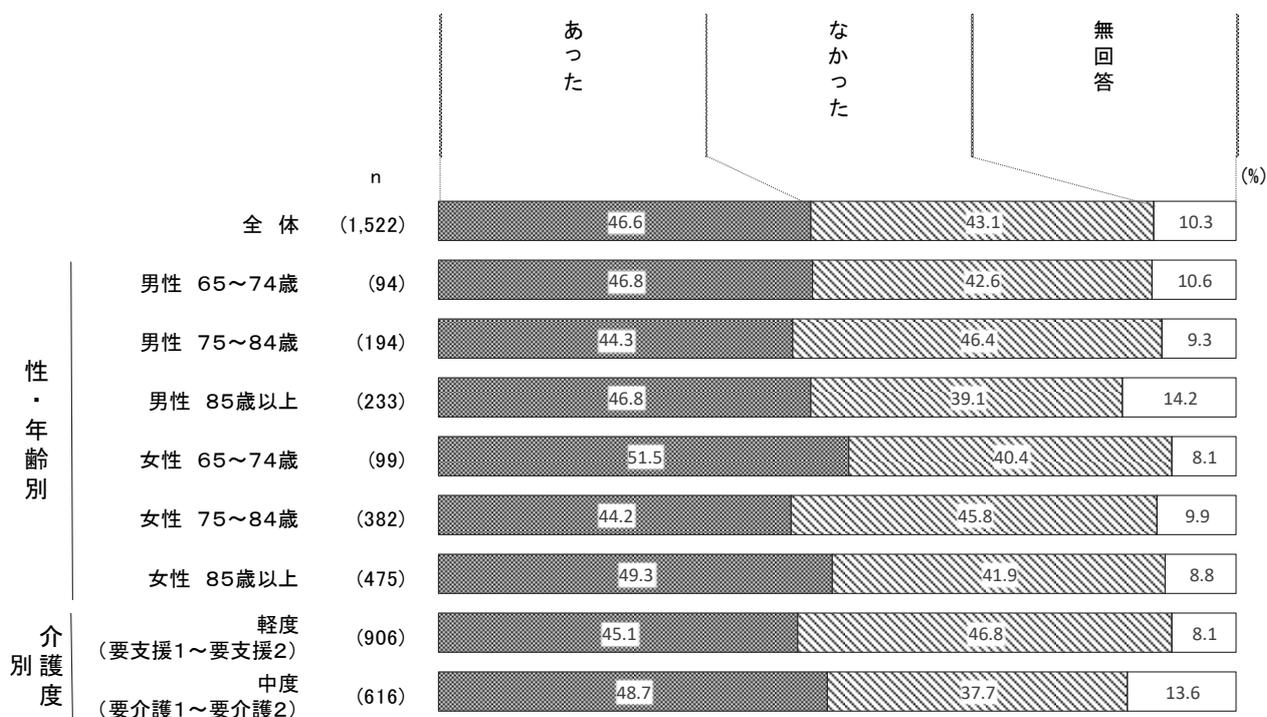
問68 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

この1か月間どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じが「あった」が46.6%、「なかった」が43.1%となっている。



性・年齢別でみると、「あった」は『女性65～74歳』で51.5%と最も多くなっている。介護度別でみると、「あった」は『軽度』に比べて『中度』でより多くなっている。

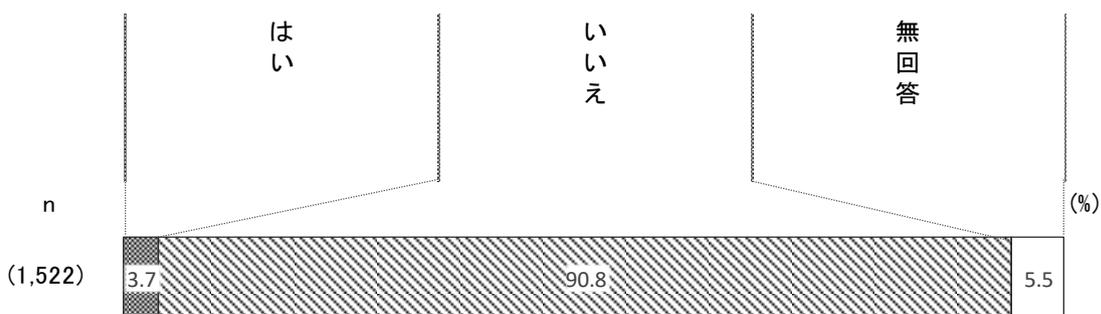
○うつ傾向（興味がわかない、楽しめない感じ）／性・年齢別、介護度別



(32) 喫煙状況

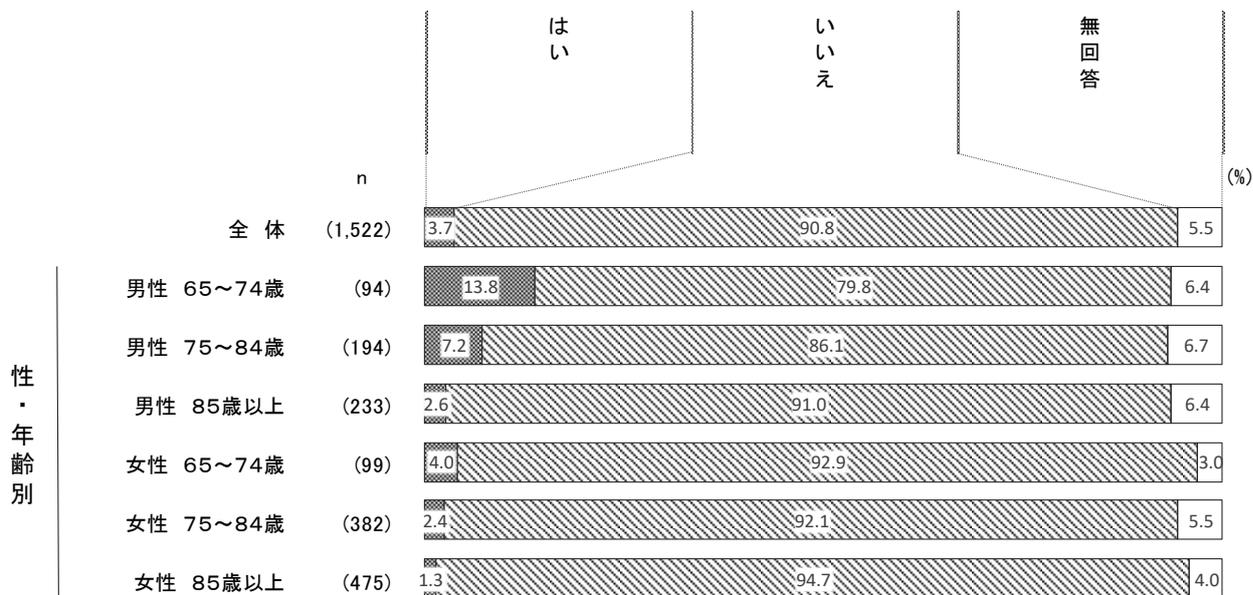
問69 タバコは吸っていますか。

喫煙状況は、「いいえ」(喫煙していない)が90.8%と多数を占め、「はい」(喫煙している)は3.7%となっている。



性・年齢別でみると、「はい」(喫煙している)は男女とも若い層ほど多く、『男性65～74歳』で13.8%、『女性65～74歳』で4.0%となっている。喫煙割合は年齢によらず、『男性』のほうが多い。

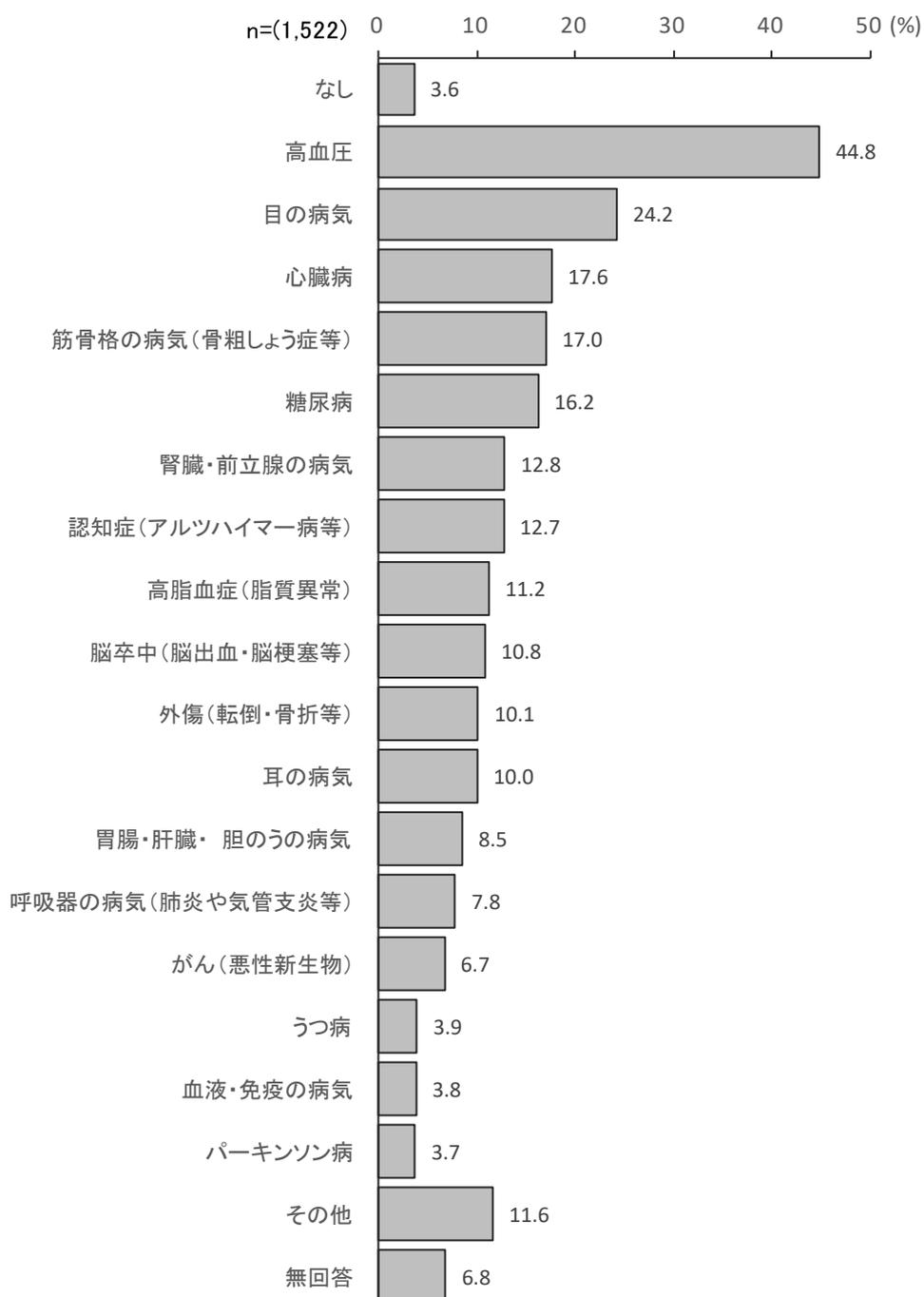
○喫煙状況／性・年齢別



(33) 現在治療中、後遺症の病気

問70 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(複数選択可)

現在治療中、または後遺症のある病気は、「高血圧」が44.8%と最も多く、以下「目の病気」が24.2%、「心臓病」が17.6%、「筋骨格の病気(骨粗しょう症等)」が17.0%、「糖尿病」が16.2%と続いている。一方、「なし」は3.6%であった。



第2章 調査結果の詳細

性・年齢別でみると、男女各年齢層とも「高血圧」が最も多く3割以上となっており、「目の病気」と「心臓病」は男女とも高齢層ほど多くなっている。また性別で比較すると、「筋骨格の病気（骨粗しょう症等）」は『女性』、「腎臓・前立腺の病気」は『男性』で多くみられる。

○現在治療中、後遺症の病気／性・年齢別

	調査数 (件)	なし	高血圧	目の病気	心臓病	等（筋骨格の病気しょう症）	糖尿病	病腎臓・前立腺の
全体	1522	3.6	44.8	24.2	17.6	17.0	16.2	12.8

性・年齢別

男性 65～74歳	94	4.3	45.7	11.7	12.8	5.3	19.1	16.0
男性 75～84歳	194	1.5	36.1	19.6	15.5	5.2	23.2	23.7
男性 85歳以上	233	3.4	47.2	21.0	27.5	9.4	18.9	32.2
女性 65～74歳	99	4.0	42.4	21.2	10.1	14.1	20.2	2.0
女性 75～84歳	382	3.9	42.1	27.7	12.3	23.8	16.0	6.0
女性 85歳以上	475	4.2	50.1	28.0	20.6	24.0	10.9	5.9

	調査数 (件)	ハ認イ知マ―症（アルツ）	異常脂血症（脂質）	血脳・卒中（脳梗塞等）	折外傷（転倒・骨）	耳の病気	胆胃腸のう・肝臓病・	炎（呼吸器の病気や気管支）
全体	1522	12.7	11.2	10.8	10.1	10.0	8.5	7.8

性・年齢別

男性 65～74歳	94	7.4	10.6	34.0	8.5	6.4	5.3	8.5
男性 75～84歳	194	16.0	6.7	18.6	7.7	12.4	8.8	13.4
男性 85歳以上	233	15.9	9.4	9.0	6.9	12.9	10.7	10.3
女性 65～74歳	99	4.0	13.1	14.1	6.1	6.1	10.1	9.1
女性 75～84歳	382	8.9	13.1	7.1	12.0	7.1	8.9	5.8
女性 85歳以上	475	16.0	12.4	5.5	12.8	11.6	7.8	6.1

	調査数 (件)	物がん（悪性新生）	うつ病	気血液・免疫の病	パーキンソン病	その他	無回答
全体	1522	6.7	3.9	3.8	3.7	11.6	6.8

性・年齢別

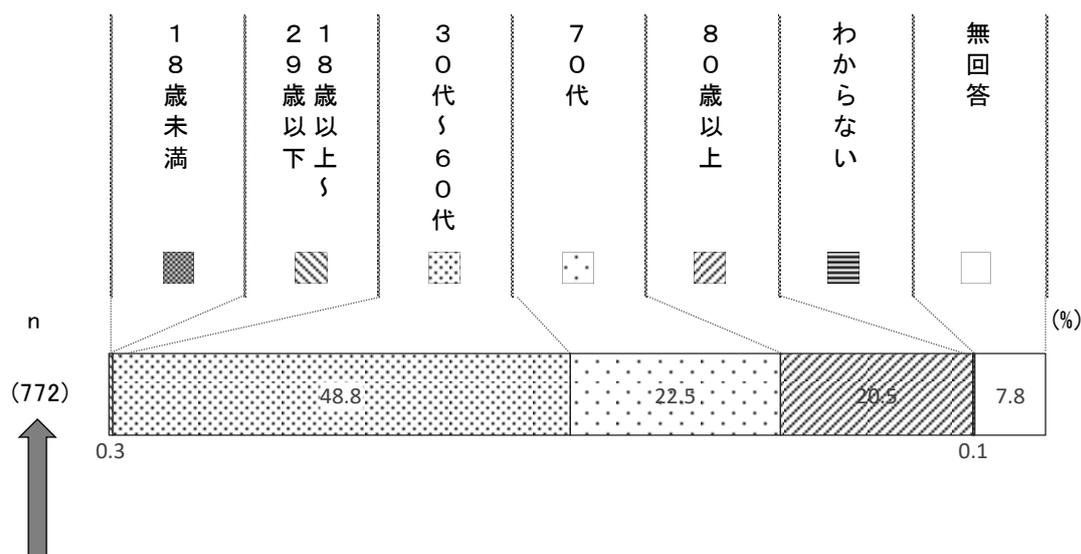
男性 65～74歳	94	6.4	8.5	2.1	7.4	17.0	8.5
男性 75～84歳	194	13.9	2.6	4.1	5.7	9.8	7.2
男性 85歳以上	233	6.4	0.9	2.1	1.7	8.6	6.4
女性 65～74歳	99	9.1	12.1	6.1	10.1	16.2	8.1
女性 75～84歳	382	6.5	4.2	6.0	3.7	15.4	6.3
女性 85歳以上	475	3.2	2.5	2.5	1.9	8.0	6.3

5. 主な介護者について

(1) 主な介助者の年齢

問71 主な介護者の方の年齢をご回答ください。(令和4年10月1日時点の満年齢)

主な介護・介助者の年齢は、「30代～60代」が48.8%で最も多く、次いで「70代」が22.5%、「80代」が20.5%となっている。



【参考】問7 主に介護・介助を受けている方の属性 (1つだけ○印)

	配偶者	子	子の配偶者	孫	あなたの兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答
回答数	345	354	48	5	20	333	164	54
構成比(%)	26.1	26.8	3.6	0.4	1.5	25.2	12.4	4.1

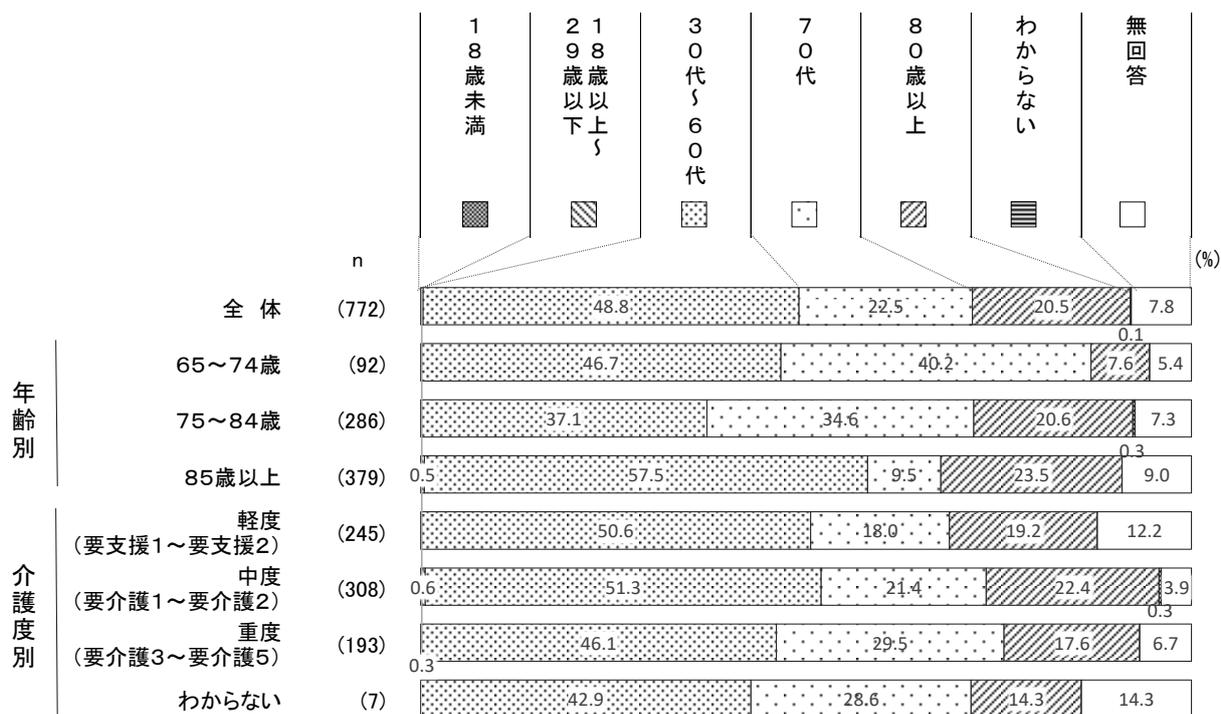
主な介護者の設問は、問7 (13頁) で主な介護・介助者の続柄が「配偶者」「子」「子の配偶者」「孫」「あなたの兄弟・姉妹」のいずれかに回答された772人の方 (主な介護・介助者) の状況をお伺いした。

第2章 調査結果の詳細

ご本人の年齢別でみると、「70代」は『65～74歳』が40.7%、『75～84歳』が34.6%と3割以上を占めるが、『85歳以上』では9.5%と少ない。一方、「80歳以上」は『65～74歳』で7.6%と少ない。また、「30代～60代」の割合は『85歳以上』が57.5%と最も多くなっている。

介護度別でみると、介護度が重くなるにつれて「30代～60代」の割合が少なくなり、「70代」の割合が多くなる傾向にある。

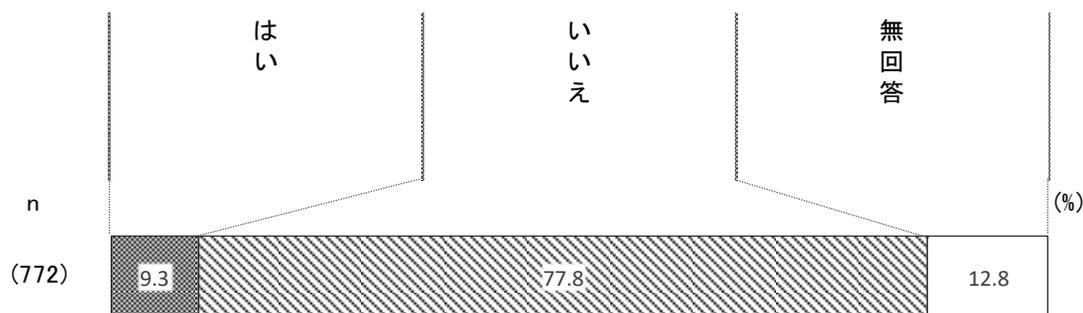
○主な介護者の年齢／（ご本人の）年齢別、介護度別



(2) 主な介護者の「ダブルケア」の状況

問72 主な介護者の方は、「ダブルケア」の状況にありますか。同居・別居は問いません。
 ※「ダブルケア」とは、未就学の子（孫）などの育児等をしつつ、親（義親）あるいは親族の介護を同時に担う状況にあることをいいます。

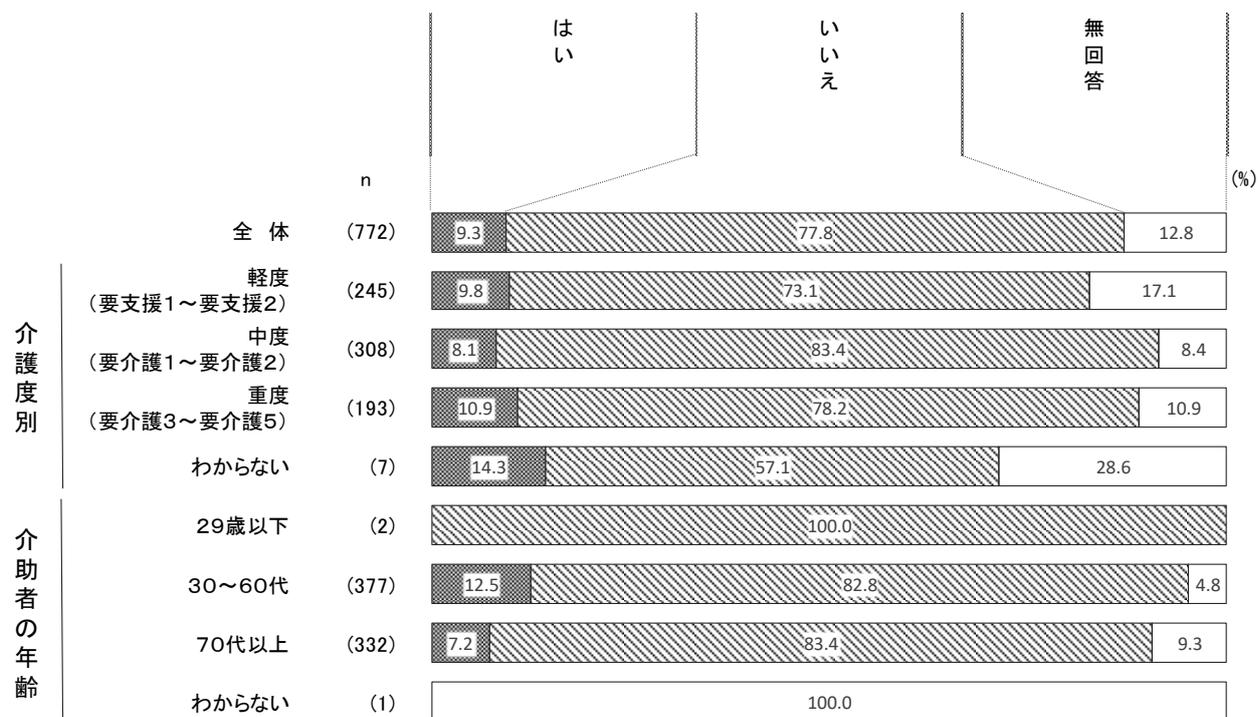
主な介護者の「ダブルケア」の状況は、「はい」が9.3%、「いいえ」が77.8%となっている。



介護度別でみると、『軽度』『中度』『重度』とも、ダブルケアの状況にある割合は、1割前後となっている。

介助者の年齢別でみると、ダブルケアの状況にある割合は、『30～60代』で1割前後となっている。

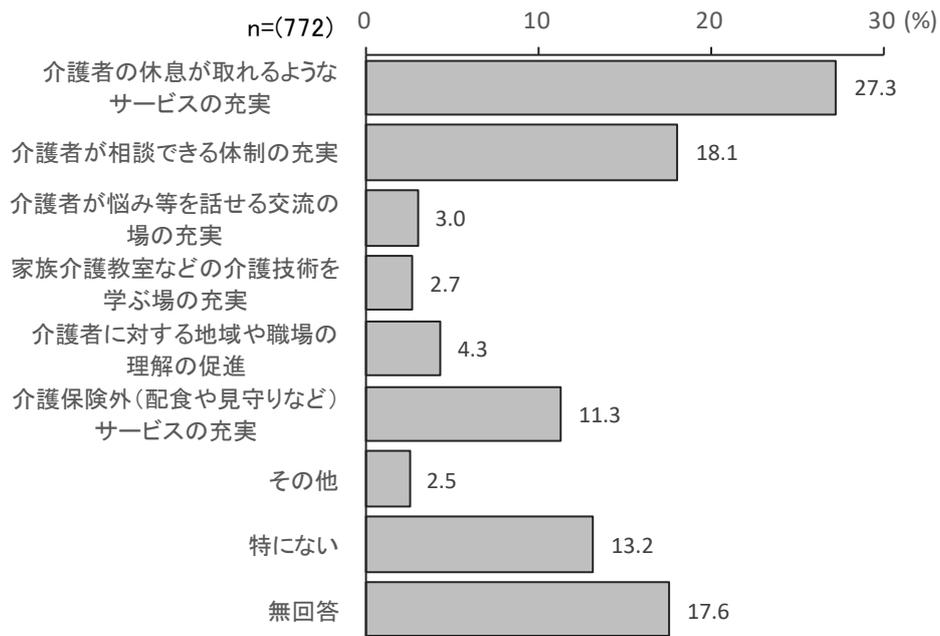
○主な介護者の「ダブルケア」の状況／介護度別、介助者の年齢別



(3) 市へ最も望む支援

問73 主な介護者の方が、市へ最も望む支援は何ですか。(1つだけ○印)

市へ最も望む支援は、「介護者の休息が取れるようなサービスの充実」が27.3%、「介護者が相談できる体制の充実」が18.1%、「介護保険外（配食や見守りなど）サービスの充実」が11.3%となっている。一方、「特にない」は13.2%みられる。



(4) 自由意見

問74 主な介護者の方から、本市の介護保険行政に対して、ご意見・ご要望があれば、どのようなことでもかまいませんので、ご自由にご記入ください。

意見・要望等の自由回答欄には、回答者（主な介護者）772人のうち、279人（記入の割合36.1%）の方に記入いただいた。本報告書では、紙面の都合上すべてを掲載することができないため、その一部を抜粋した。掲載内容は、恣意的な解釈が入らないよう、できる限り原文に近い表記とさせていただいた。

内容	件数
家族等介護者に関すること	56
介護サービスに関すること	31
特別養護老人ホームなどの施設に関すること	29
相談窓口・情報提供に関すること	26
介護人材（ケアマネジャー、ヘルパーを含む）に関すること	24
介護福祉行政・まちづくりに関すること	21
アンケート調査に関すること	20
介護保険料・利用料に関すること	20
介護保険制度（認定手続きを含む）に関すること	17
その他	48

※1人で複数の記載があるため、件数の合計と記入者数は一致しない。

【家族等介護者に関すること】

介護の負担が増えてサービス費は増えるけど、仕事を休まなければならなく、収支のバランスが保てない。また休まなくて良い場合も給料は変わらないので、サービスを増やす事が出来ない。

介護者が、色々な悩みを聞いてもらえる場が欲しい。

【介護サービスに関すること】

今よりもっと気軽に手軽にショートステイやデイサービスを利用できるようになると、仕事を続けながら介護を続けることができる。

デイサービスの中味の充実、ショートステイ施設の充実、数を増やして選択を多くして欲しい。

【特別養護老人ホームなどの施設に関すること】

低額での老人ホームなどの介護施設が必要に応じてすぐ入所対応していただけるような体制にしていきたい。

ショートステイが出来る施設を増やしてほしい。気軽に利用出来ることも。

第2章 調査結果の詳細

【相談窓口・情報提供に関すること】

LINEとかで気軽に相談できたり、アドバイスもらえたりできたら嬉しいです。電話だと相談するのにハードルが高くなる。

介護保険行政の内容を、もっと知らせてもらいたい。

【介護人材（ケアマネジャー、ヘルパーを含む）に関すること】

介護職員の方は重労働です。もっと給料を上げる様、国に要望して下さい。

ケアマネジャーがついてくださっているので安心です。

【介護福祉行政・まちづくりに関すること】

駅までの道路や歩道の整備（車椅子で使用したいのですが、とっても危険です）

海外でみられる身体障害者が外出しやすい道路や公共機関の整備の充実を考えて欲しい。外出先での手助け等も充実して欲しい。

【アンケート調査に関すること】

本アンケート自体が無作為とはいえ、高齢者に対するアンケートを行うことに無理がある。介護支援者が記載することになるので、介護される方、例えば要介護2-5の人にアンケートができる訳がない。アンケートをやるなら、介護する施設側の意見を取り入れてやった方が充実すると思う。

アンケートは良いが、質問の量をもう少し減らして欲しい。

【介護保険料・利用料に関すること】

財源などが厳しくなるとは思いますが、現状の介護サービス（質）費用負担を、維持できるよう願っております。

介護保険料がアップして少ない年金がますます少なくなってしまうと嘆いています。介護保険料を上げないで下さい。

【介護保険制度（認定手続きを含む）に関すること】

介護保険は認知症に対しての支援が厚く、身体障害者の支援については、少し足りない様に感じます。

介護認定の申請をしてから決定までに、かなりの時間（日数）がかかっていますが、もう少し早くできないでしょうか。

資料編 調査票

藤 沢 市

介護保険サービス 利用状況調査

ご協力をお願い

令和5年4月に介護保険制度は24年目を迎えます。藤沢市では、制度の運営にあたり、要介護(要支援)認定を受けられた方の介護保険サービスの利用実態を把握し、今後の介護保険制度の運営及び介護保険事業計画の改訂に向け、適切な対応を図ってまいりたいと考えております。

そこで、介護保険サービスについての利用状況調査を実施することにいたしました。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきまして、ご協力をお願い申し上げます。

令和4年10月

藤沢市長 鈴木恒夫

● 注意事項(アンケートの記入に際して)

- 1 このアンケート調査の対象者は、令和4年8月1日時点において、要介護(要支援)認定を受けている方の中から、無作為に抽出した約3,000人の方々です。
- 2 お答えは、当てはまる回答番号に指定された数だけ○印をしてください。また、「その他()」と回答される場合には、()の中に具体的にその内容をご記入ください。
- 3 1ページから最後まで、質問順にお答えください。
また、※の指示に注意してご記入ください。
- 4 調査対象者ご本人様の状況により、回答が難しい項目については、無回答(空欄)でかまいません。
- 5 質問中の「ケアマネジャー」は、要支援1及び要支援2の方のケアプランを作成している、いきいきサポートセンター(地域包括支援センター)の職員などの方も含まれます。
- 6 質問中「訪問看護」などの各サービス名称は、要支援1及び要支援2の方については「介護予防訪問看護」、「訪問介護」は「介護予防訪問型サービス」(介護予防・日常生活支援総合事業)など、介護予防を目的としたサービス名を含みます。
- 7 提出期限: **10月31日(月)まで**に同封の返信用封筒に入れてポストにご投函ください。

ご返送いただく際には、無記名でかまいません。

なお、本調査の回答は統計的に処理するもので、調査の目的以外の使用や個人にご迷惑をおかけすることはありません。

- ★ この調査についてご不明な点がございましたら、介護保険課にお問い合わせください。

藤沢市 福祉部 介護保険課 電話 50-8270(直通)
FAX 50-8443

※ この調査票は、ご本人様(あなた)の状況をお聞きするものです。

質問中の「あなた本人」とは、要介護(要支援)認定を受けている調査対象者の方を指します。
あなたやご家族の状況について、おたずねします。

問1 現在、この調査票にご回答をいただいているのは、どなたですか。(複数回答可)

1. あなた本人	2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族	4. その他

問2① あなた本人の性別についてご回答ください。

1. 男性	2. 女性	3. その他	4. 回答しない
-------	-------	--------	----------

② あなた本人の年齢は何歳ですか。(令和4年10月1日時点の満年齢)(1つだけ○印)

1. 65～69 歳	2. 70～74 歳	3. 75～79 歳	4. 80～84 歳
5. 85～89 歳	6. 90～94 歳	7. 95～99 歳	8. 100 歳以上

問3 あなた本人のお住まいの地区についてご回答ください。(1つだけ○印)

1. 片瀬	2. 鶴沼	3. 辻堂	4. 村岡	5. 藤沢
6. 明治	7. 善行	8. 湘南大庭	9. 六会	10. 湘南台
11. 遠藤	12. 長後	13. 御所見	14. わからない	

問4 あなた本人は、どなたと一緒に暮らしていますか。(1つだけ○印)

1. ひとり暮らし	2. 夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)
3. 夫婦2人暮らし(配偶者 64 歳以下)	4. 子と同居
5. 子ども夫婦との2世帯	6. 兄弟や姉妹
7. その他()	

問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つだけ○印)

1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ふつう
4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある	

問6 あなた本人は、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つだけ○印)

- | | |
|-----------------------------|-------|
| 1. 介護・介助は必要ない | → 問8へ |
| 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない | → 問8へ |
| 3. 現在、何らかの介護・介助を受けている | |

問7 《問6で「3. 現在、何らかの介護・介助を受けている」に回答した方のみ》
主にどなたの介護・介助を受けていますか。(1つだけ○印)

- | | | |
|-----------|--------------|----------------|
| 1. 配偶者 | 2. 子 | 3. 子の配偶者 |
| 4. 孫 | 5. あなたの兄弟・姉妹 | 6. 介護サービスのヘルパー |
| 7. その他() | | |

⇒ 「1. ～ 5. 」と回答された場合は、問71～問74にもご協力ください。

問8 特定のかかりつけの医師や歯科医師、薬局がありますか。(それぞれ1つに○印)

(1) かかりつけの医師	1. いる	2. いない
(2) かかりつけの歯科医師	1. いる	2. いない
(3) かかりつけの薬剤師・薬局	1. ある	2. ない

※『かかりつけの医師』とは、日常的な診療の他にも、健康相談等、日頃からなんでも気軽に相談ができ、いざというときには専門医を紹介してくれる住まいの近くにいる医師のことです。

問9 入れ歯の使用状況について、ご回答ください。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 入れ歯を使用している | 2. 入れ歯を使用していない |
|---------------|----------------|

問10 食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。(1つだけ○印)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 何でもかんで食べることができる |
| 2. 歯や歯ぐき、かみ合わせなどに気になる部分があり、かみにくいことがある |
| 3. ほとんどかめない |

問11 定期的に歯科受診(健診を含む)をしていますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問12 あなた本人は、次のような通信機器をお持ちですか。(複数回答可)

- | | | |
|-------------|------------------|---------|
| 1. 携帯電話 | 2. スマートフォン | 3. パソコン |
| 4. タブレット型端末 | 5. 持っていない・この中にない | |

問13 あなた本人は、過去1年間にインターネットを利用したことがありますか。(外出先など、利用場所や公私の別、通信機器を所有しているか等を問わず、あらゆる場合を含みます。)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問14 新型コロナウイルス感染症が社会に影響を与える前と現在を比較して、運動量に変化はありますか。(1つだけ○印)

1. 減少した	2. 変わらない	3. 増加した
---------	----------	---------

問15 新型コロナウイルス感染症が社会に影響を与える前と現在を比較して、不調と感じるようになった身体の症状等をご回答ください。(複数回答可)

1. 腰痛	2. ひざの痛み	3. 目の疲れ
4. 肩こり	5. 体重の増減	6. 不眠・睡眠不足
7. 姿勢が悪くなった	8. 血圧の上昇	9. むくみ・冷え
10. めまい・しびれ	11. 動機・息苦しさ	12. 食欲不振
13. その他()		14. 不調はない

問16 新型コロナウイルス感染症が社会に影響を与える前と現在を比較して、日常生活の中で減少した行動はありますか。(複数回答可)

1. 外食	2. 旅行	3. 友人等への訪問
4. 老人クラブ等の活動	5. 日常的な買い物	6. 散歩
7. 通院	8. その他()	
9. 減少した行動はない		

問17 新型コロナウイルス感染症が社会に影響を与える前と現在を比較して、日常生活の中で増加した行動はありますか。(複数回答可)

1. テレビの視聴時間	2. 読書	3. 料理
4. 体操等の運動の時間	5. その他()	
6. 増加した行動はない		

介護保険サービスについて、おたずねします。

問18 あなた本人が現在認定されている介護度をご回答ください。(1つだけ○印)

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 要支援 1 | 2. 要支援 2 | 3. 要介護 1 | 4. 要介護 2 |
| 5. 要介護 3 | 6. 要介護 4 | 7. 要介護 5 | 8. わからない |

問19 要介護認定を初めて申請したときの理由は何ですか。(1つだけ○印)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 介護保険サービス(住宅改修、福祉用具貸与・購入を除く)を受けるため |
| 2. 介護保険の住宅改修または福祉用具貸与・購入のサービスを受けるため |
| 3. 将来に備えるなど、念のために申込みをしたため |
| 4. 配偶者が要介護認定を受けるので、一緒に受けたほうが良いと思ったため |
| 5. 知り合いが要介護認定を受けているため |
| 6. 医師や家族などから要介護認定を受けるよう勧められたため |
| 7. 病気や骨折等で入院し、退院後の見通しが立たなかったため |
| 8. その他() |
| 9. わからない |
| 10. 特に理由はない |

問20 令和4年9月の1か月の間に、介護保険サービスを利用しましたか。

- | | |
|------------|----------|
| 1. 利用した | → 問 22 へ |
| 2. 利用していない | |

問21 《問20で「2. 利用していない」と回答した方のみ》

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数回答可)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない |
| 2. 家族などが介護をしてくれるため必要ない |
| 3. 病院など医療機関に入院している |
| 4. 病院への通院など、医療やリハビリを受けている |
| 5. 介護保険外のサービスで足りている |
| 6. 以前、利用していたサービスに不満があった |
| 7. 利用したいサービスが利用できない、身近にない |
| 8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない |
| 9. 利用料を支払うのが難しい |
| 10. 他人(サービス事業者)を自宅に入れたくない |
| 11. その他() |

⇒ 回答後、問 25 へ

問22 《問20で「1. 利用した」と回答した方のみ》

以下の A～Lまでの介護保険サービスについて、令和4年9月の1か月間の利用状況をご回答ください。(それぞれ1つに○印)

また、利用したサービスの満足度をご回答ください。(それぞれ1つに○印)

	1か月あたりの利用回数 (それぞれ1つに○印)						利用したサービスの満足度 (それぞれ1つに○印)				
	利用して いない	月1～ 8回	月9～ 16回	月17～ 29回	ほぼ 毎日	わから ない	満足	まあ 満足	どちらとも いえない	やや 不満	不満
(回答例)	0回	1～8 回	9～16 回	17～29 回	30回 以上	不明	1	2	3	4	5
A. 訪問介護 (ホームヘルプ サービス)	0回	1～8 回	9～16 回	17～29 回	30回 以上	不明	1	2	3	4	5
B. 訪問入浴介護	0回	1～8 回	9～16 回	17～29 回	30回 以上	不明	1	2	3	4	5
C. 訪問看護	0回	1～8 回	9～16 回	17～29 回	30回 以上	不明	1	2	3	4	5
D. 訪問リハビリテ ーション	0回	1～8 回	9～16 回	17～29 回	30回 以上	不明	1	2	3	4	5
E. 通所介護 (デイサービス)	0回	1～8 回	9～16 回	17～29 回	30回 以上	不明	1	2	3	4	5
F. 通所リハビリ テーション	0回	1～8 回	9～16 回	17～29 回	30回 以上	不明	1	2	3	4	5
G. 夜間対応型 訪問介護 (※訪問のあつ た回数を回答)	0回	1～8 回	9～16 回	17～29 回	30回 以上	不明	1	2	3	4	5

	利用の有無(それぞれ1つに○印)			満足度(それぞれ1つに○印)				
	利用して いない	利用した	わから ない (不明)	満足	まあ 満足	どちらとも いえない	やや 不満	不満
H. 定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	1	2	3	1	2	3	4	5
I. 小規模多機能型居宅介護	1	2	3	1	2	3	4	5
J. 看護小規模多機能型 居宅介護	1	2	3	1	2	3	4	5
K. 福祉用具貸与	1	2	3	1	2	3	4	5

	1か月あたりの利用日数(いずれか1つに○印)					満足度(いずれか1つに○印)				
	利用して いない	月2 ～7日	月8 ～14日	月15日 以上	わから ない	満足	まあ 満足	どちらとも いえない	やや不満	不満
L. ショート ステイ	0日	2～7日	8～14日	15日 以上	不明	1	2	3	4	5

問23 《問20で「1. 利用した」と回答した方のみ》

介護保険サービスを利用する場合には、サービスの計画(ケアプラン)に基づいてサービスを利用する必要があります。ケアプランを作成するのは、主にケアマネジャーと呼ばれる介護の専門の方ですが、あなたは、現在のケアプランやケアマネジャー等の対応に満足していますか。(1つだけ○印)

- | | |
|--------------|----------|
| 1. 満足 | → 問 25 へ |
| 2. まあ満足 | → 問 25 へ |
| 3. どちらともいえない | → 問 25 へ |
| 4. やや不満 | |
| 5. 不満 | |

問24 《問23で「4. やや不満」「5. 不満」のいずれかに回答した方のみ》

どのようなことに不満がありますか。(複数回答可)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 専門的な知識や経験が不足している |
| 2. ケアプラン内容やサービス利用の目的などの説明が十分でない |
| 3. 言葉遣いや態度が適切でない |
| 4. 本人・家族の希望や悩みなどをあまり聞いてくれない |
| 5. その他() |

問25 現在、利用している『介護保険外』のサービスがあれば、その内容をご回答ください。

(複数回答可)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 配食(宅配サービス) | 2. 調理(家事代行サービス) |
| 3. 掃除・洗濯(家事代行サービス) | 4. 買い物(宅配は含まない) |
| 5. ゴミ出し(家事代行サービス) | 6. 外出同行(家事代行・通院・買い物など) |
| 7. 移送サービス(福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ(ボランティア等) |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | |
| 10. その他() | |
| 11. 利用していない | |

問26 現在の暮らしの状況からみて、あなた本人が支払っている介護保険料額について、どのように思いますか。(1つだけ○印)

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1. 高い | 2. やや高い | 3. 妥当 |
| 4. やや安い | 5. 安い | 6. わからない |

<参考> 保険料基準月額 藤沢市 5,500 円、神奈川県平均 6,028 円、全国平均 6,014 円

問27 介護保険サービスの財源は、その一部が保険料で賄われているため、介護保険施設等の整備によりサービス提供量が増えると保険料が高くなる仕組みになっています。今後の保険とサービスのあり方について、あなたの考えに近いものをご回答ください。

(1つだけ○印)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 保険料額が高くても、介護保険サービス量が充実している方が良い2. 保険料額も介護保険サービス量も、今くらいが妥当である3. 介護保険サービス量の充実は無くてもよいので、保険料額は低い方がよい4. その他()5. わからない |
|---|

介護における相談などについて、おたずねします。

問28 健康や福祉、介護のことなどで困ったときは、どちらに相談していますか。
(特にあてはまるもの5つまで○印可)

1. 家族や親戚
2. 友人・知人や近所の人
3. 民生委員
4. 市役所・地区福祉窓口・コミュニティソーシャルワーカー(※)
5. いきいきサポートセンター(地域包括支援センター)
6. 介護サービス事業所
7. 老人福祉センター
8. 地域の縁側
9. 病院・診療所
10. 薬局・薬剤師
11. どこに相談にしたらよいかわからない
12. その他()
13. 特に困ったことはない

※コミュニティソーシャルワーカーとは、地域において生活上の課題を抱える個人や家族に対する個別支援と、それらの人々が暮らす生活圏の環境整備や住民のネットワーク化といった地域支援を行う者です。

問29 市内19カ所に設置している「いきいきサポートセンター(地域包括支援センター)」をご存じですか。(1つだけ○印)

1. 知っていて、利用したことがある
2. 知っているが、利用したことはない → [問 31 へ](#)
3. 知らない(今回の調査で知った) → [問 32 へ](#)

問30 《問29で「1. 知っていて、利用したことがある」と回答した方のみ》
利用した結果に満足しましたか。(1つだけ○印)

1. 満足している
2. まあ満足
3. どちらともいえない
4. やや不満である
5. 不満である

⇒ [回答後、問 31 へ](#)

問31 《問29で「1. 知っていて、利用したことがある」「2. 知っているが、利用したことはない」のいずれかに回答した方のみ》

「いきいきサポートセンター(地域包括支援センター)」を何で知りましたか。(複数回答可)

1. 市役所・地区福祉窓口への相談・問い合わせ
2. 市の広報・ホームページ
3. 市民センター・公民館などの市の施設にあるチラシ・パンフレット
4. 民生委員からの紹介
5. 知人・友人や近所の人からの紹介
6. 介護サービス事業所
7. その他()

問32 あなた本人に認知症の症状がある、又は、家族に認知症の症状がある人がいますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問33 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問34 今後、増加が予想される認知症の方への取組として、市はどのような施策に重点を置くべきだと思いますか。(複数回答可)

1. 認知症への正しい知識と理解をもってもらうための啓発・情報提供
2. 認知症のことを相談できる窓口・体制の充実
3. できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり
4. 家族の身体的・精神的負担を減らす取組
5. 家族の仕事と介護の両立支援などを含めた、経済的負担を減らす取組
6. 認知症の人を地域で見守る体制の充実
7. 認知症であっても、地域、社会に関わっていける場づくり
8. 日常生活の中で必要となる財産管理などへの支援の充実
9. 認知症の人が利用できる介護施設の充実
10. その他()
11. わからない

※ ここからは、問 18 で「要支援1、2」と「要介護1、2」と回答した方のみ、ご回答ください。
それ以外の方は 16 ページにお進みください。

介護予防などの事業の参考とするため、おたずねします。

問38 階段を手すりや壁をつたわずに上れていますか。(1つだけ○印)

- | | | |
|-------------|--------------|---------|
| 1. できる、している | 2. できるがしていない | 3. できない |
|-------------|--------------|---------|

問39 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がられていますか。(1つだけ○印)

- | | | |
|-------------|--------------|---------|
| 1. できる、している | 2. できるがしていない | 3. できない |
|-------------|--------------|---------|

問40 15分程度を歩くことができますか。(1つだけ○印)

- | | | |
|-------------|--------------|---------|
| 1. できる、している | 2. できるがしていない | 3. できない |
|-------------|--------------|---------|

問41 過去1年間の間に転んだ経験はありますか。(1つだけ○印)

- | | | |
|----------|---------|-------|
| 1. 何度もある | 2. 1度ある | 3. ない |
|----------|---------|-------|

問42 転倒に対する不安は大きいですか。(1つだけ○印)

- | | |
|-------------|------------|
| 1. とても不安である | 2. やや不安である |
| 3. あまり不安でない | 4. 不安でない |

問43 週に何回程度外出していますか。(1つだけ○印)

- | | |
|--------------|----------|
| 1. ほとんど外出しない | 2. 週1回 |
| 3. 週2～4回 | 4. 週5回以上 |

問44 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つだけ○印)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. とても減っている | 2. 減っている |
| 3. あまり減っていない | 4. 減っていない |

問45 身長・体重をご記入ください。

<table border="1"><tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table> cm				<table border="1"><tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table> kg			

問46 直近6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問47 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問48 お茶や汁物等でむせることがありますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問49 口の渇きが気になりますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問50 歯の数と入れ歯の利用状況をご回答ください。(1つだけ○印)

※成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 20本以上、かつ入れ歯を利用 | 2. 20本以上、入れ歯の利用なし |
| 3. 19本以下、かつ入れ歯を利用 | 4. 19本以下、入れ歯の利用なし |
| 5. 自分の歯は1本も減っていない | |

問51 どなたかと食事をともにする機会がありますか(家族も含む)。(1つだけ○印)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある |
| 3. 月に何度かある | 4. 年に何度かある |
| 5. ほとんどない | |

問52 物忘れが多いと感じますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問53 バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(1つだけ○印)

- | | | |
|-------------|--------------|---------|
| 1. できる、している | 2. できるがしていない | 3. できない |
|-------------|--------------|---------|

問54 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つだけ○印)

- | | | |
|-------------|--------------|---------|
| 1. できる、している | 2. できるがしていない | 3. できない |
|-------------|--------------|---------|

問55 自分で食事の用意をしていますか。(1つだけ○印)

- | | | |
|-------------|--------------|---------|
| 1. できる、している | 2. できるがしていない | 3. できない |
|-------------|--------------|---------|

問56 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つだけ○印)

- | | | |
|-------------|--------------|---------|
| 1. できる、している | 2. できるがしていない | 3. できない |
|-------------|--------------|---------|

問57 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つだけ○印)

1. できる、している	2. できるがしていない	3. できない
-------------	--------------	---------

問58 次のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(それぞれ1つに○印)

① ボランティア活動やボランティアのグループ

1. 週4回以上	2. 週2～3回
3. 週1回	4. 月1回
5. 年に数回	6. 参加していない

② 趣味・スポーツのグループ

(例:スポーツ関係のクラブや趣味関係のグループ、学習・教養サークルなど)

1. 週4回以上	2. 週2～3回
3. 週1回	4. 月1回
5. 年に数回	6. 参加していない

③ 介護予防のための通いの場、地域の縁側

1. 週4回以上	2. 週2～3回
3. 週1回	4. 月1回
5. 年に数回	6. 参加していない

④ 地域の団体活動 (例:老人クラブや町内会・自治会など)

1. 週4回以上	2. 週2～3回
3. 週1回	4. 月1回
5. 年に数回	6. 参加していない

⑤ 収入のある活動(仕事)

1. 週4回以上	2. 週2～3回
3. 週1回	4. 月1回
5. 年に数回	6. 参加していない

問59 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなた本人はその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つだけ○印)

1. ぜひ参加したい	2. 参加してもよい
3. 参加したくない	4. 既に参加している

問60 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなた本人はその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(1つだけ○印)

1. ぜひ参加したい	2. 参加してもよい
3. 参加したくない	4. 既に参加している

問61 あなた本人の心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人を教えてください。(複数回答可)

1. 配偶者	2. 同居の子
3. 別居の子	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣の住民	6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない

問62 反対に、あなた本人が心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげている人を教えてください。(複数回答可)

1. 配偶者	2. 同居の子
3. 別居の子	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣の住民	6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない

問63 あなた本人が病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人を教えてください。(複数回答可)

1. 配偶者	2. 同居の子
3. 別居の子	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣の住民	6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない

問64 反対に、あなた本人が看病や世話をしてあげている人を教えてください。(複数回答可)

1. 配偶者	2. 同居の子
3. 別居の子	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣の住民	6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない

問65 現在のあなた本人の健康状態はいかがですか。(1つだけ○印)

1. とてもよい	2. まあよい
3. あまりよくない	4. よくない

問66 あなた本人は、現在どの程度幸せですか。

(1つだけ○印。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご回答ください。)

不幸											幸せ
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	

問67 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

1. あった	2. なかった
--------	---------

問68 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

1. あった	2. なかった
--------	---------

問69 タバコは吸っていますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問70 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(複数選択可)

1. なし	2. 高血圧
3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	4. 心臓病
5. 糖尿病	6. 高脂血症(脂質異常)
7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気	10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症等)
11. 外傷(転倒・骨折等)	12. がん(悪性新生物)
13. 血液・免疫の病気	14. うつ病
15. 認知症(アルツハイマー病等)	16. パーキンソン病
17. 目の病気	18. 耳の病気
19. その他()	

ご本人様(あなた)の「主な介護者」の方について、おたずねします。

※問7にて「1. ～5. 」と回答された場合のみ、ご回答ください。

※「**主な介護者**」の方がご回答ください。「主な介護者」の方のご記入が難しい場合は、ご本人様(あなた)がわかる範囲で、ご回答・ご記入をお願いいたします。

問 71 主な介護者の方の年齢をご回答ください。(令和4年 10 月1日時点の満年齢)

- | | | |
|-----------|------------------|--------------|
| 1. 18 歳未満 | 2. 18 歳以上～29 歳以下 | 3. 30 代～60 代 |
| 4. 70 代 | 5. 80 歳以上 | 6. わからない |

問 72 主な介護者の方は、「ダブルケア」の状況にありますか。同居・別居は問いません。

※「ダブルケア」とは、未就学の子(孫)などの育児等をしつつ、親(義親)あるいは親族の介護を同時に担う状況にあることをいいます。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 73 主な介護者の方が、市へ最も望む支援は何ですか。(1つだけ○印)

- | | |
|---------------------------|---|
| 1. 介護者の休息が取れるようなサービスの充実 | |
| 2. 介護者が相談できる体制の充実 | |
| 3. 介護者が悩み等を話せる交流の場の充実 | |
| 4. 家族介護教室などの介護技術を学ぶ場の充実 | |
| 5. 介護者に対する地域や職場の理解の促進 | |
| 6. 介護保険外(配食や見守りなど)サービスの充実 | |
| 7. その他(|) |
| 8. 特にない | |

問 74 主な介護者の方から、本市の介護保険行政に対して、ご意見・ご要望があれば、どのようなことでもかまいませんので、ご自由にご記入ください。

ありがとうございました。質問は以上で終わりです。
10月31日(月)までに同封の返信用封筒に入れて、
ポストにご投函ください。

介護保険サービス利用状況調査報告書

発行：令和5年3月

藤沢市 福祉健康部介護保険課
〒251-8601 藤沢市朝日町1番地の1
TEL：0466(25)1111（代表）